

板橋区都市計画マスタープラン改定のための
アンケート調査

調査結果報告書

平成28年10月

板橋区都市計画マスタープラン改定のための アンケート調査結果概要

◆実施概要

板橋区都市計画マスタープラン改定のためのアンケート調査					
名称	調査期間	調査方法	対象数	回収数	回収率
区内在住の 15 歳以上の男女を無作為抽出	平成 28 年 7 月 20 日～ 8 月 3 日	郵送配布 郵送回収	3,080 人	965 票	31.3%
区内在住者	平成 28 年 7 月 23 日～ 8 月 19 日	板橋区ホームページ上で配布 郵送・FAX・窓口 持参による回収		3 票	
合計			3,083 人	968 票	31.4%

◆回答者について（問1）

〔属性〕

- ・女性（56.9%）が男性（43.0%）をやや上回る。
- ・70歳代（22.2%）が最も多く、50歳以上が全体の約6割を占める。
- ・職業は、会社員が3割、無職（16.6%）、アルバイト・パート（14.9%）、専業主婦・主夫（14.8%）と続く。

〔居住地区・居住年数〕

- ・居住地区は小豆沢・志村エリア（21.6%）が最も多く、板橋・大山エリア、上板橋・常盤台エリアがこれに続く。少なかったのは、坂下・舟渡エリア（3.5%）。
- ・区内居住年数は、25年以上が46.1%で、10年以上住んでいる人は全体の7割を占めており、長く住み続けている人が多い。

〔世帯特性〕

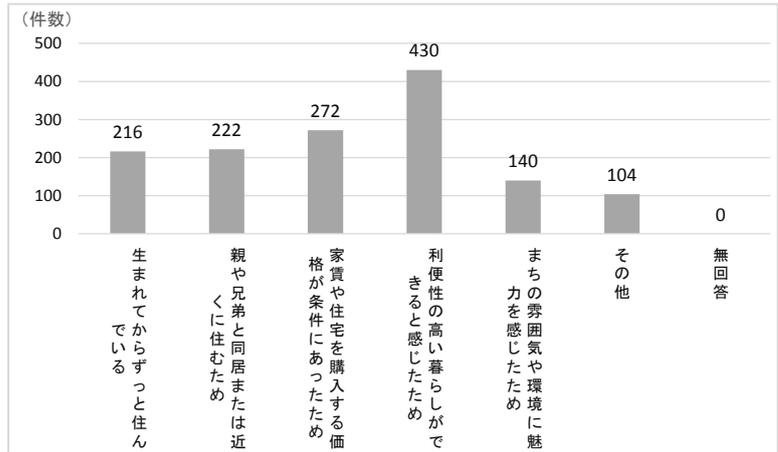
- ・世帯構成は、子と同居の二世帯同居（33.9%）が最も多く、夫婦のみは24.1%、単身世帯は15.9%。
- ・同居家族に、就学前の子どもがいる人は1割に満たず、小・中・高の子どもがいる人は1割強だが、65歳以上がいる人は3割近くを占める。
- ・住居形態は、持ち家一戸建てが34.4%、持ち家集合住宅が31.7%で、これらを合わせると66.1%と7割近くを占め、持ち家比率は非常に高い。

〔駅利用状況等〕

- ・通勤・通学先は、区外が全体の4割を占めている。
- ・鉄道駅の利用状況は、ときわ台駅・上板橋駅・小竹向原駅が上位を占めた。
- ・自宅から利用駅までは徒歩利用者が7割強で、自転車は1割。徒歩利用者の8割近くが、駅までの所要時間は10分以内と駅に近い。
- ・自家用車の所有状況は、本人で7割弱、家族で5割弱が所有なしとなっている。

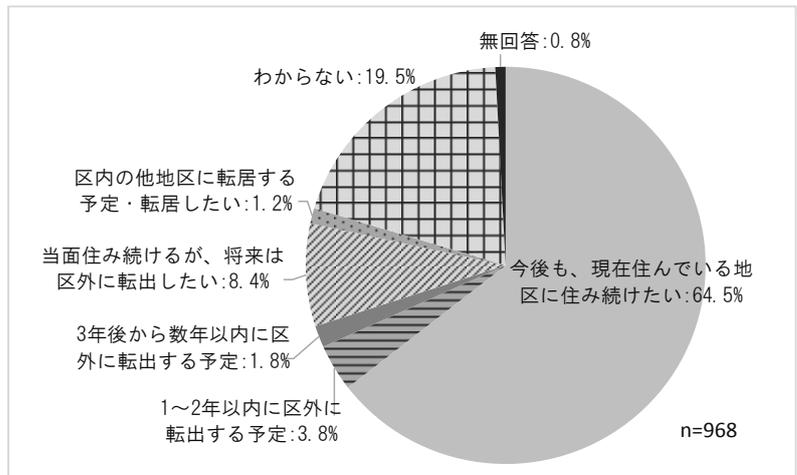
◆板橋区（現住所）に住んでいる理由（問2）

- ・4割以上が「利便性の高い暮らしができると感じたため」と回答。



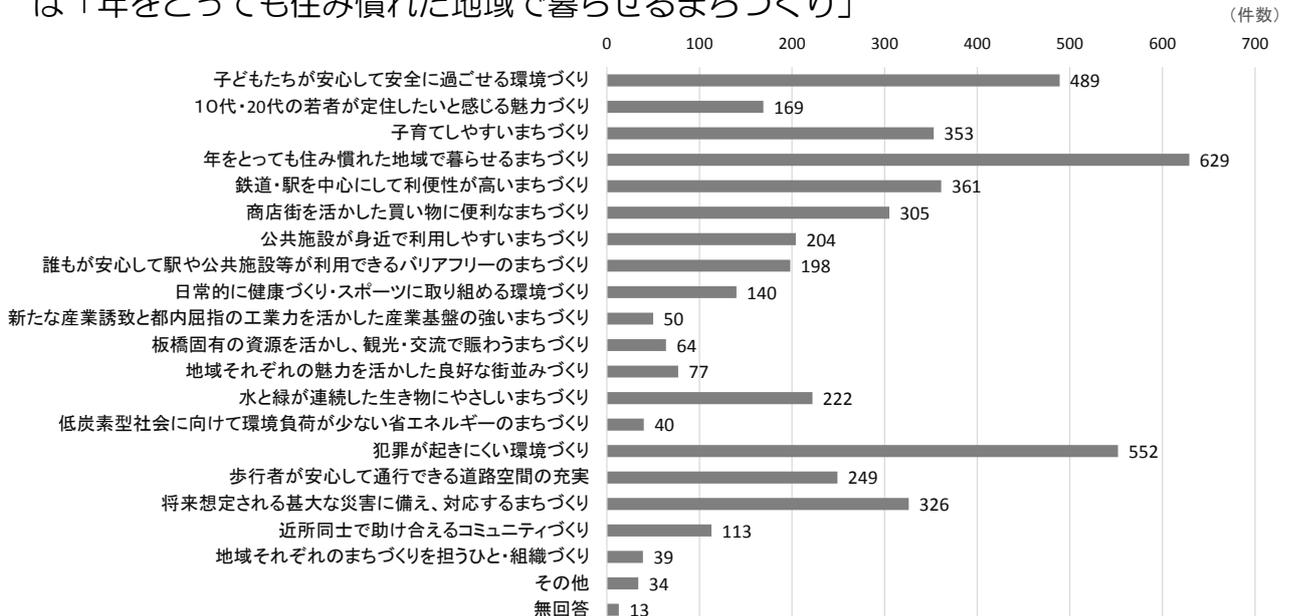
◆居留意向（問3）

- ・6割強が居留意向（今後も現在住んでいる地区に住み続けたい）を持っている。区外への転出意向は1割強。
- ・居留意向のある割合は、30歳代までは5割を下回り、40歳代から5割を超え、年代が上がるほど高い。
- ・居留意向は、持ち家の方は高く、賃貸の方は低いが、公的賃貸住宅の方は高い。



◆まちづくりの力点（上位3位）（問5）

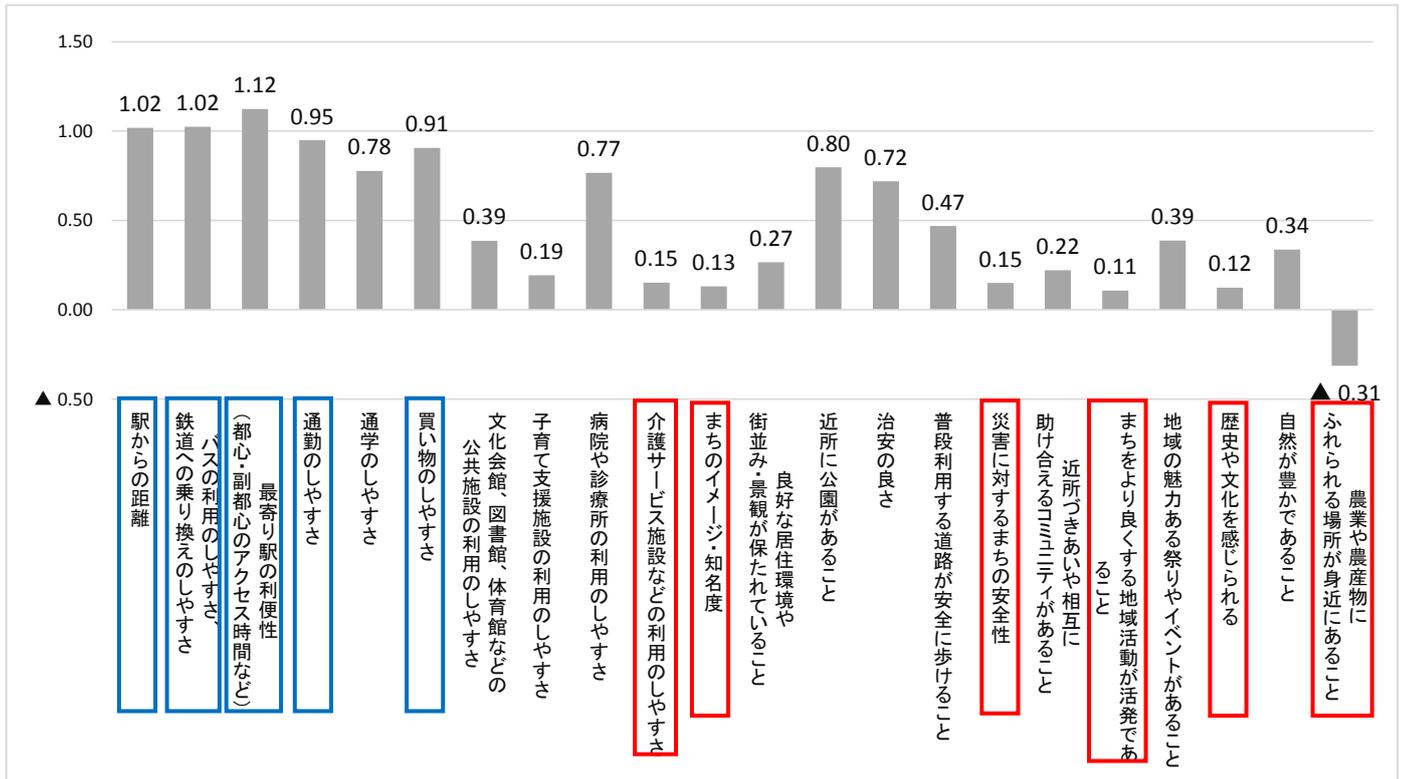
- ・第1位：年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり
- ・第2位：犯罪が起きにくい環境づくり
- ・第3位：子どもたちが安心して安全に過ごせる環境づくり
- ・第1位を年代別でみると、20歳未満、20歳代、40歳代は「犯罪が起きにくいまちづくり」、30歳代は「子育てしやすいまちづくり」、50歳代、60歳代、70歳代以上は「年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」



◆満足度と重要度について（問4）

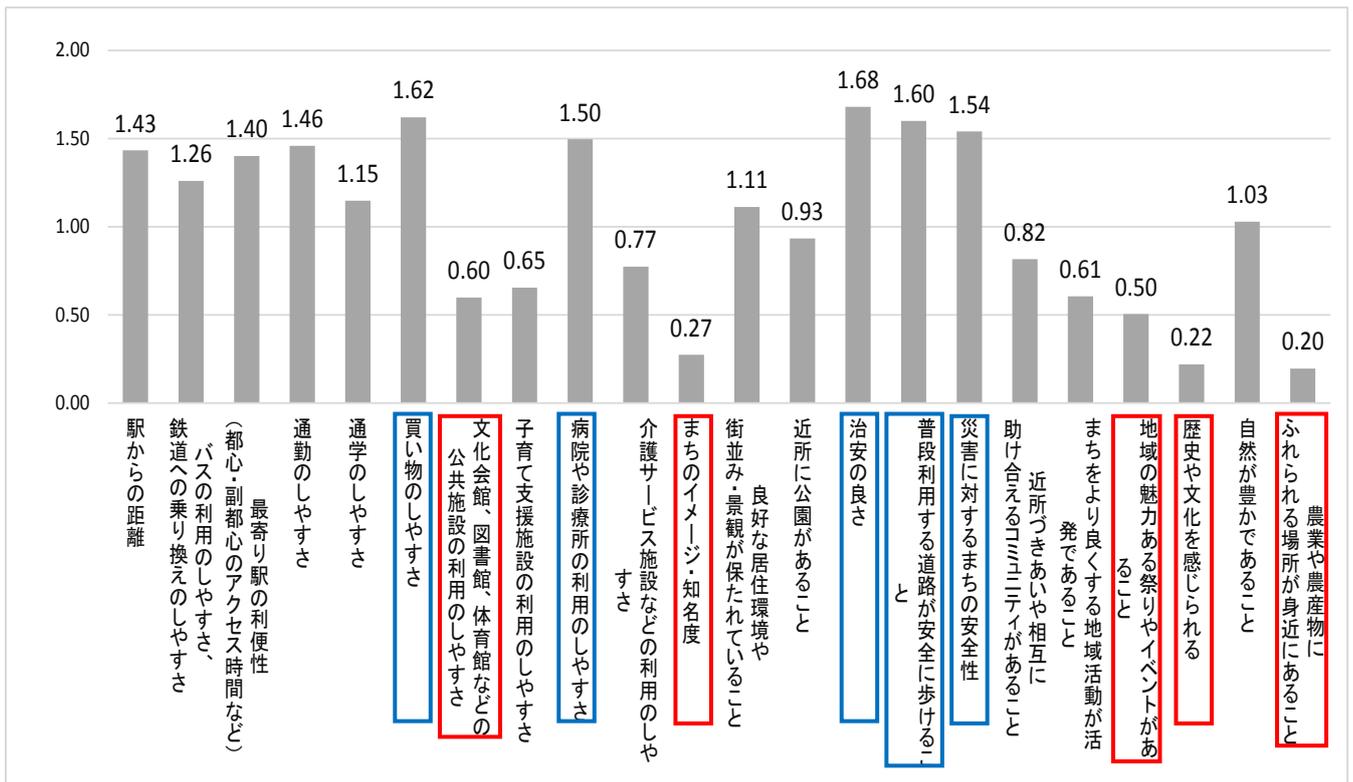
- ★「交通利便性」、「駅周辺の利便性」が評価されている。
- ★今後のまちづくりに向けては、治安・交通安全・防災・医療・子育てがポイント。
- ★弱み（満足度が低く重要度が高いと評価された、「身近な農業」、「地域活動」、「歴史文化の発信」、「まちのイメージアップ」等）のてこ入れ。
- ★「石神井川の桜並木」など、まちの魅力の向上とシンボル化

◆満足度（平均スコア）



上位5項目	下位5項目
1. 最寄り駅の利便性（1.12）	1. 農業や農産物にふれられる場所が身近にあること（▲0.31）
2. 駅からの距離（1.02）	2. まちをより良くする地域活動が活発であること（0.11）
2. バスの利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ（1.02）	3. 歴史や文化を感じられる（0.12）
4. 通勤のしやすさ（0.95）	4. まちのイメージ・知名度（0.13）
5. 買い物のしやすさ（0.91）	5. 介護サービス施設などの利用のしやすさ（0.15）
	5. 災害に対するまちの安全性（0.15）

◆重要度（平均スコア）



上位5項目	下位5項目
1. 治安の良さ（1.68）	1. 農業や農産物にふれられる場所が身近にあること（0.20）
2. 買い物のしやすさ（1.62）	2. 歴史や文化を感じられる（0.22）
3. 普段利用する道路が安全に歩けること（1.60）	3. まちのイメージ・知名度（0.27）
4. 災害に対するまちの安全性（1.54）	4. 地域の魅力ある祭りやイベントがあること（0.50）
5. 病院や診療所の利用のしやすさ（1.50）	5. 文化会館、図書館、体育館などの公共施設の利用のしやすさ（0.60）

◆板橋の魅力・シンボルとしてまちづくりを牽引するもの（上位3位）

- ①石神井川の桜並木
- ②大山や上板橋などの駅前商店街
- ③都立赤塚公園や城北中央公園などの大規模公園

目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法並びに回収結果	1
(3) 本調査を行うにあたって	2
2. 調査結果	3
(1) あなたご自身とご家族のことについて	3
(2) 板橋区に住むことに関して、あなたとご家族にとっての魅力や 満足度について	13
(3) たくさんの人が「住みたい」と感じられる魅力づくりについて	37
(4) まちづくりの参加について	41
(5) 今後のまちづくり全般について（自由記入）	43
調査票	55

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

平成23年3月に策定した「板橋区都市計画マスタープラン」を改定するにあたり、東日本大震災等の教訓を踏まえたまちづくり、少子高齢化・人口減少社会への対応、環境負荷の低減に資する対応等、新たな視点や取り組みが必要であるとの認識のもと、さらには区民の方々のまちづくりに関する満足度や重要度、地域の魅力や特色として感じていることを把握し、新たな都市計画マスタープランに反映させていくことを目的に実施した。

(2) 調査方法並びに回収結果

調査方法並びに回収結果は、以下のとおりである。

調査対象	調査期間	調査方法	対象数	回収数	回収率
区内在住の15歳以上の男女を無作為抽出	平成28年 7月20日～ 8月3日	郵送配布 郵送回収	3,080人	965票	31.3%
区内在住者	平成28年 7月23日～ 8月19日	板橋区ホームページ 上で配布 郵送・FAX・窓口持 参による回収		3票	
合計			3,083人	968票	31.4%

◆年代別回収率

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
配布数	400	500	500	420	420	420	420	3,080
回収数	91	81	121	116	150	191	214	965
回収率	22.8%	16.2%	24.2%	27.6%	35.7%	45.5%	51.0%	31.3%

*年代別回収率については、上記の郵送配布・郵送回収分のみで算出。合計には無回答1を含む。

◆エリア別回収率

	総数	板橋・大山 エリア	大谷口・向原 エリア	上板橋・常盤台 エリア	小豆沢・志村 エリア	徳丸・西台 エリア	赤塚・成増 エリア	新河岸・高島平 エリア	坂下・舟渡 エリア
配布数	3080	559.5	292.5	446.5	624.5	307	410	346	94
回収数	954	179.5	101.5	133	196	99	124	96	25
回収率	100.0%	32.1%	34.7%	29.8%	31.4%	32.2%	30.2%	27.7%	26.6%

*エリア別回収率については、重複する町丁目の回収分は2分して算出。住まいの町丁目の記入のない者は除く。

◆エリア別年代別割合

		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
板橋・大山エリア	100.0%	10.3%	8.4%	12.5%	13.1%	13.4%	17.8%	24.5%
大谷口・向原エリア	100.0%	14.3%	4.9%	16.3%	16.7%	14.8%	15.8%	17.2%
上板橋・常盤台エリア	100.0%	9.4%	6.8%	17.3%	7.5%	16.5%	17.3%	25.2%
小豆沢・志村エリア	100.0%	9.9%	10.7%	14.8%	12.2%	15.8%	18.1%	18.4%
徳丸・西台エリア	100.0%	5.1%	4.0%	6.1%	11.1%	20.2%	23.2%	30.3%
赤塚・成増エリア	100.0%	6.5%	8.1%	11.3%	15.3%	15.3%	26.6%	16.9%
新河岸・高島平エリア	100.0%	9.4%	11.5%	5.2%	9.4%	16.7%	21.9%	26.0%
坂下・舟渡エリア	100.0%	16.0%	24.0%	12.0%	2.0%	8.0%	22.0%	16.0%

*エリア別の回収数を100として、年代別に算出。

(3) 本調査を行うにあたって

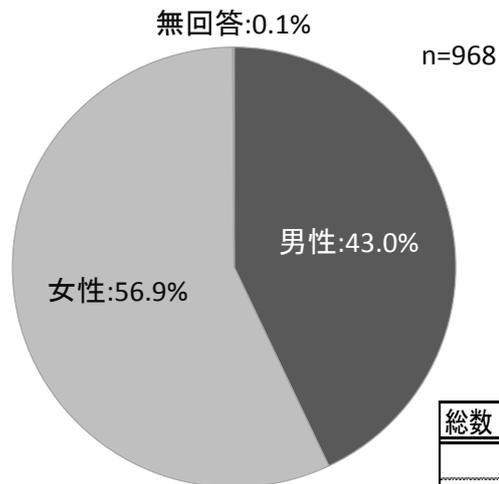
- 1) 集計表では、上段に件数、下段に割合(%)を表記している。
- 2) 調査結果の数値は、原則としてパーセンテージ(%)で表記した。%値の母数は、原則としてその質問に対する回答者数(回答すべき人の数)であり、図表では「n=〇〇」と表示している。
- 3) 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示しており、比率の合計は必ずしも100.0%ではない場合がある。
- 4) クロス集計結果表では、第1位 、第2位  と表記している。

2. 調査結果

(1) あなたご自身のことについて

問1-① あなたの性別をお答えください。(1つに○)

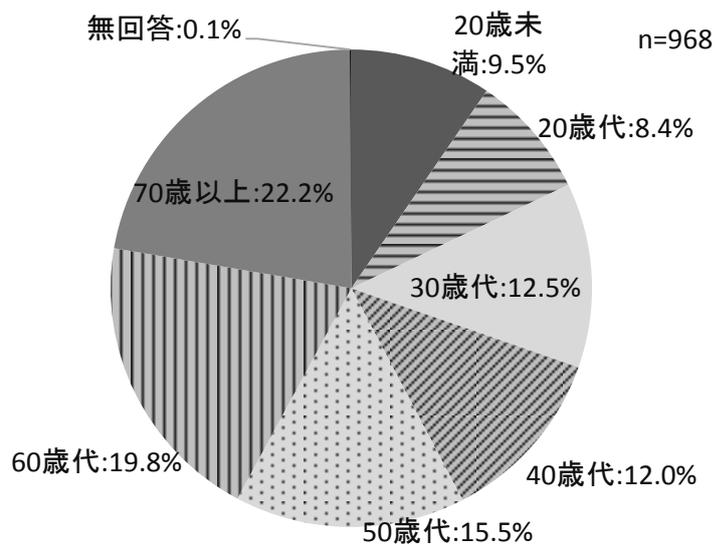
◆「女性」56.9%、「男性」43.0%と、女性が男性を上回っている。



総数	男性	女性	無回答
968	416	551	1
100.0	43.0	56.9	0.1

問1-② あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

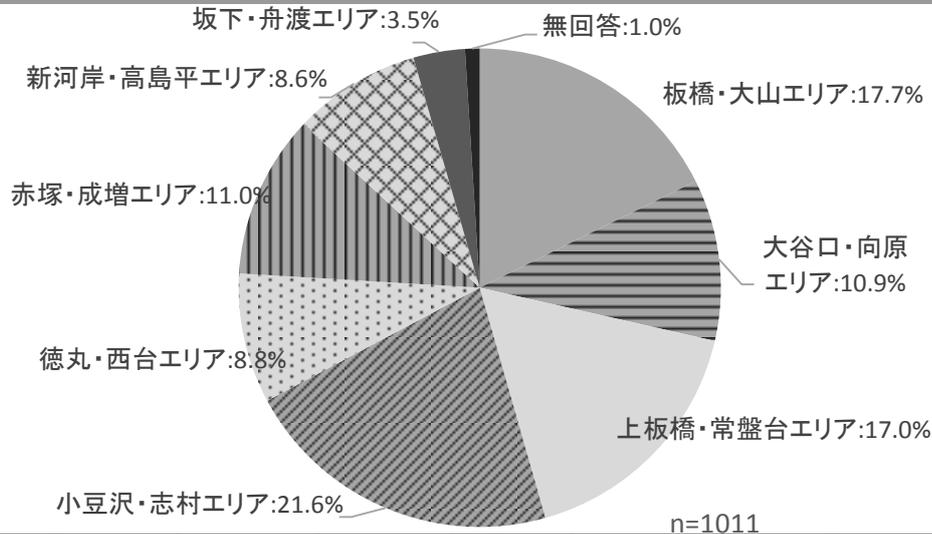
◆「70歳以上」が22.2%と最も多く、次いで「60歳代」(19.8%)、「50歳代」(15.5%)と続いており、全体的に回答者の年代は高い。



総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
968	92	81	121	116	150	192	215	1
100.0	9.5	8.4	12.5	12.0	15.5	19.8	22.2	0.1

問1-③ あなたのお住まいの町丁目をお書きください。(1つに○)

◆小豆沢・志村エリア(21.6%)が最も多く、板橋・大山周辺(17.7%)、上板橋・常盤台エリア(17.0%)と続いている。

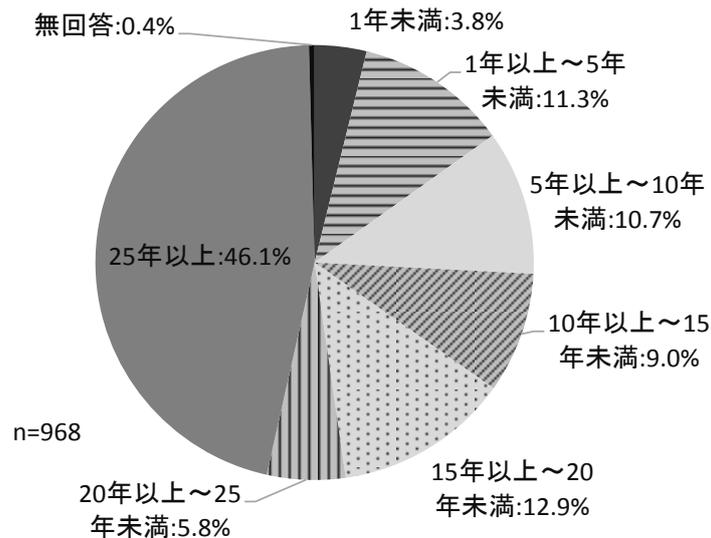


総数	板橋・大山 エリア	大谷口・向原 エリア	上板橋・常盤台 エリア	小豆沢・志村 エリア	徳丸・西台 エリア	赤塚・成増 エリア	新河岸・高島平 エリア	坂下・舟渡 エリア	無回答
1127	199	123	192	243	99	124	97	39	11
100.0	17.7	10.9	17.0	21.6	8.8	11.0	8.6	3.5	1.0

※土地利用のまとまりと駅利用圏から居住地域を上記の8エリアに分類した。なお、集計エリアには重複分が含まれる。

問1-④ 板橋区に住んでどれくらいになりますか。(1つに○)

◆「25年以上」が46.1%と最も多く、次いで「15年以上～20年未満」(12.9%)となっており、10年以上住んでいる人の割合は、全体の7割を占めている。



総数	1年未満	1年以上～5 年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上～ 20年未満	20年以上～ 25年未満	25年以上	無回答
968	37	109	104	87	125	56	446	4
100.0	3.8	11.3	10.7	9.0	12.9	5.8	46.1	0.4

■クロス集計（年代×居住年数）

- ◆居住年数を年代別に見ると、30歳代と40歳代の間で二分されている。
- ◆20歳未満は「15年以上～20年未満」が、20歳代は「1年未満と1年以上～5年未満」が、30歳代は「1年以上～5年未満」が最も多くなっており、20歳未満の場合は、生まれてからずっと住んでいるためだということが、20歳代、30歳代は、進学や就職、結婚などを機に現在の地区に住んでいることが推測できる。
- ◆40歳代以上は、居住年数が長く、年代が上がるほど「25年以上」とする割合が高くなっている。

	総数	1年未満	5年未満以上	10年未満以上	15年未満以上	20年未満以上	25年未満以上	30年未満以上	無回答
20歳未満	92	2	5	7	15	61	0	1	1
	100.0	2.2	5.4	7.6	16.3	66.3	0.0	1.1	1.1
20歳代	81	18	18	9	3	9	15	9	0
	100.0	22.2	22.2	11.1	3.7	11.1	18.5	11.1	0.0
30歳代	121	6	44	29	11	3	3	25	0
	100.0	5.0	36.4	24.0	9.1	2.5	2.5	20.7	0.0
40歳代	116	6	18	24	23	11	5	29	0
	100.0	5.2	15.5	20.7	19.8	9.5	4.3	25.0	0.0
50歳代	150	0	11	15	11	21	14	77	1
	100.0	0.0	7.3	10.0	7.3	14.0	9.3	51.3	0.7
60歳代	192	2	5	7	12	11	11	144	0
	100.0	1.0	2.6	3.6	6.3	5.7	5.7	75.0	0.0
70歳以上	215	3	8	13	12	9	8	161	1
	100.0	1.4	3.7	6.0	5.6	4.2	3.7	74.9	0.5
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

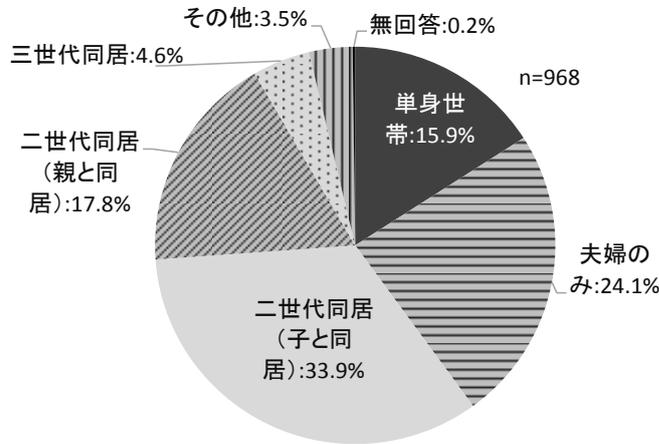
■クロス集計（エリア×居住年数）

- ◆居住年数をエリア別に見ると、いずれのエリアも「25年以上」が最も多いが、第2位を見ると、赤塚・成増エリアで「1年以上～5年未満」、徳丸・西台エリアと坂下・舟渡エリアで「10年以上～15年未満」、それ以外のエリアで「15年以上～20年未満」と、若干の違いが出ている。
- ◆「25年以上」の割合が高く5割を超えているエリアは、上板橋・常盤台エリア、徳丸・西台エリア、新河岸・高島平エリアである。

	総数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
板橋・大山エリア	199	12	26	21	18	32	14	74	2
	100.0	6.0	13.1	10.6	9.0	16.1	7.0	37.2	1.0
大谷口・向原エリア	123	2	19	12	13	22	7	48	0
	100.0	1.6	15.4	9.8	10.6	17.9	5.7	39.0	0.0
上板橋・常盤台エリア	192	5	21	18	12	23	11	102	0
	100.0	2.6	10.9	9.4	6.3	12.0	5.7	53.1	0.0
小豆沢・志村エリア	243	10	23	25	26	31	12	115	1
	100.0	4.1	9.5	10.3	10.7	12.8	4.9	47.3	0.4
徳丸・西台エリア	99	3	7	7	11	9	4	58	0
	100.0	3.0	7.1	7.1	11.1	9.1	4.0	58.6	0.0
赤塚・成増エリア	124	4	19	17	8	9	8	59	0
	100.0	3.2	15.3	13.7	6.5	7.3	6.5	47.6	0.0
新河岸・高島平エリア	97	3	7	11	7	13	5	51	0
	100.0	3.1	7.2	11.3	7.2	13.4	5.2	52.6	0.0
坂下・舟渡エリア	39	5	2	4	7	5	2	14	0
	100.0	12.8	5.1	10.3	17.9	12.8	5.1	35.9	0.0

問1-⑤ あなたのご家族（世帯）の構成をお答えください。（1つに○）

◆「二世帯同居（子と同居）」が、33.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ」（24.1%）、「二世帯同居（親と同居）」（17.8%）となっており、「単身世帯」は15.9%であった。



総数	単身世帯	夫婦のみ	二世帯同居（子と同居）」	二世帯同居（親と同居）」	三世帯同居	その他	無回答
968	154	233	328	172	45	34	2
100.0	15.9	24.1	33.9	17.8	4.6	3.5	0.2

■クロス集計（エリア×家族構成）

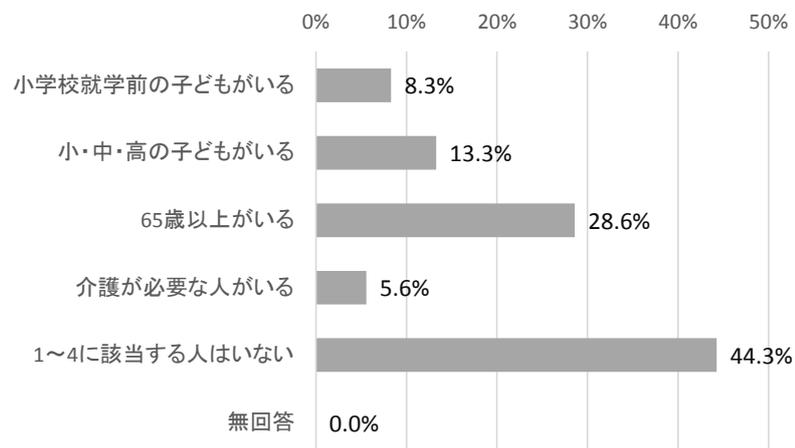
◆居住年数をエリア別に見ると、いずれのエリアも「二世帯同居（子と同居）」が最も多いが、第2位を見ると、ほとんどのエリアで「夫婦のみ」となっているのに対し、赤塚・成増エリア並びに新河岸・高島平エリアでは「単身世帯」となっている。

◆また、坂下・舟渡エリアでは、「二世帯同居（子と同居）」と並んで「二世帯同居（親と同居）」が第1位になっている。

	総数	単身世帯	夫婦のみ	二世帯同居（子と同居）」	二世帯同居（親と同居）」	三世帯同居	その他	無回答
板橋・大山 エリア	199	28	55	63	35	8	10	0
	100.0	14.1	27.6	31.7	17.6	4.0	5.0	0.0
大谷口・向原 エリア	123	15	28	45	25	7	3	0
	100.0	12.2	22.8	36.6	20.3	5.7	2.4	0.0
上板橋・常盤台 エリア	192	27	54	63	38	7	3	0
	100.0	14.1	28.1	32.8	19.8	3.6	1.6	0.0
小豆沢・志村 エリア	243	35	62	73	56	11	6	0
	100.0	14.4	25.5	30.0	23.0	4.5	2.5	0.0
徳丸・西台 エリア	99	14	21	42	7	9	5	1
	100.0	14.1	21.2	42.4	7.1	9.1	5.1	1.0
赤塚・成増 エリア	124	25	24	46	20	4	5	0
	100.0	20.2	19.4	37.1	16.1	3.2	4.0	0.0
新河岸・高島平 エリア	97	20	17	37	18	2	3	0
	100.0	20.6	17.5	38.1	18.6	2.1	3.1	0.0
坂下・舟渡 エリア	39	6	9	10	10	2	2	0
	100.0	15.4	23.1	25.6	25.6	5.1	5.1	0.0

問1-⑥ あなたを含め、現在同居されているご家族について、あてはまるものをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

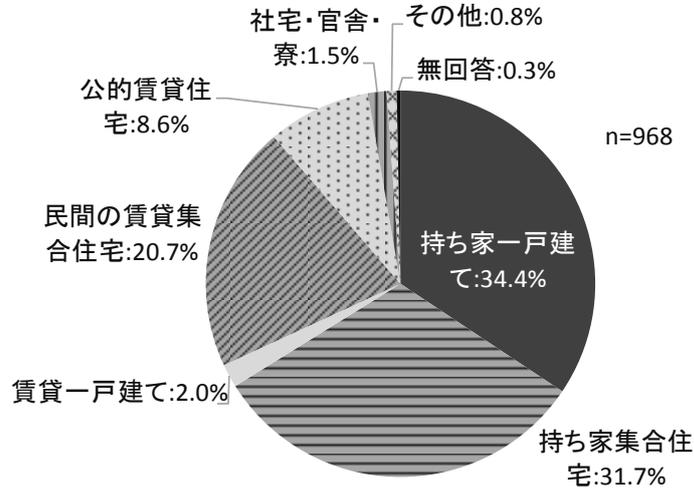
- ◆ 「65歳以上がいる」は28.6%、「小・中・高の子どもがいる」は13.3%で、「小学校就学前の子どもがいる」と「介護が必要な人がいる」はいずれも1割に満たない結果となった。
- ◆ 「該当する人はいない」(44.3%)とする割合は4割であった。



総数	小学校就学前の子どもがいる	小・中・高の子どもがいる	65歳以上がいる	介護が必要な人がいる	1~4に該当する人はいない	無回答
987	82	131	282	55	437	0
100.0	8.3	13.3	28.6	5.6	44.3	0.0

問1-⑦ 現在のお住まいの住居形態は次のうちどれですか。(1つに○)

- ◆「持ち家一戸建て」が34.4%と最も多く、次いで「持ち家集合住宅」が31.7%となっており、これらを合わせると持ち家率は66.1%と7割近くを占める。
- ◆『民間の賃貸集合住宅』は20.7%、「公的賃貸住宅」は8.6%となっている。
- ◆「その他」は、「軽費老人ホーム」、「兄の家に間借り」、「親の持ち家」などであった。



総数	持ち家一戸建て	持ち家集合住宅	賃貸一戸建て	民間の賃貸集合住宅	公的賃貸住宅	社宅・官舎・寮	その他	無回答
968	333	307	19	200	83	15	8	3
100.0	34.4	31.7	2.0	20.7	8.6	1.5	0.8	0.3

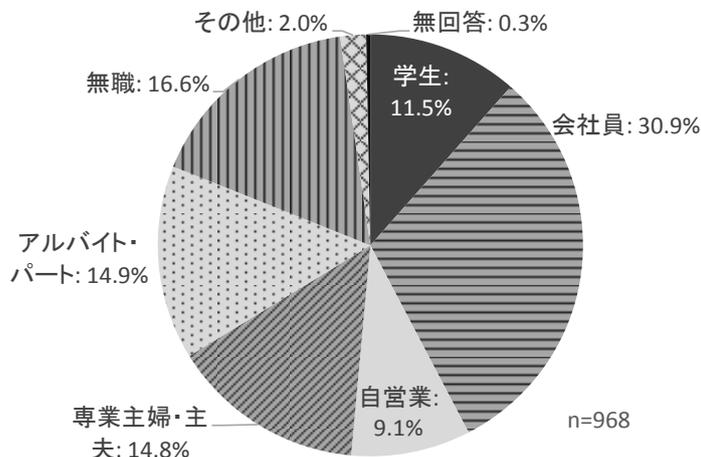
■クロス集計 (エリア×住居形態)

- ◆住居形態をエリア別に見ると、大谷口・向原エリア、上板橋・常盤台エリア、徳丸・西台エリア、赤塚・成増エリアでは「持ち家一戸建て」が、板橋・大山エリア、小豆沢・志村エリア、坂下・舟渡エリアでは「持ち家集合住宅」が、新河岸・高島平エリアでは「公的賃貸住宅」が最も多くなっている。
- ◆「民間賃貸住宅」の割合が高いのは、大谷口・向原エリアと坂下・舟渡エリアである。

	総数	持ち家一戸建て	持ち家集合住宅	賃貸一戸建て	民間の賃貸集合住宅	公的賃貸住宅	社宅・官舎・寮	その他	無回答
板橋・大山エリア	199	53	83	3	49	4	4	2	1
	100.0	26.6	41.7	1.5	24.6	2.0	2.0	1.0	0.5
大谷口・向原エリア	123	59	22	5	29	7	0	1	0
	100.0	48.0	17.9	4.1	23.6	5.7	0.0	0.8	0.0
上板橋・常盤台エリア	192	75	57	4	44	5	5	2	0
	100.0	39.1	29.7	2.1	22.9	2.6	2.6	1.0	0.0
小豆沢・志村エリア	243	65	109	6	31	24	7	1	0
	100.0	26.7	44.9	2.5	12.8	9.9	2.9	0.4	0.0
徳丸・西台エリア	99	52	24	1	19	2	1	0	0
	100.0	52.5	24.2	1.0	19.2	2.0	1.0	0.0	0.0
赤塚・成増エリア	124	49	30	2	29	10	2	1	1
	100.0	39.5	24.2	1.6	23.4	8.1	1.6	0.8	0.8
新河岸・高島平エリア	97	21	18	0	20	36	2	0	0
	100.0	21.6	18.6	0.0	20.6	37.1	2.1	0.0	0.0
坂下・舟渡エリア	39	7	18	0	7	6	0	1	0
	100.0	17.9	46.2	0.0	17.9	15.4	0.0	2.6	0.0

問1-⑧ あなたの主となる職業をお答えください。(1つに○)

- ◆「会社員」(30.9%) が最も多く、次いで「無職」(16.6%)、「アルバイト・パート」(14.9%)、「専業主婦・主夫」(14.8%) と続いている。
- ◆「その他」は、「不動産賃貸」(2件)、「派遣社員」、「講師」などであった。



総数	学生	会社員	自営業	専業主婦・主夫	アルバイト・パート	無職	その他	無回答
968	111	299	88	143	144	161	19	3
100.0	11.5	30.9	9.1	14.8	14.9	16.6	2.0	0.3

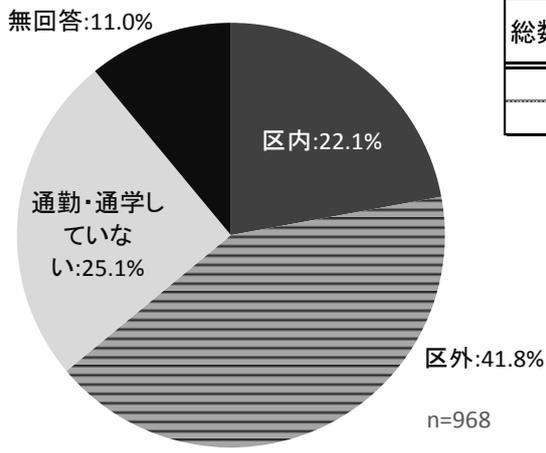
■クロス集計 (エリア×職業)

- ◆職業をエリア別に見ると、徳丸・西台エリアのみが「専業主婦・主夫」が最も多くなっているが、それ以外では「会社員」が最も多い。
- ◆第2位を見ると、大谷口・向原エリアと坂下・舟渡エリアは「学生」、板橋・大山エリアは「専業主婦・主夫」、上板橋・常盤台エリアと小豆沢・志村エリアは「無職」、徳丸・西台エリアは「会社員」、赤塚・成増エリアと新河岸・高島平エリアは「アルバイト・パート」となっている。

	総数	学生	会社員	自営業	専業主婦・主夫	アルバイト・パート	無職	その他	無回答
板橋・大山 エリア	199 100.0	24 12.1	63 31.7	17 8.5	34 17.1	23 11.6	31 15.6	6 3.0	1 0.5
大谷口・向原 エリア	123 100.0	21 17.1	43 35.0	13 10.6	12 9.8	16 13.0	17 13.8	1 0.8	0 0.0
上板橋・常盤台 エリア	192 100.0	20 10.4	55 28.6	27 14.1	29 15.1	25 13.0	32 16.7	4 2.1	0 0.0
小豆沢・志村 エリア	243 100.0	29 11.9	81 33.3	18 7.4	31 12.8	38 15.6	39 16.0	7 2.9	0 0.0
徳丸・西台 エリア	99 100.0	5 5.1	22 22.2	13 13.1	24 24.2	14 14.1	19 19.2	2 2.0	0 0.0
赤塚・成増 エリア	124 100.0	10 8.1	41 33.1	7 5.6	15 12.1	27 21.8	21 16.9	2 1.6	1 0.8
新河岸・高島平 エリア	97 100.0	11 11.3	26 26.8	11 11.3	15 15.5	17 17.5	16 16.5	1 1.0	0 0.0
坂下・舟渡 エリア	39 100.0	9 23.1	13 33.3	4 10.3	5 12.8	4 10.3	4 10.3	0 0.0	0 0.0

問1-⑨ あなたの通勤・通学先（1つに○）並びにあなた以外の現在同居されているご家族の通勤・通学者の通勤・通学先（あてはまるものすべてに○）をお答えください。

- ◆回答者自身の通勤・通学先は「区外」が41.8%と4割を占め、「通勤・通学していない」が25.1%、「区内」が22.1%となっている。
- ◆家族については、通勤も通学ともに「区内」よりも「区外」が多くなっているが、通学に比べ通勤が区内と区外との差が大きくなっている。



総数	区内	区外	通勤・通学していない	無回答
968	214	405	243	106
100.0	22.1	41.8	25.1	11.0

	区内	区外
家族の通勤	228件	424件
家族の通学	149件	160件

問1-⑩ あなたが、普段、自宅から最もよく利用する鉄道駅はどこですか。（1つに○）

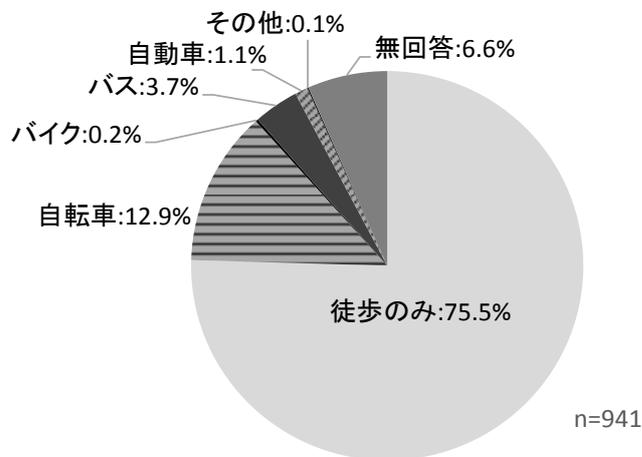
- ◆「ときわ台駅」と「上板橋駅」（ともに7.2%）が最も多く、次いで「小竹向原駅」（6.7%）、「東武練馬駅」（5.8%）、「高島平駅」（5.7%）となっている。
- ◆「その他」は、「池袋駅」（8件）、「要町駅」（2件）、「（都営大江戸線）光が丘駅」（1件）であった。

n=968

(JR)板橋駅	14	1.4%	(JR)十条駅	16	1.7%	(JR)浮間舟渡駅	17	1.8%
(JR)赤羽駅	4	0.4%	(都営三田線)新板橋駅	14	1.4%	板橋区役所前駅	42	4.3%
板橋本町駅	38	3.9%	本蓮沼駅	40	4.1%	志村坂上駅	32	3.3%
志村三丁目駅	38	3.9%	蓮根駅	44	4.5%	西台駅	36	3.7%
高島平駅	55	5.7%	新高島平駅	15	1.5%	西高島平駅	13	1.3%
下板橋駅	8	0.8%	大山駅	43	4.4%	中板橋駅	38	3.9%
ときわ台駅	70	7.2%	上板橋駅	70	7.2%	東武練馬駅	56	5.8%
下赤塚駅	23	2.4%	成増駅	49	5.1%	千川駅	24	2.5%
小竹向原駅	65	6.7%	地下鉄赤塚駅	29	3.0%	地下鉄成増駅	28	2.9%
その他	13	1.3%	鉄道は利用しない	27	2.8%	無回答	7	0.7%

問1-⑩ 自宅から上記の駅まで利用する主な交通手段は何ですか。(1つに○)

- ◆「徒歩のみ」が75.5%と全体の7割を占めており、次いで「自転車」が12.9%となっている。
- ◆「その他」は、「タクシー」であった。



総数	徒歩のみ	自転車	バイク	バス	自動車	その他	無回答
941	710	121	2	35	10	1	62
100.0	75.5	12.9	0.2	3.7	1.1	0.1	6.6

※問1⑩で鉄道を利用しないと回答した人 (n=27) を除く

■クロス集計 (エリア×駅までの利用交通手段)

- ◆駅までの利用交通手段をエリア別に見ると、全てのエリアで「徒歩のみ」が第1位だが、第2位は徳丸・西台エリアのみが「バス」で、それ以外のエリアは「自転車」となっている。
- ◆「徒歩のみ」とする徒歩率を見ると、「上板橋・常盤台エリア」と「坂下・舟渡エリア」が80%台で非常に高い。

	総数	徒歩のみ	自転車	バイク	バス	自動車	その他	無回答
板橋・大山 エリア	199	149	18	1	6	2	1	22
	100.0	74.9	9.0	0.5	3.0	1.0	0.5	11.1
大谷口・向原 エリア	123	86	27	0	1	2	0	7
	100.0	69.9	22.0	0.0	0.8	1.6	0.0	5.7
上板橋・常盤台 エリア	192	160	17	0	3	1	0	11
	100.0	83.3	8.9	0.0	1.6	0.5	0.0	5.7
小豆沢・志村 エリア	243	189	28	0	7	1	0	18
	100.0	77.8	11.5	0.0	2.9	0.4	0.0	7.4
徳丸・西台 エリア	99	56	14	0	16	2	0	11
	100.0	56.6	14.1	0.0	16.2	2.0	0.0	11.1
赤塚・成増 エリア	124	95	13	0	3	2	0	11
	100.0	76.6	10.5	0.0	2.4	1.6	0.0	8.9
新河岸・高島平 エリア	97	65	14	1	2	1	0	14
	100.0	67.0	14.4	1.0	2.1	1.0	0.0	14.4
坂下・舟渡 エリア	39	32	3	0	0	1	0	3
	100.0	82.1	7.7	0.0	0.0	2.6	0.0	7.7

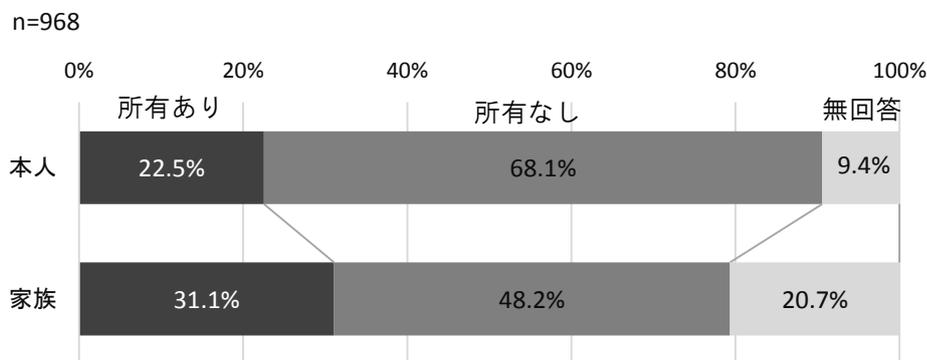
問1-⑫ 自宅から上記の駅までのおおよその所要時間をご記入ください。(片道)

◆徒歩では、「6～10分」が最も多く、「1～5分」、「11～15分」と続いており、ほぼ15分以内となっていることがわかる。

時間(分)	徒歩	自転車	バイク・スクーター	バス	自動車	その他
1～5	198	25	1	2	2	0
6～10	361	66	1	10	6	1
11～15	112	27	0	15	0	0
16～20	29	3	0	6	1	0
21～25	2	0	0	0	0	0
26～30	3	0	0	2	0	0

問1-⑬ あなたと現在同居されているご家族の自家用車の所有の有無と使用頻度について、それぞれお答えください。

- ◆回答者自身の自家用車の所有状況は、7割近くが「所有なし」(68.1%)となっており、「所有あり」は22.5%である。
- ◆家族の所有状況は、回答者自身よりも所有割合が高く、「所有あり」は31.1%となっている。
- ◆所有している人の使用頻度は、本人、本人以外の家族ともに「週に1日～3日」が最も多い。



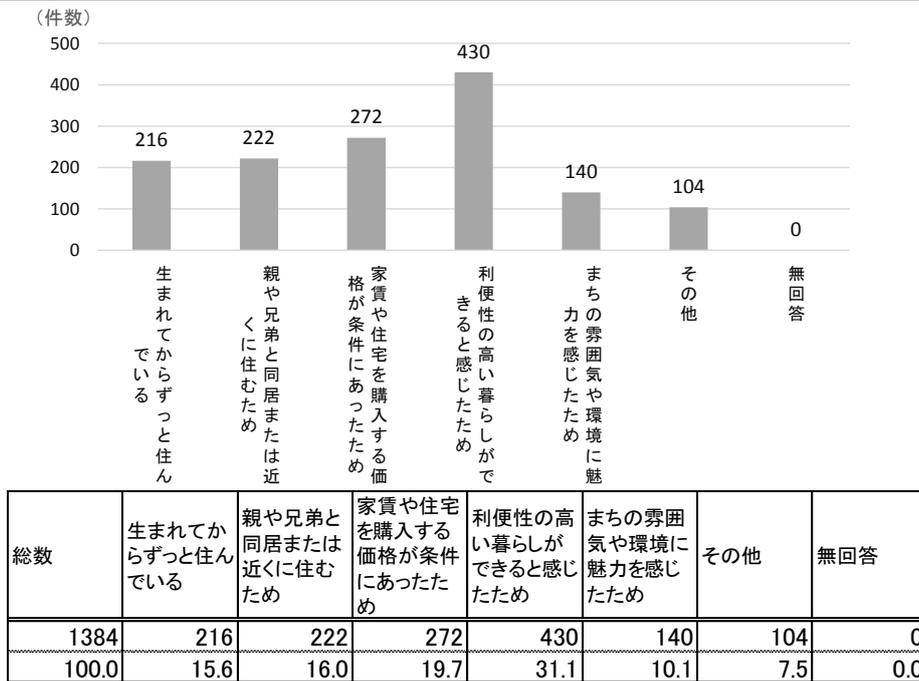
	所有あり	所有なし	無回答
本人	218	659	91
	22.5	68.1	9.4
家族	301	467	200
	31.1	48.2	20.7

使用頻度	本人	家族
12日未満/年	7	3
1日～3日/月	23	29
1日～3日/週	118	153
4日～6日/週	36	53
毎日	14	34
無回答	20	29
総数	218	301

(2) 板橋区に住むことに関して、あなたとご家族にとっての魅力や満足度について

問2 現在お住まいの地域に住んでいる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆「利便性の高い暮らしができると感じたため」が430件と最も多く、「家賃や住宅を購入する価格が条件にあったため」(272件)と続いており、「高い利便性」が住まう場所を選ぶ重要なポイントとなっていることがわかる。
- ◆「その他」の意見で多かったものは、「結婚」(16件)、「社宅」(10件)、「夫・嫁の実家」(9件)、「仕事上の関係」(8件)、「都営・公団住宅等に当選したから」(5件)、「夫が住んでいた」(3件)、「子どもの時からずっと住んでいたから」(3件)、「子ども・親の近くに住むため」(3件)などであった。



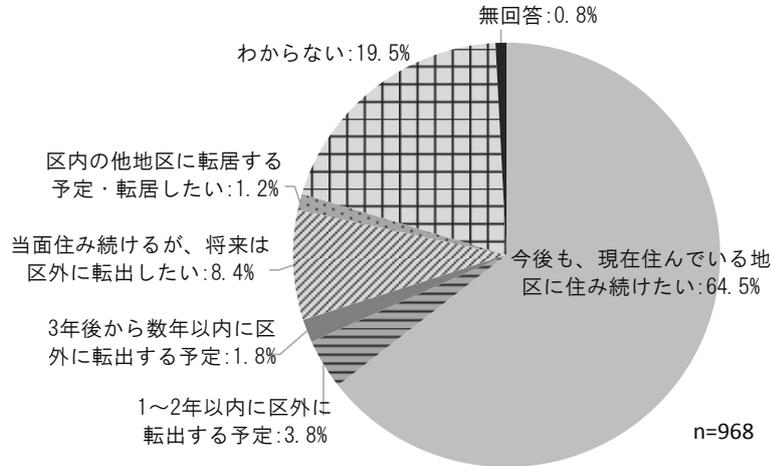
■クロス集計 (エリア×住んでいる理由)

- ◆現在のエリアに住んでいる理由をエリア別に見ると、全てのエリアで「利便性の高い暮らしができると感じたため」が第1位だが、第2位を見ると、上板橋・常盤台エリアのみが「生まれてからずっと住んでいる」で、それ以外は「家賃や住宅を購入する価格が条件にあったため」となっている。
- ◆「利便性の高い暮らしができると感じたため」とする割合は、新河岸・高島平エリアが58.8%最も高く、最も低い徳丸・西台エリア(33.3%)の約1.7倍となっている。

エリア	総数	生まれてからずっと住んでいる	親や兄弟と同居または近くに住むため	家賃や住宅を購入する価格が条件にあったため	利便性の高い暮らしができると感じたため	まちな雰囲気や環境に魅力を感じたため	その他	無回答
板橋・大山エリア	199	38	43	58	97	27	2	0
	100.0	19.1	21.6	29.1	48.7	13.6	1.0	0.0
大谷口・向原エリア	123	33	32	36	54	18	0	0
	100.0	26.8	26.0	29.3	43.9	14.6	0.0	0.0
上板橋・常盤台エリア	192	56	45	52	77	23	26	4
	100.0	29.2	23.4	27.1	40.1	12.0	13.5	2.1
小豆沢・志村エリア	243	50	62	71	91	26	8	0
	100.0	20.6	25.5	29.2	37.4	10.7	3.3	0.0
徳丸・西台エリア	99	20	19	27	33	16	0	0
	100.0	20.2	19.2	27.3	33.3	16.2	0.0	0.0
赤塚・成増エリア	124	29	33	37	58	20	0	0
	100.0	23.4	26.6	29.8	46.8	16.1	0.0	0.0
新河岸・高島平エリア	97	19	18	22	57	18	0	0
	100.0	19.6	18.6	22.7	58.8	18.6	0.0	0.0
坂下・舟渡エリア	39	8	10	13	17	5	0	0
	100.0	20.5	25.6	33.3	43.6	12.8	0.0	0.0

問3 あなたやご家族は、板橋区に住み続けたいとお考えですか。今後の予定について、あてはまるもの1つだけに○をつけ、転出や転居のご意向がある場合はその理由をお書きください。

- ◆「今後も、現在住んでいる地区に住み続けたい」が64.5%と6割以上を占め、次いで「わからない」(19.5%)となっている。
- ◆区外への転出意向を持っている方は、1割強(12.2%)であった。



総数	今後も、現在住んでいる地区に住み続けたい	1～2年以内に区外に転出する予定	3年後から数年以内に区外に転出する予定	当面住み続けるが、将来は区外に転出したい	区内の他地区に転居する予定・転居したい	わからない	無回答
968	624	37	17	81	12	189	8
100.0	64.5	3.8	1.8	8.4	1.2	19.5	0.8

■クロス集計 (年代×定住意向)

- ◆現在住んでいる地区への定住意向を年代別に見ると、年代別での傾向の差はないが、定住意向の割合が、20歳未満と20歳代、30歳代は50%以下だが、40歳代以上の世代では50%を超えており、年代が上がるほど高くなっている。

	総数	今後、現在住んでいる地区に住み続ける	1～2年以内に区外に転出する予定	3～5年以内に区外に転出する予定	将来は区外に転出したい	他地区に転居する予定	わからない	無回答
20歳未満	92	44	6	2	12	2	26	0
	100.0	47.8	6.5	2.2	13.0	2.2	28.3	0.0
20歳代	81	32	11	4	6	0	27	1
	100.0	39.5	13.6	4.9	7.4	0.0	33.3	1.2
30歳代	121	55	13	8	14	2	29	0
	100.0	45.5	10.7	6.6	11.6	1.7	24.0	0.0
40歳代	116	65	0	1	19	1	29	1
	100.0	56.0	0.0	0.9	16.4	0.9	25.0	0.9
50歳代	150	103	4	2	12	1	27	1
	100.0	68.7	2.7	1.3	8.0	0.7	18.0	0.7
60歳代	192	150	1	0	9	4	27	1
	100.0	78.1	0.5	0.0	4.7	2.1	14.1	0.5
70歳以上	215	175	2	0	9	2	23	4
	100.0	81.4	0.9	0.0	4.2	0.9	10.7	1.9
無回答	1	0	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

■クロス集計（エリア×定住意向）

- ◆現在住んでいる地区への定住意向をエリア別に見ると、全てのエリアで「今後も、同じ地区に住み続けたい」が第1位、「わからない」が第2位である。
- ◆また、「将来は区外に転出したい」とする割合が、小豆沢・志村エリア（11.9%）が他のエリアより高い傾向となっている。件数が少なく参考であるが、坂下・舟渡エリア（10.3%）も他のエリアより高い傾向となっている。

	総 数	今 後 も 同 じ 地 区 に 住 み 続 け たい	1 年 以 内 に 区 外 に 転 出 す る 予 定	3 年 以 内 に 区 内 に 転 出 す る 予 定	将 来 は 区 外 に 転 出 す る 予 定	他 の 地 区 に 予 定 居 す	わ か ら な い	無 回 答
板橋・大山 エリア	199 100.0	129 64.8	4 2.0	1 0.5	15 7.5	1 0.5	47 23.6	2 1.0
大谷口・向原 エリア	123 100.0	78 63.4	7 5.7	0 0.0	9 7.3	1 0.8	27 22.0	1 0.8
上板橋・常盤台 エリア	192 100.0	130 67.7	12 6.3	3 1.6	12 6.3	3 1.6	31 16.1	1 0.5
小豆沢・志村 エリア	243 100.0	150 61.7	9 3.7	9 3.7	29 11.9	2 0.8	44 18.1	0 0.0
徳丸・西台 エリア	99 100.0	65 65.7	2 2.0	2 2.0	8 8.1	1 1.0	20 20.2	1 1.0
赤塚・成増 エリア	124 100.0	84 67.7	2 1.6	2 1.6	7 5.6	1 0.8	27 21.8	1 0.8
新河岸・高島平 エリア	97 100.0	62 63.9	4 4.1	1 1.0	8 8.2	4 4.1	18 18.6	0 0.0
坂下・舟渡 エリア	39 100.0	26 66.7	0 0.0	3 7.7	4 10.3	0 0.0	4 10.3	2 5.1

■クロス集計（住居形態×定住意向）

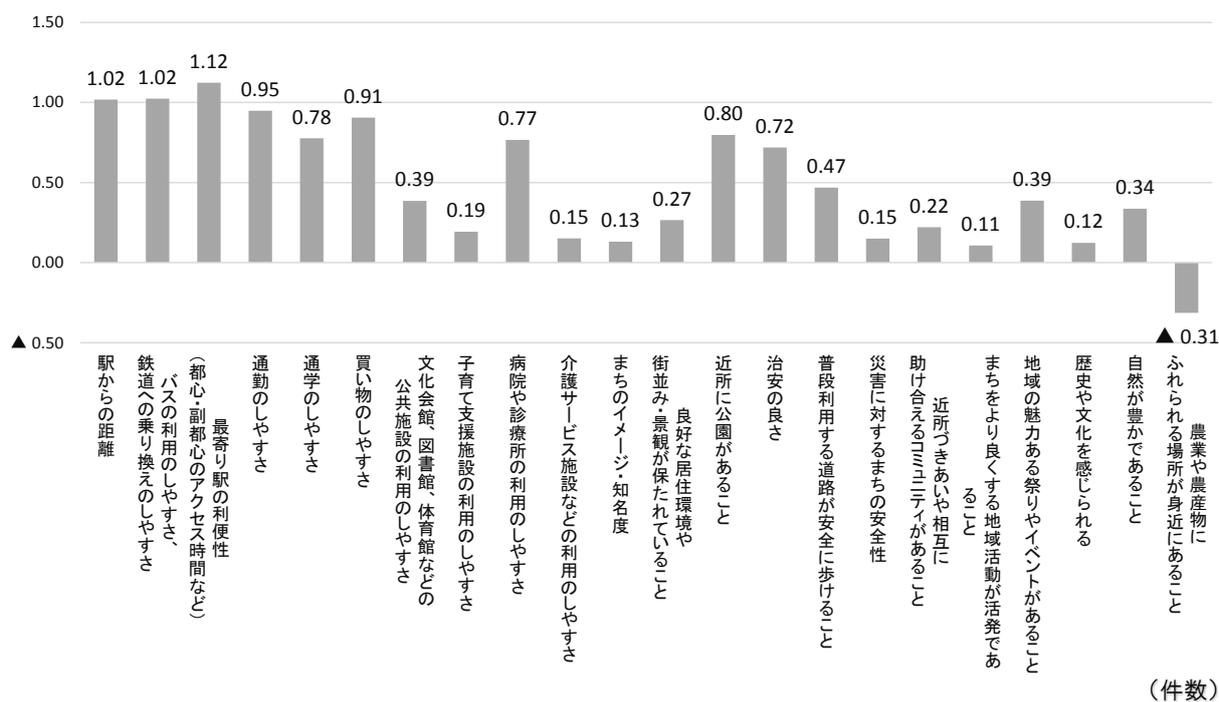
- ◆現在住んでいる地区への定住意向を住居形態別に見ると、社宅・官舎・寮を除くその他の住居形態で「今後も、同じ地区に住み続けたい」が第1位、「わからない」が第2位となっている。社宅・官舎・寮では、「1～2年以内に区外に転出する予定」も「わからない」と同率で第1位となっている。

	総 数	今 後 も 同 じ 地 区 に 住 み 続 け たい	1 年 以 内 に 区 外 に 転 出 す る 予 定	3 年 以 内 に 区 内 に 転 出 す る 予 定	将 来 は 区 外 に 転 出 す る 予 定	他 の 地 区 に 予 定 居 す	わ か ら な い	無 回 答
持ち家一戸建て	333 100.0	259 77.8	3 0.9	1 0.3	18 5.4	2 0.6	49 14.7	1 0.3
持ち家集合住宅	307 100.0	206 67.1	8 2.6	4 1.3	31 10.1	3 1.0	52 16.9	3 1.0
賃貸一戸建て	19 100.0	9 47.4	1 5.3	1 5.3	4 21.1	0 0.0	4 21.1	0 0.0
民間の賃貸集合 住宅	200 100.0	90 45.0	21 10.5	7 3.5	13 6.5	4 2.0	62 31.0	3 1.5
公的賃貸住宅	83 100.0	54 65.1	3 3.6	2 2.4	9 10.8	3 3.6	12 14.5	0 0.0
社宅・官舎・寮	15 100.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3	5 33.3	0 0.0	5 33.3	0 0.0
その他	8 100.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	1 12.5
無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0

問4 現在お住まいの地域について、あなたの「現在の満足度」と住み続ける上での「重要度」について、それぞれあてはまるもの1つだけに○をつけてください。

※満足2点、やや満足1点、やや不満-1点、不満-2点、わからない0点として、平均スコアを算出。
 ◆満足度の平均スコアは、「最寄り駅の利便性」が1.12と最も高く、「駅からの距離」「鉄道駅への乗り換えのしやすさ」（ともに1.02）、「通勤のしやすさ」（0.95）、「買い物のしやすさ」（0.91）と続いており、駅の利便性に関する項目が上位を占めている。
 ◆逆に最も低いものは「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」（-0.31）であり、「まちをより良くする地域活動が活発であること」（0.11）「歴史や文化を感じられる」（0.12）と続いている。

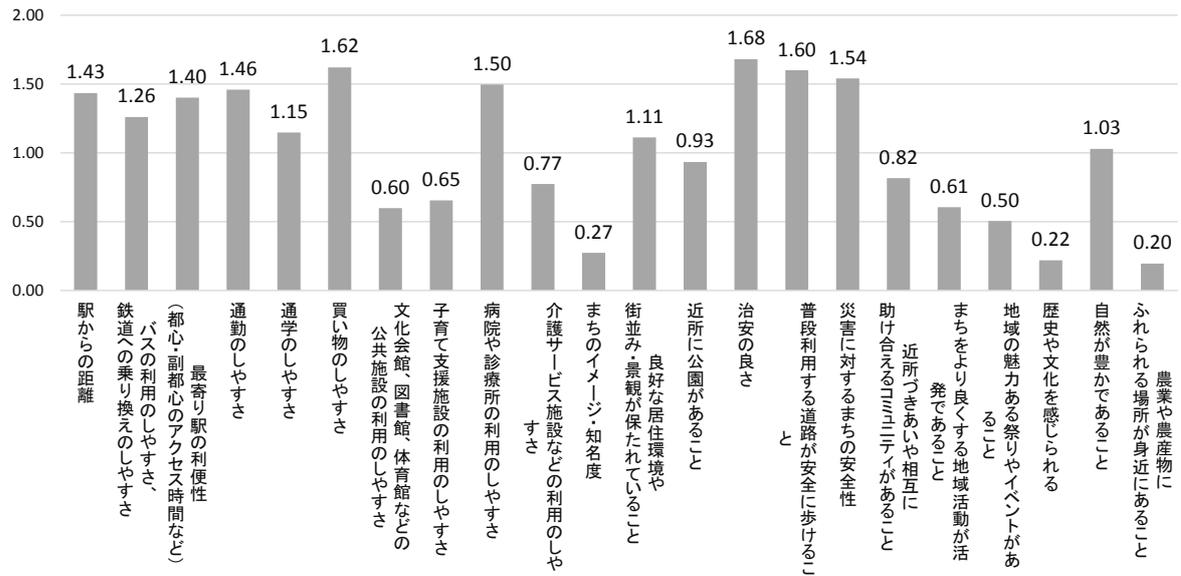
【満足度】（平均スコア）



		現在の満足度					
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
居住の利便性	駅からの距離	477	285	142	57	5	2
	バス利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ	437	310	110	52	39	20
	最寄り駅の利便性(池袋や新宿など都心・副都心の各拠点にアクセスできる時間など)	469	327	111	40	9	12
	通勤のしやすさ	346	255	104	31	88	144
	通学のしやすさ	224	156	58	25	176	329
	買い物のしやすさ(魅力ある近くの商店街、コンビニ、スーパーなど)	434	298	149	75	2	10
	文化会館、図書館、体育館などの公共施設の利用のしやすさ	210	330	201	92	115	20
	子育て支援施設の利用のしやすさ	80	131	69	36	463	189
まちの雰囲気や環境	病院や診療所の利用のしやすさ	289	391	167	38	62	21
	介護サービス施設などの利用のしやすさ	68	119	67	31	550	133
	まちのイメージ・知名度	129	334	254	108	113	30
	良好な居住環境や街並み・景観が保たれていること	151	389	231	105	66	26
	近所に公園があること	311	386	124	66	56	25
	治安の良さ	266	415	159	54	52	22
	普段利用する道路が安全に歩けること	253	367	216	105	13	14
	災害に対するまちの安全性(建物倒壊や火災の延焼のしにくさ、避難のしやすさなど)	123	291	215	90	232	17
	近所づきあいや相互に助け合えるコミュニティがあること	112	317	206	62	256	15
	まちをより良くする地域活動が活発であること	68	250	171	57	394	28
	地域の魅力ある祭りやイベントがあること	127	374	148	56	245	18
	歴史や文化を感じられる	71	295	185	68	319	30
	自然が豊かであること	170	375	220	88	95	20
	農業や農産物にふれられる場所が身近にあること	67	153	234	174	313	27

- ◆重要度の平均スコアは、「治安の良さ」が1.68と最も高く、「買い物のしやすさ」(1.62)、「普段利用する道路が安全に歩けること」(1.60)、「災害に対するまちの安全性」(1.54)と続いており、安全・安心に関する事項を重視する傾向が強いことがわかる。
- ◆逆に最も低いものは「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」(0.20)で、「歴史や文化を感じられる」(0.22)、「まちのイメージ・知名度」(0.27)と続いている。

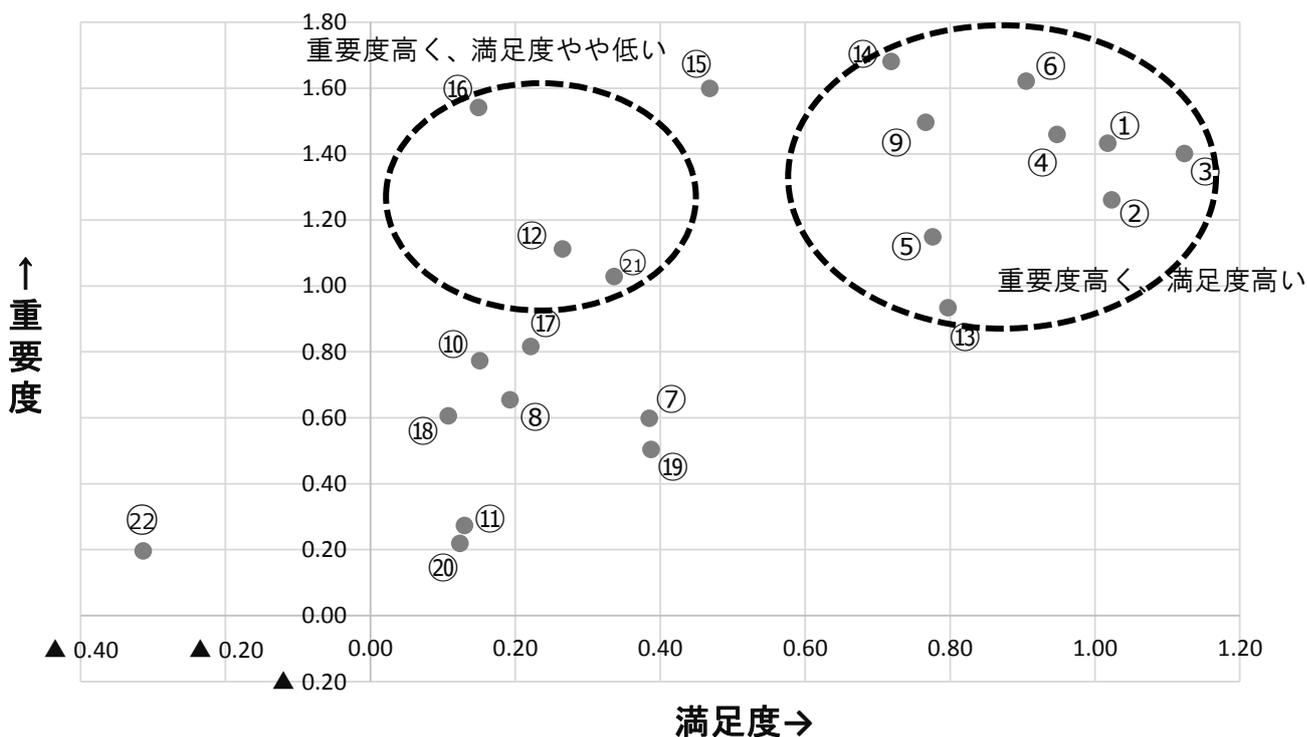
【重要度】(平均スコア)



(件数)

		重要度					無回答
		重要度	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	
居住の利便性	駅からの距離	575	251	73	10	4	55
	バス利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ	497	274	87	24	17	69
	最寄り駅の利便性(池袋や新宿など都心・副都心の各拠点にアクセスできる時間など)	545	260	77	8	7	71
	通勤のしやすさ	506	176	33	7	60	186
	通学のしやすさ	325	122	32	10	138	341
	買い物のしやすさ(魅力ある近くの商店街、コンビニ、スーパーなど)	628	242	29	1	5	63
	文化会館、図書館、体育館などの公共施設の利用のしやすさ	226	377	188	53	51	73
	子育て支援施設の利用のしやすさ	231	173	57	41	256	210
	病院や診療所の利用のしやすさ	569	252	38	9	24	569
	介護サービス施設などの利用のしやすさ	293	172	59	31	269	144
まちの雰囲気や環境	まちのイメージ・知名度	164	322	266	72	56	88
	良好な居住環境や街並み・景観が保たれていること	332	426	82	13	30	85
	近所に公園があること	328	365	132	31	30	82
	治安の良さ	671	180	18	5	15	79
	普段利用する道路が安全に歩けること	598	262	22	4	7	75
	災害に対するまちの安全性(建物倒壊や火災の延焼のしにくさ、避難のしやすさなど)	607	204	32	5	45	75
	近所づきあいや相互に助け合えるコミュニティがあること	271	367	116	32	107	75
	まちをより良くする地域活動が活発であること	202	362	137	47	135	85
	地域の魅力ある祭りやイベントがあること	190	365	176	61	95	81
	歴史や文化を感じられる	128	311	234	71	131	93
自然が豊かであること	337	390	97	26	40	78	
農業や農産物にふれられる場所が身近にあること	147	278	244	78	133	88	

- ◆満足度と重要度との散布図を見ると、「⑫農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」が満足度で唯一マイナスとなっているが、全体的には満足度も重要度も高くなっている。
- ◆特に満足度も重要度も高いものは、「⑭治安の良さ」「⑥買い物のしやすさ」「⑨病院や診療所の利用のしやすさ」「④通勤のしやすさ」「①駅からの距離」「②バスの利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ」「③最寄り駅の利便性」「⑤通学のしやすさ」「⑬近所に公園があること」などとなっており、交通利便性、移動のしやすさに関するものが多い。
- ◆重要度が高い割に満足度がやや低いものは、「⑯災害に対するまちの安全性」「⑫良好な居住環境や街並み・景観が保たれていること」「⑮自然が豊かであること」で、防災、景観、自然に関する満足度がやや低くなっている。



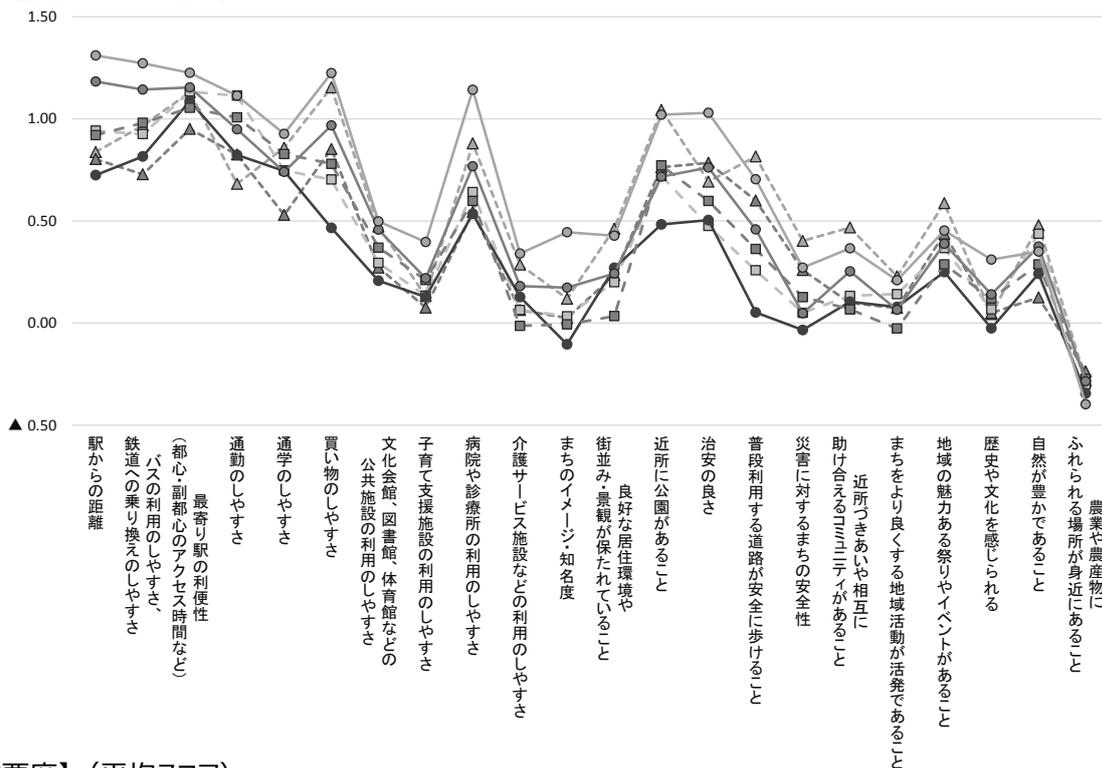
① 駅からの距離	⑫ 良好な居住環境や街並み・景観が保たれていること
② バスの利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ	⑬ 近所に公園があること
③ 最寄り駅の利便性（池袋や新宿など都心・副都心の各拠点にアクセスできる時間など）	⑭ 治安の良さ
④ 通勤のしやすさ	⑮ 普段利用する道路が安全に歩けること
⑤ 通学のしやすさ	⑯ 災害に対するまちの安全性（建物倒壊や火災など延焼にしにくさ、避難のしやすさなど）
⑥ 買い物のしやすさ（魅力ある近くの商店街、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなど）	⑰ 近所づきあいや相互に助け合えるコミュニティがあること
⑦ 文化会館、図書館、体育館などの公共施設の利用のしやすさ	⑱ まちをより良くする地域活動が活発であること
⑧ 子育て支援施設の利用のしやすさ	⑲ 地域の魅力ある祭りやイベントがあること
⑨ 病院や診療所の利用のしやすさ	⑳ 歴史や文化を感じられること
⑩ 介護サービス施設などの利用のしやすさ	㉑ 自然が豊かであること
⑪ まちのイメージ・知名度	㉒ 農業や農産物にふれられる場所が身近にあること

■クロス集計（年代×満足度・重要度）

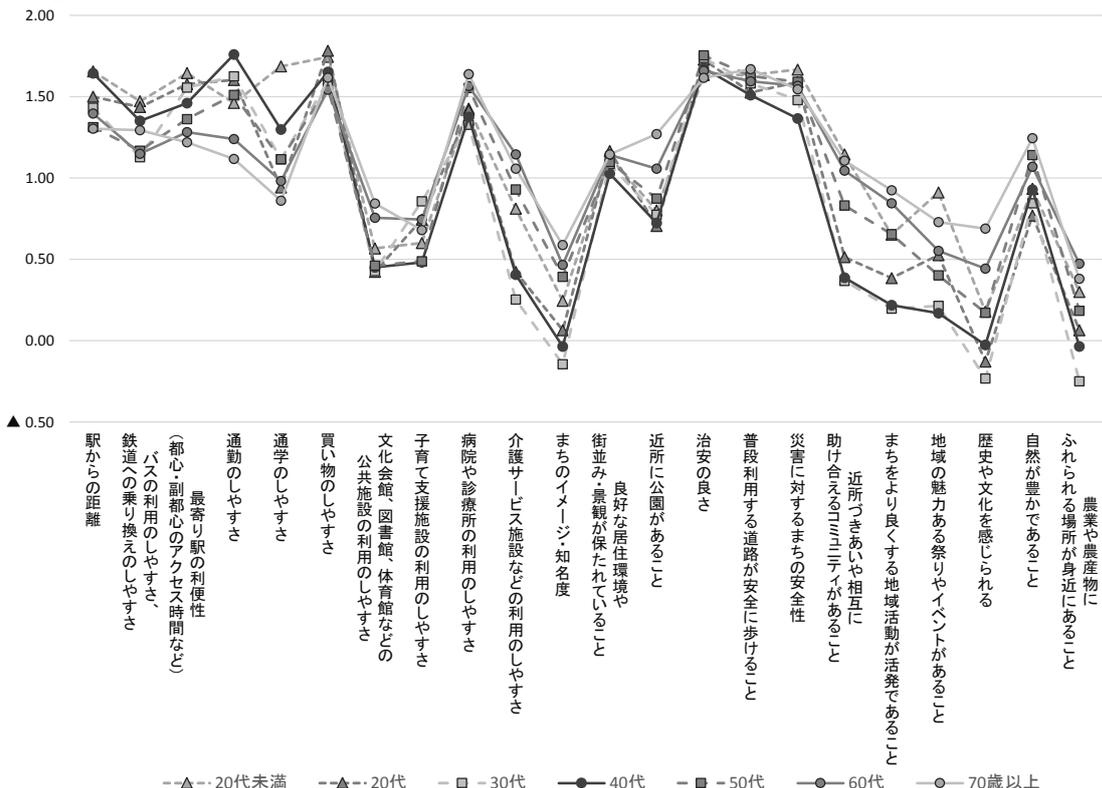
〔年代別比較〕

- ◆満足度の年代別比較では、どの年代も同じような傾向となっているが、「⑥買い物のしやすさ」では70代以上と40代の、「⑮普段利用する道路が安全に歩けること」では20代未満と40代とで年代による開きが大きい。
- ◆重要度の年代別比較も、どの年代も同じような傾向となっているが、「⑩介護サービス施設などの利用のしやすさ」では60代と30代の、「⑳歴史や文化を感じられる」では70代以上と30代とで年代による開きが大きい。

【満足度】（平均スコア）



【重要度】（平均スコア）

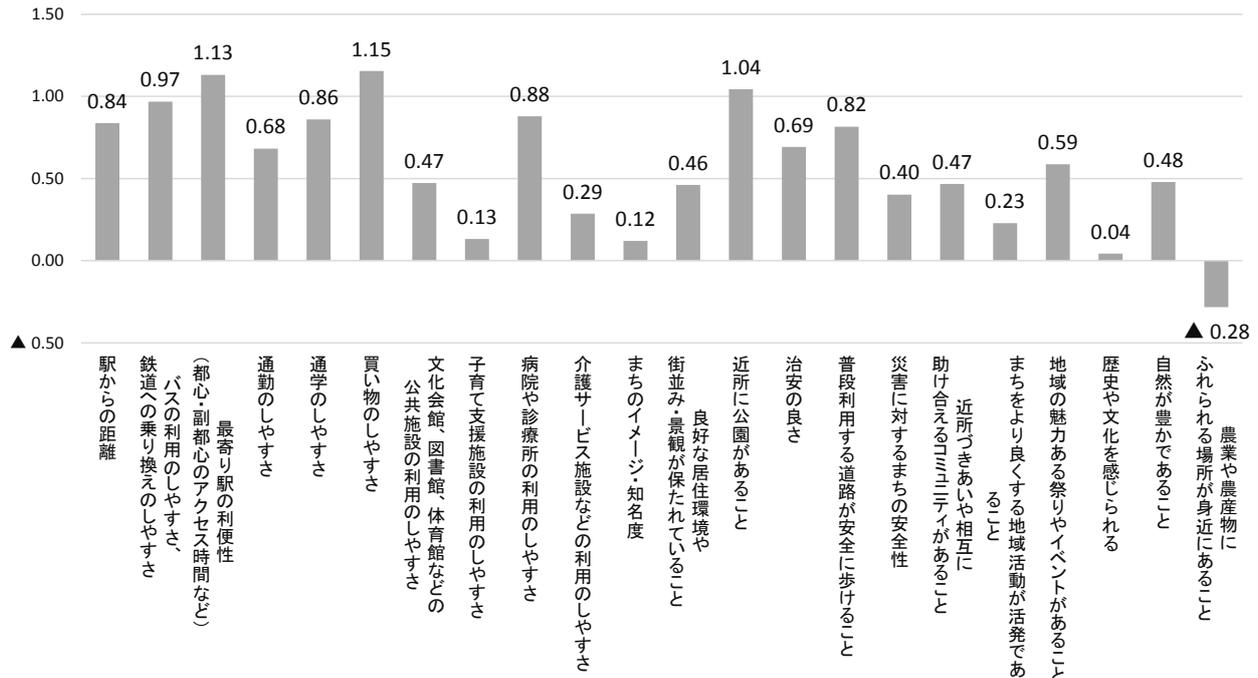


〔20歳未満〕

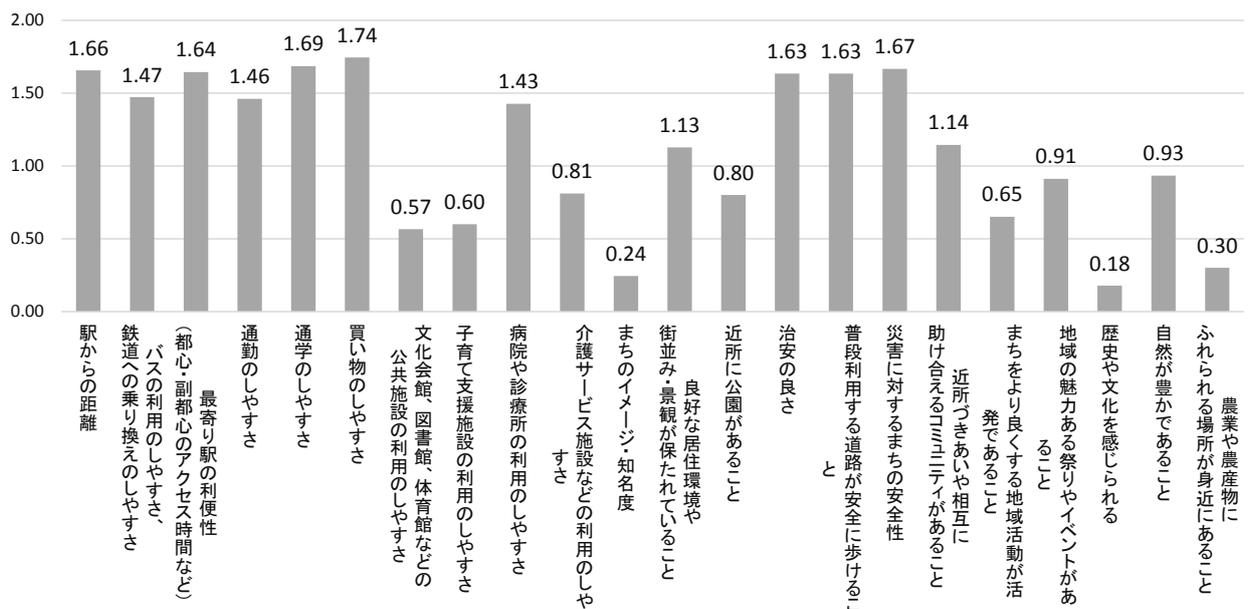
◆20歳未満は、「買い物のしやすさ」や「最寄り駅の利便性」、「近所に公園があること」の満足度が高く、「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」や「歴史や文化を感じられる」「まちのイメージ・知名度」などの満足度が低い。

◆重要度では「買い物のしやすさ」「通学のしやすさ」「災害に対するまちの安全性」が高く、「歴史や文化を感じられる」や「まちのイメージ・知名度」は低い。

【満足度】（平均スコア）



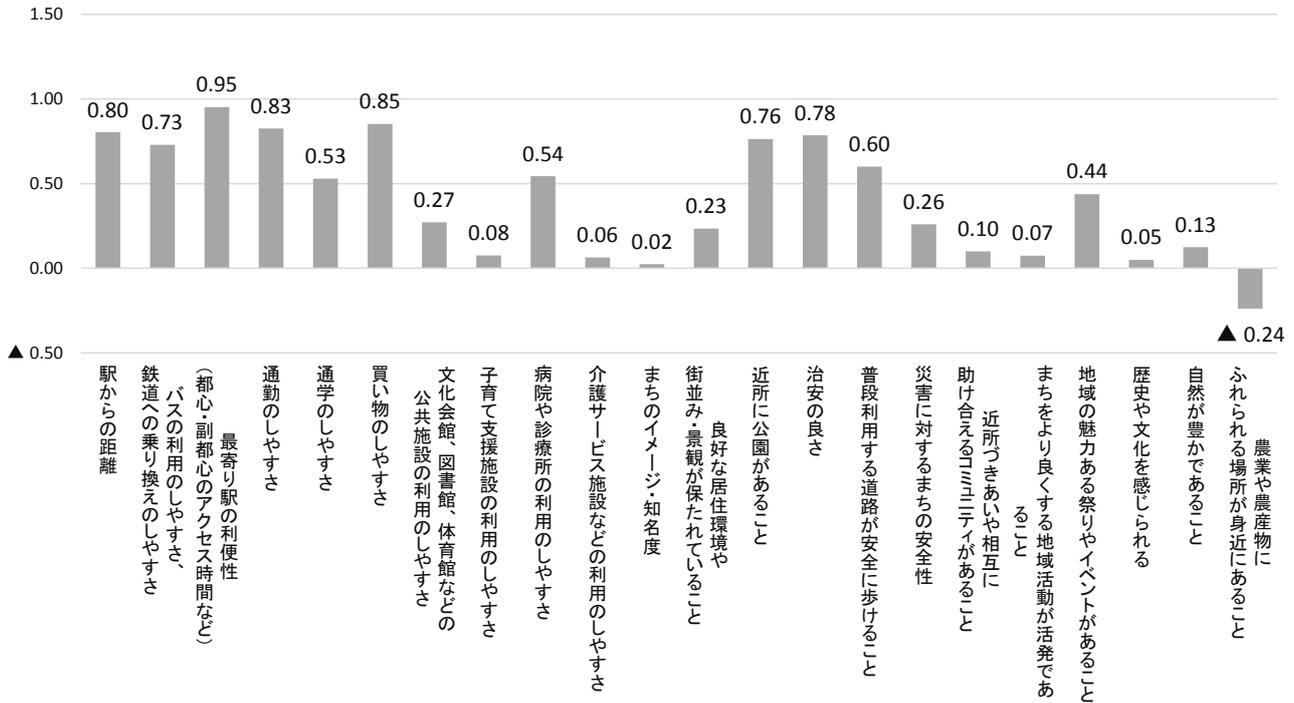
【重要度】（平均スコア）



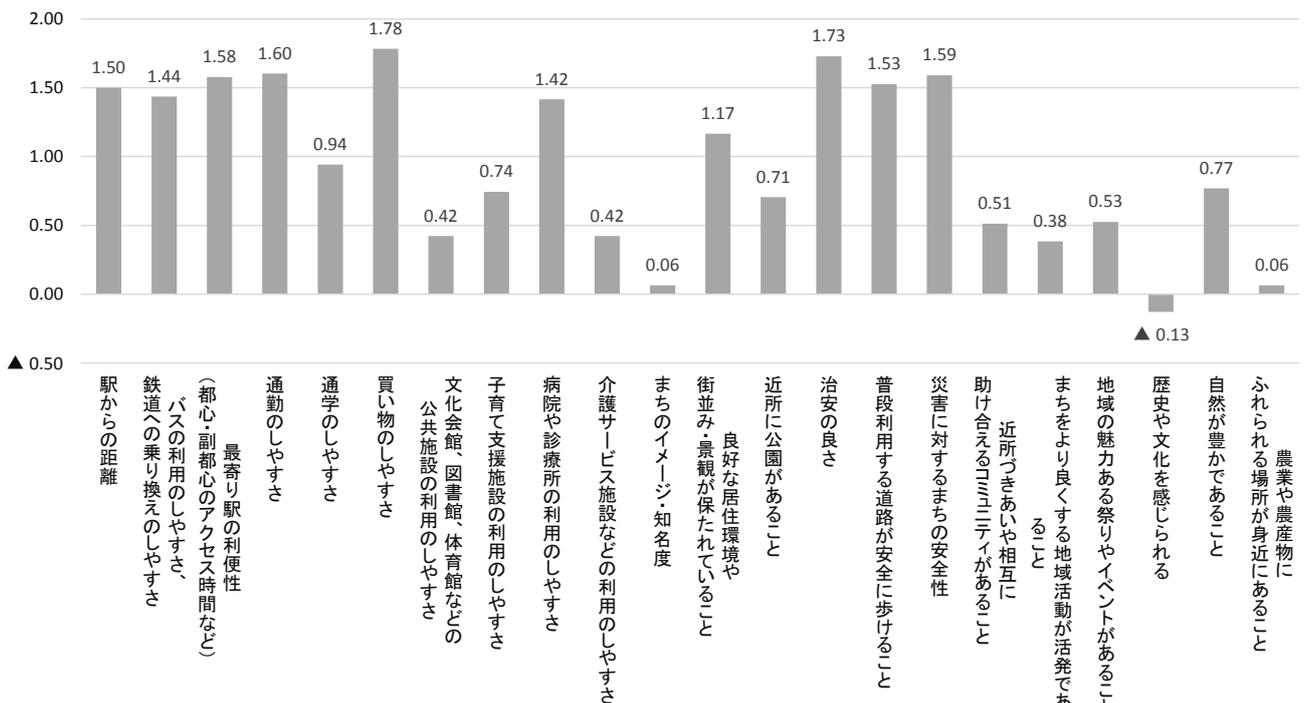
〔20 歳代〕

- ◆20 歳代の満足度は全般的に低く、平均スコア 1.00 を上回る項目はないが、「最寄り駅の利便性」「買い物のしやすさ」「通学のしやすさ」が上位3位までとなっている。
- ◆重要度では「買い物のしやすさ」「治安の良さ」「通勤のしやすさ」が高く、「歴史や文化を感じられる」「まちのイメージ・知名度」「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」が低い。

【満足度】（平均スコア）



【重要度】（平均スコア）

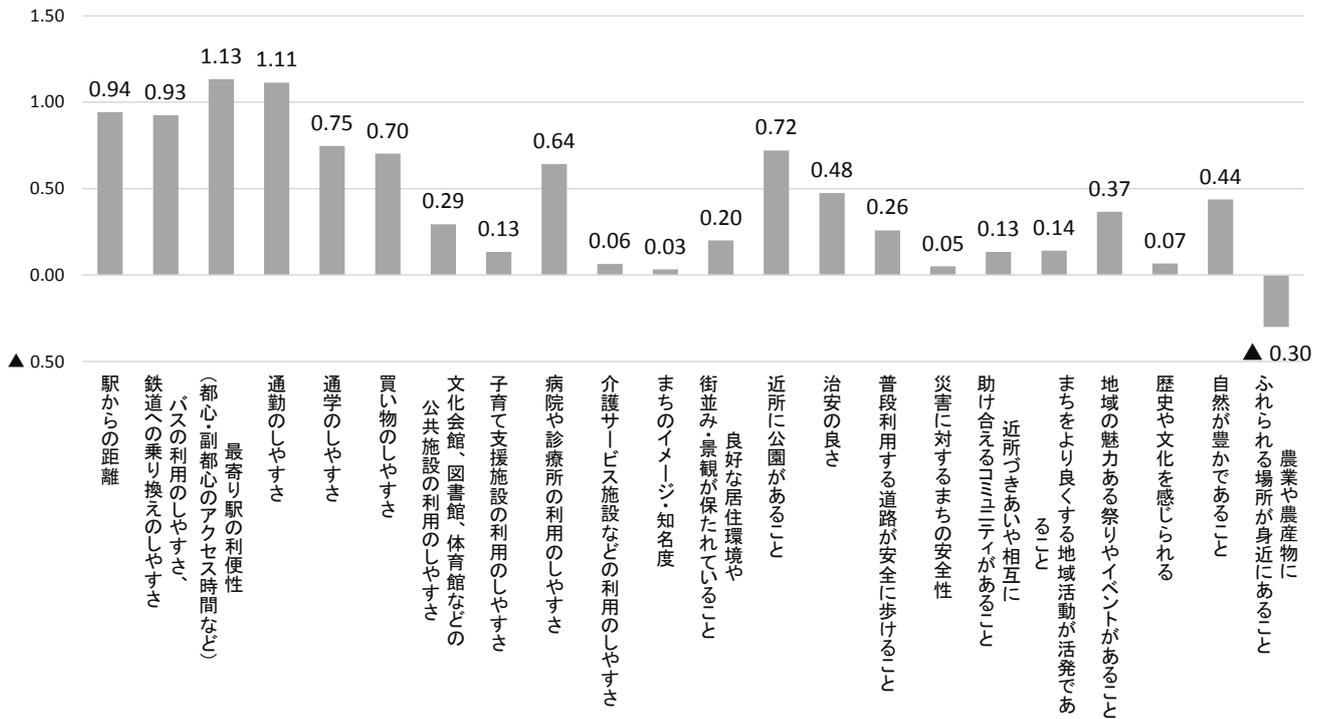


〔30 歳代〕

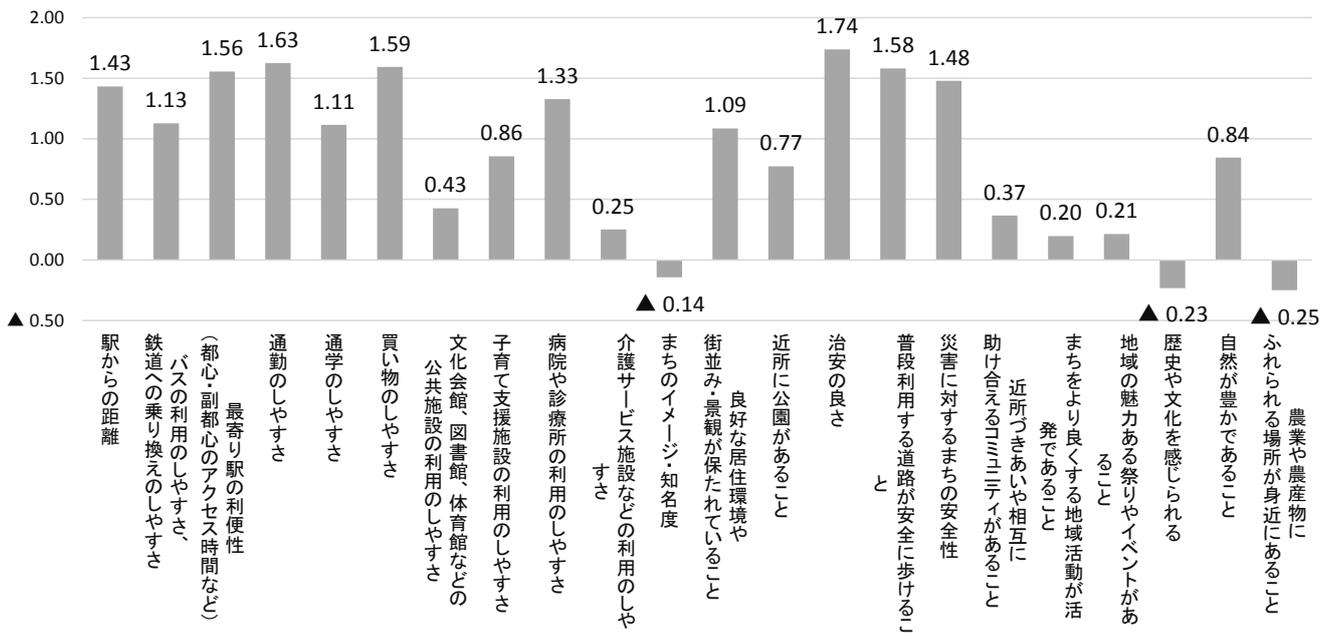
◆30 歳代の満足度は、「最寄り駅の利便性」「通勤のしやすさ」「駅からの距離」が高く、「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」「まちのイメージ・知名度」「災害に対するまちの安全性」が低い。

◆重要度では「治安の良さ」「通勤のしやすさ」「買い物のしやすさ」が高く、「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」「歴史や文化を感じられる」「まちのイメージ・知名度」が低い。

【満足度】（平均スコア）



【重要度】（平均スコア）

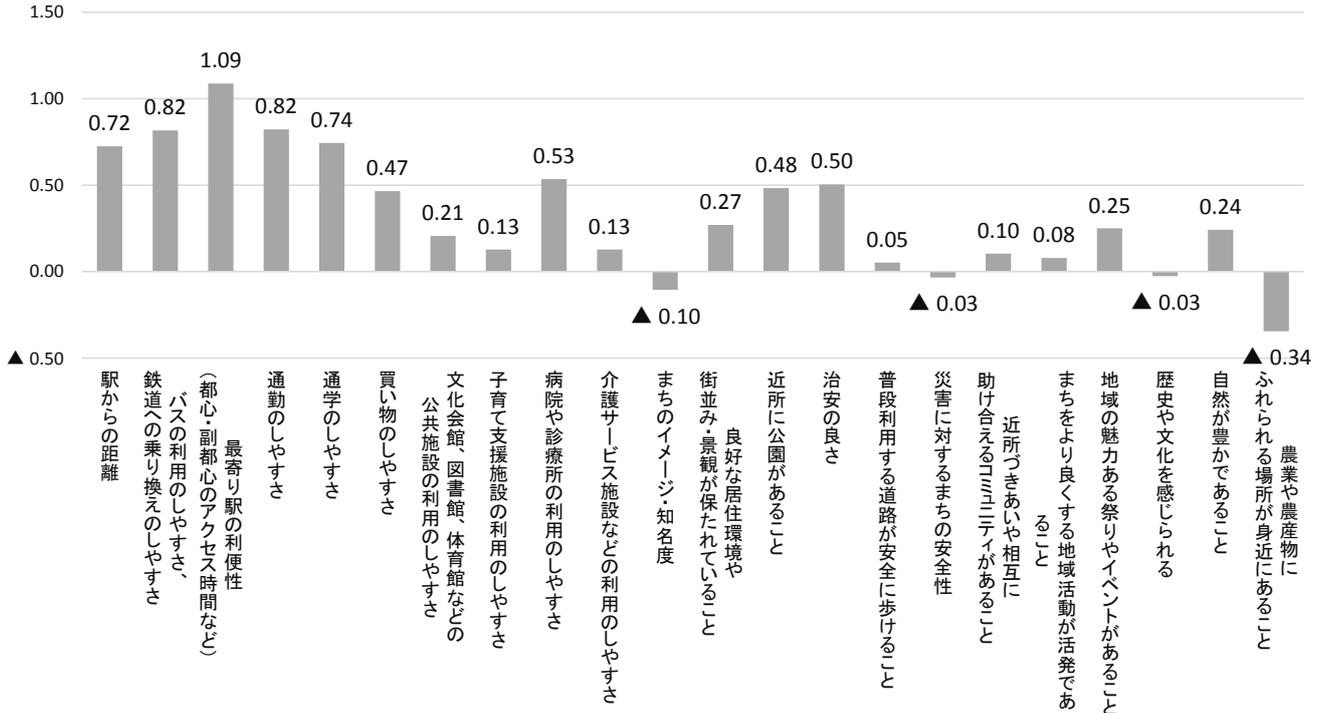


〔40 歳代〕

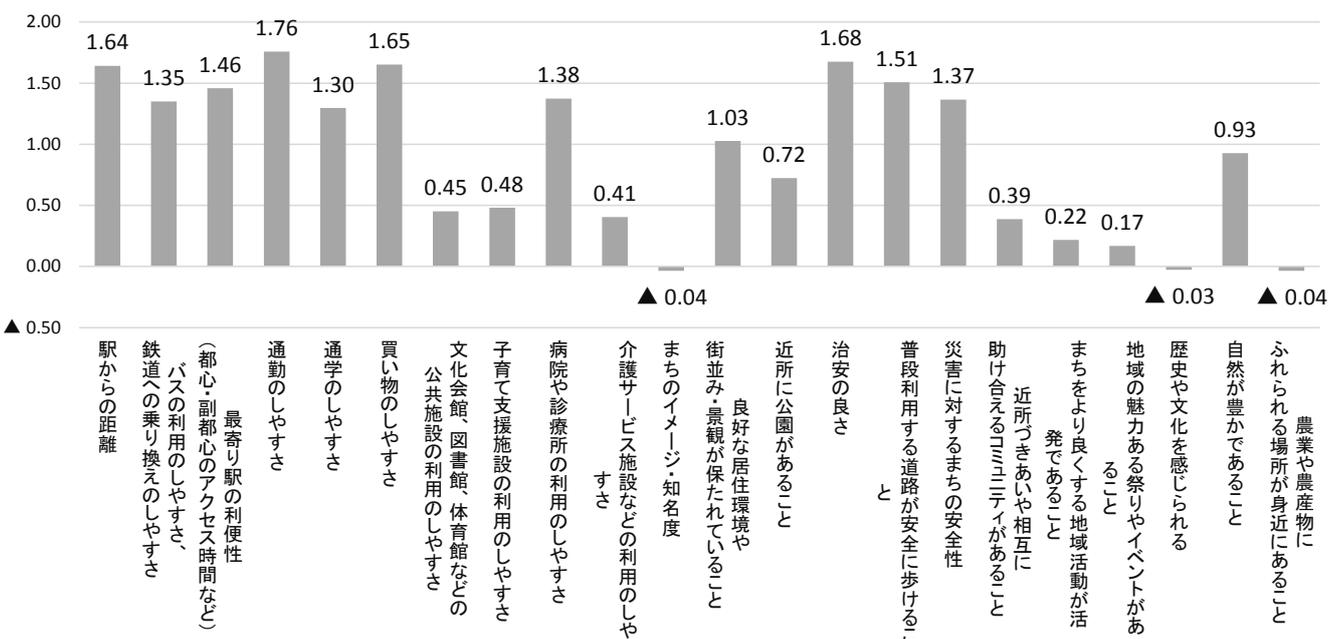
◆40 歳代の満足度は、「最寄り駅の利便性」が最も高く、「バスの利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ」「通勤のしやすさ」が次いでおり、「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」「まちのイメージ・知名度」「災害に対する安全性」「歴史や文化を感じられる」が低い。

◆重要度では「通勤のしやすさ」「治安の良さ」「買い物のしやすさ」が高く、「まちのイメージ・知名度」「農業や農産物にふれられる場所があること」「歴史や文化を感じられる」が低い。

【満足度】（平均スコア）



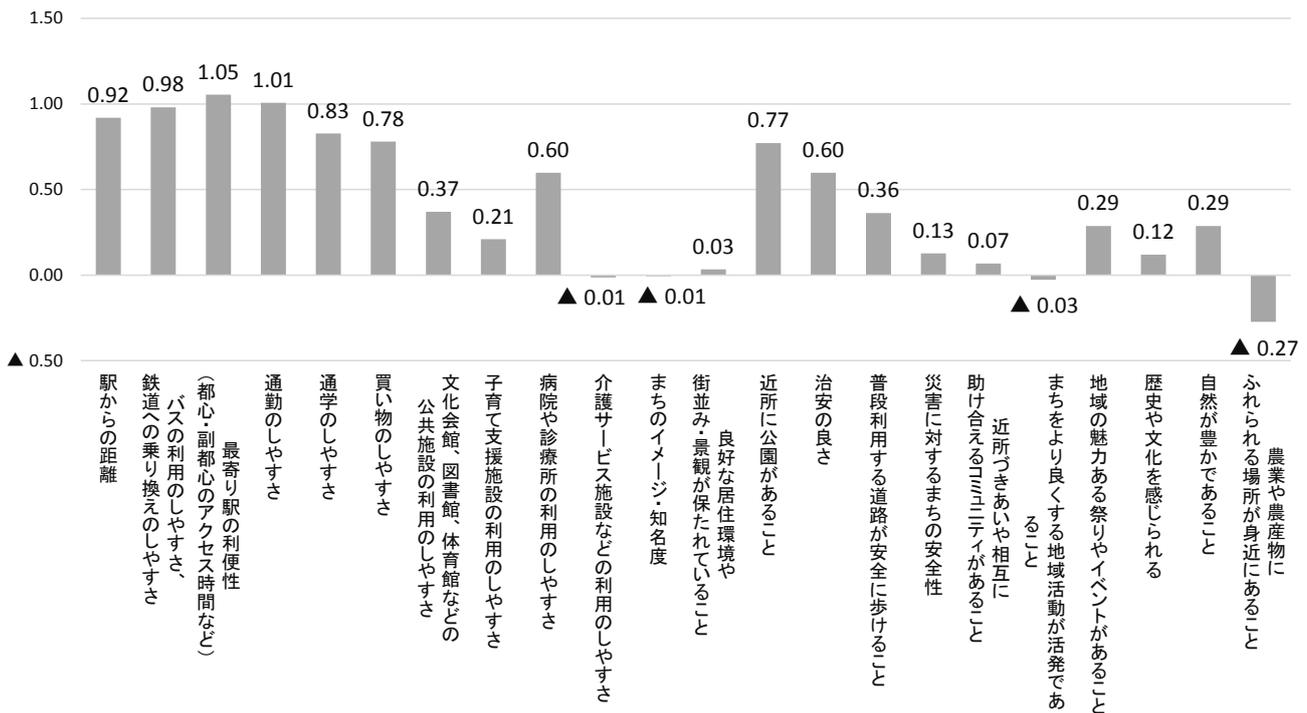
【重要度】（平均スコア）



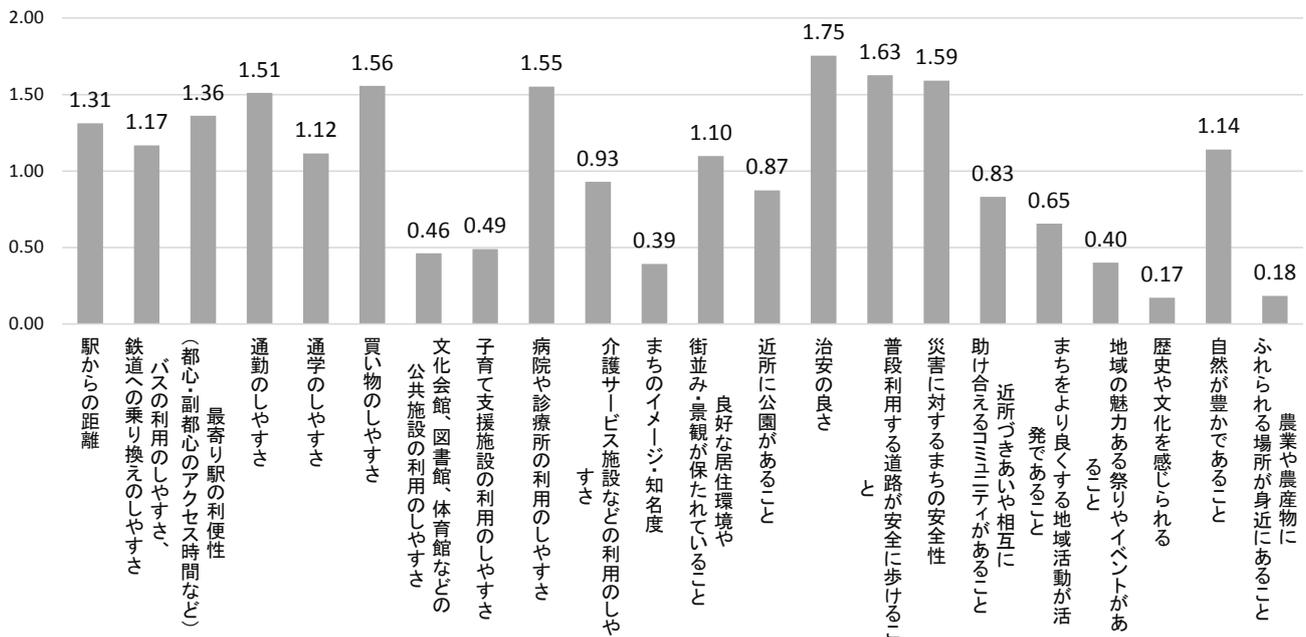
〔50 歳代〕

- ◆50 歳代の満足度は、「最寄り駅の利便性」が最も高く、「通勤のしやすさ」「バス利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ」が続いており、「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」「まちをより良くする地域活動が活発であること」が低い。
- ◆重要度では「治安の良さ」が最も高く、「普段利用する道路が安全に歩けること」「災害に対するまちの安全性」がこれに続いている。一方、「歴史や文化を感じられる」「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」「まちのイメージ・知名度」が低い。

【満足度】（平均スコア）



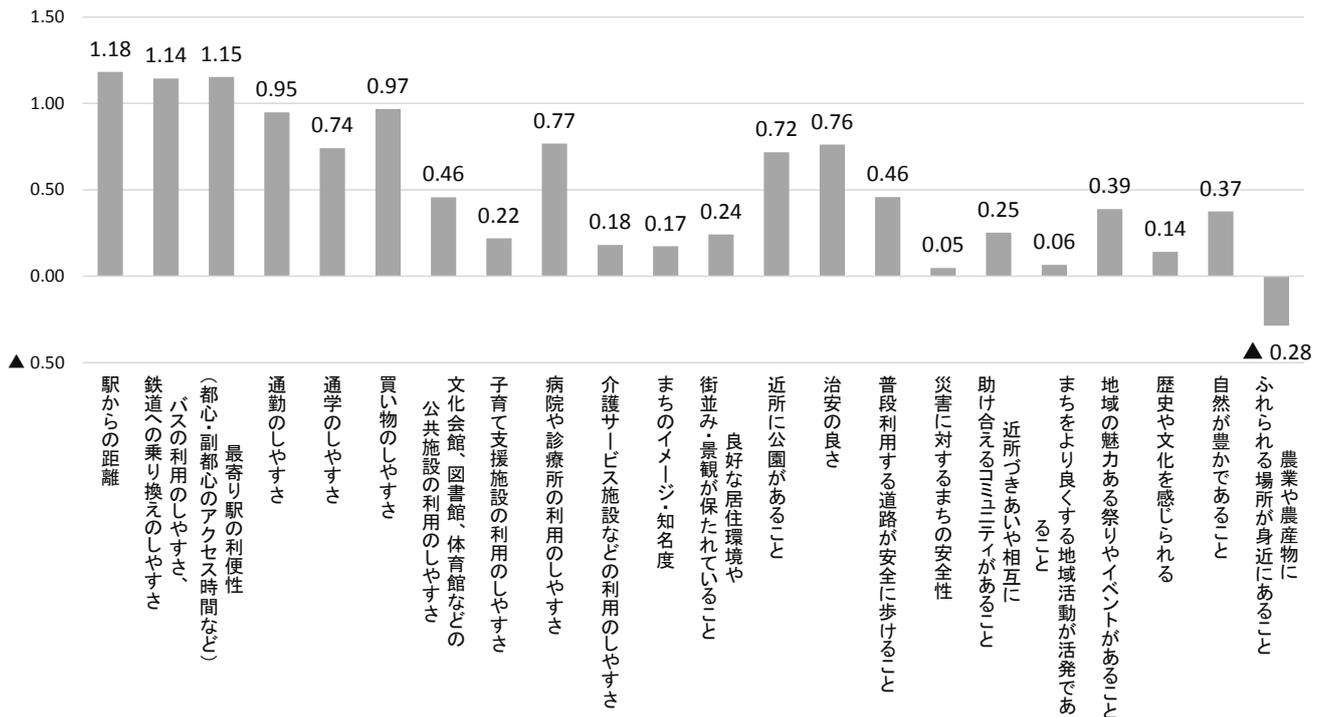
【重要度】（平均スコア）



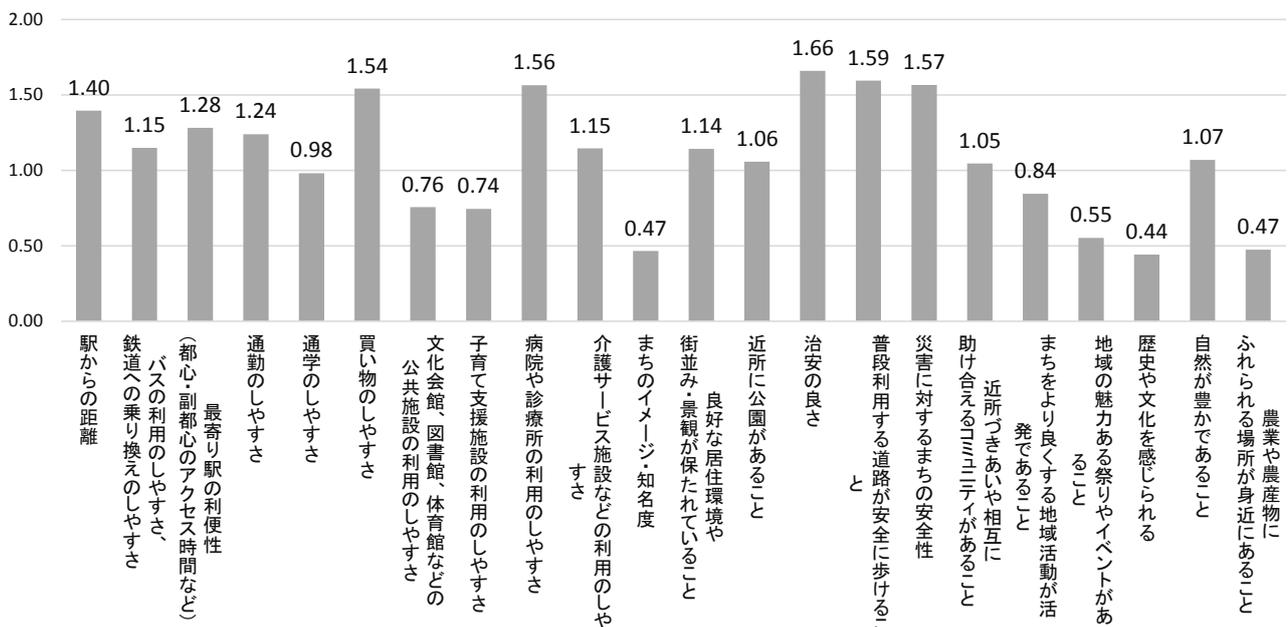
〔60 歳代〕

- ◆60 歳代の満足度は、「駅からの距離」「最寄り駅の利便性」「バスの利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ」が高く、「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」「災害に対するまちの安全性」「まちをより良くする地域活動が活発であること」が低い。
- ◆重要度では「治安の良さ」が最も高く、「普段利用する道路が安全に歩けること」「災害に対するまちの安全性」が続いており、「歴史や文化を感じられる」「まちのイメージ・知名度」「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」が低い。

【満足度】（平均スコア）



【重要度】（平均スコア）

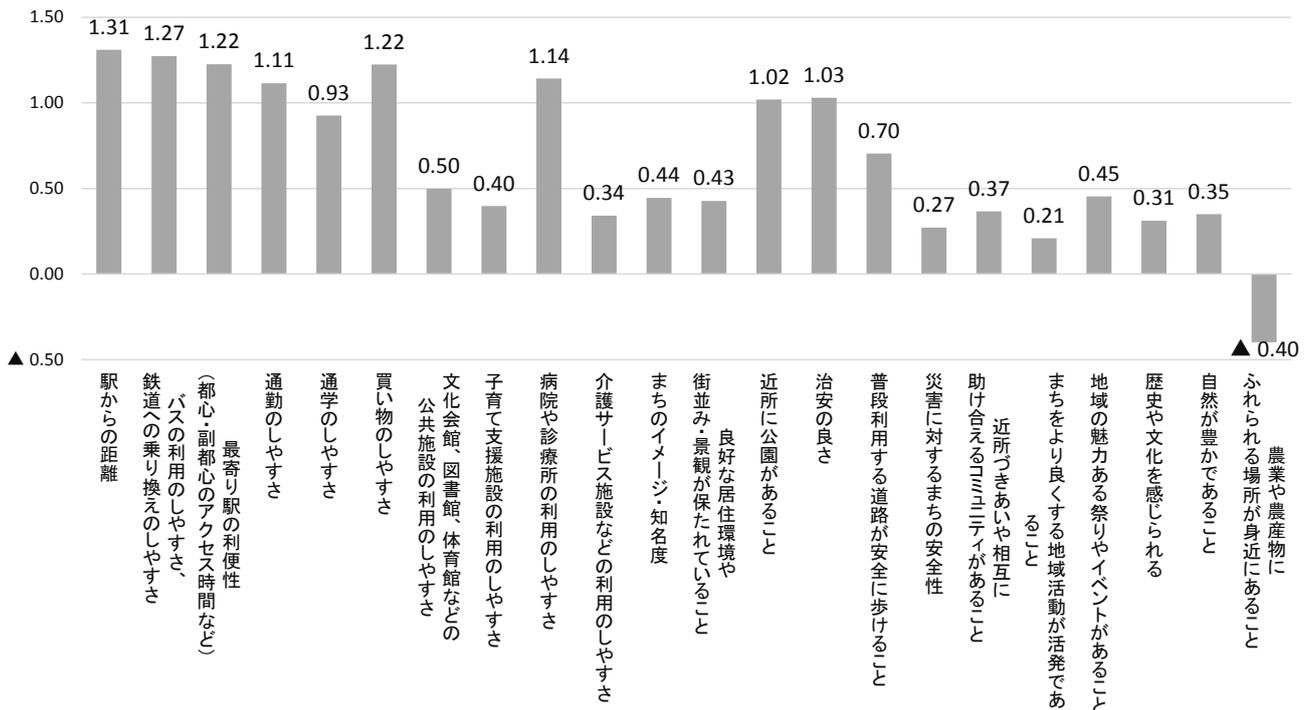


〔70 歳以上〕

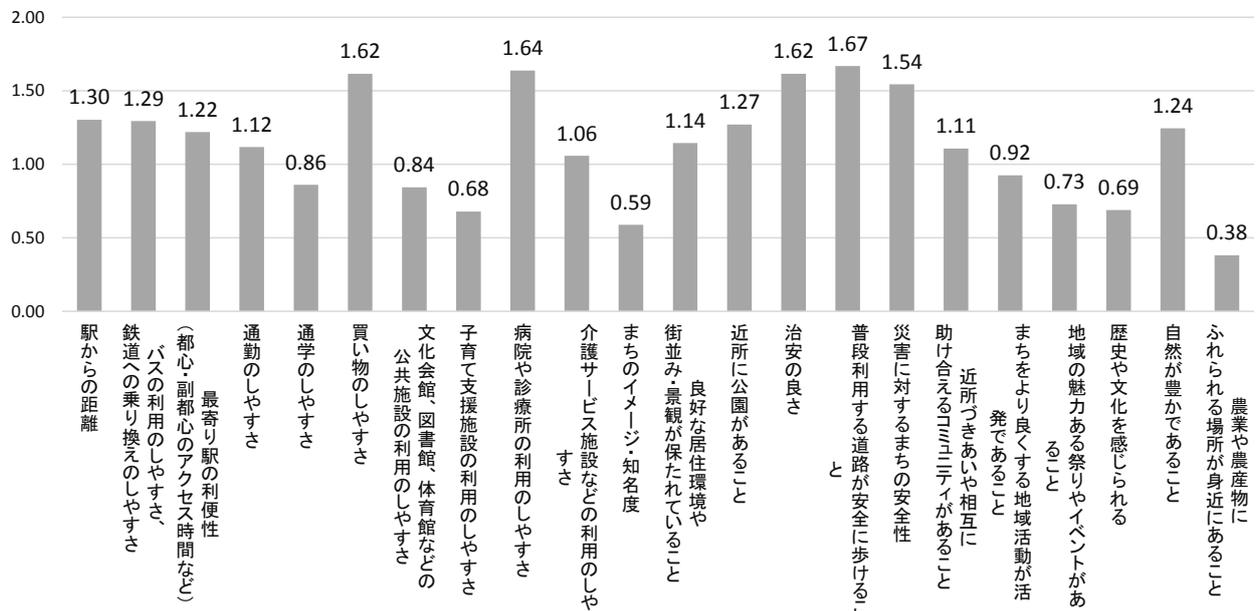
◆70 歳以上の満足度は、「駅からの距離」が最も高く、「バスの利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ」「最寄り駅の利便性」「買い物しやすさ」が続いている。一方、「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」「まちをより良くする地域活動が活発であること」「災害に対するまちの安全性」が低い。

◆重要度では「普段利用する道路が安全に歩けること」が最も高く、「病院や診療所の利用のしやすさ」「買い物のしやすさ」「治安の良さ」が続いている。一方、「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」「まちのイメージ・知名度」「子育て支援施設の利用のしやすさ」が低い。

【満足度】（平均スコア）



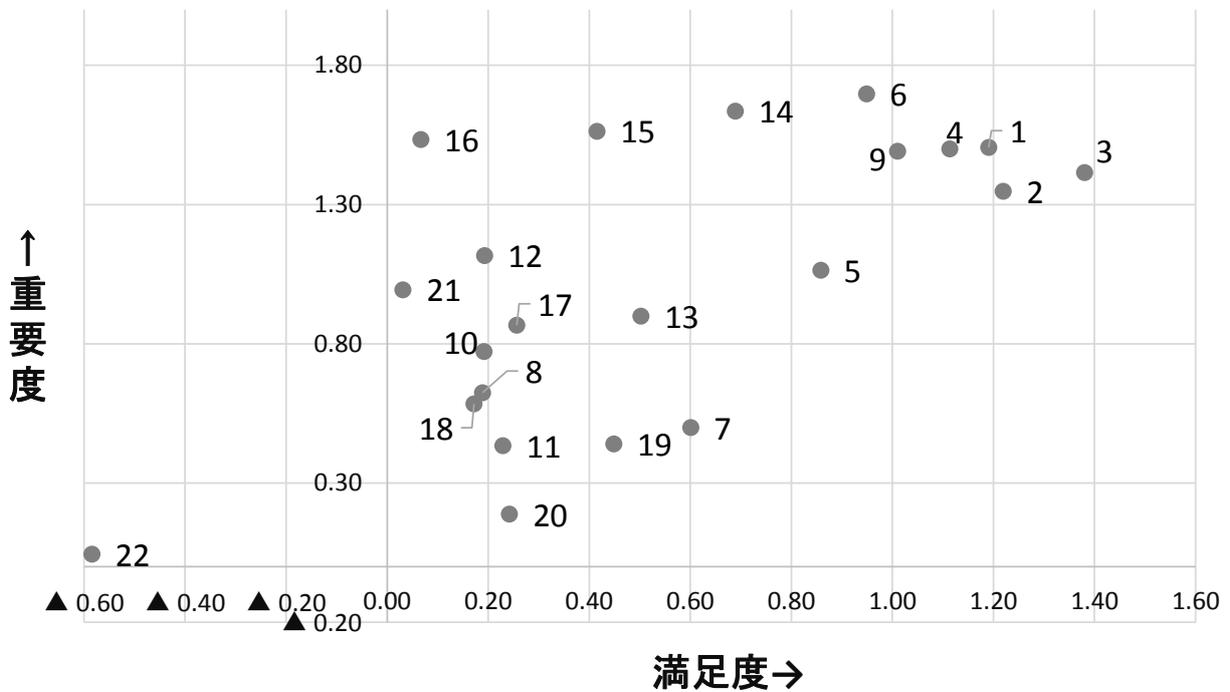
【重要度】（平均スコア）



■クロス集計（エリア×満足度・重要度）

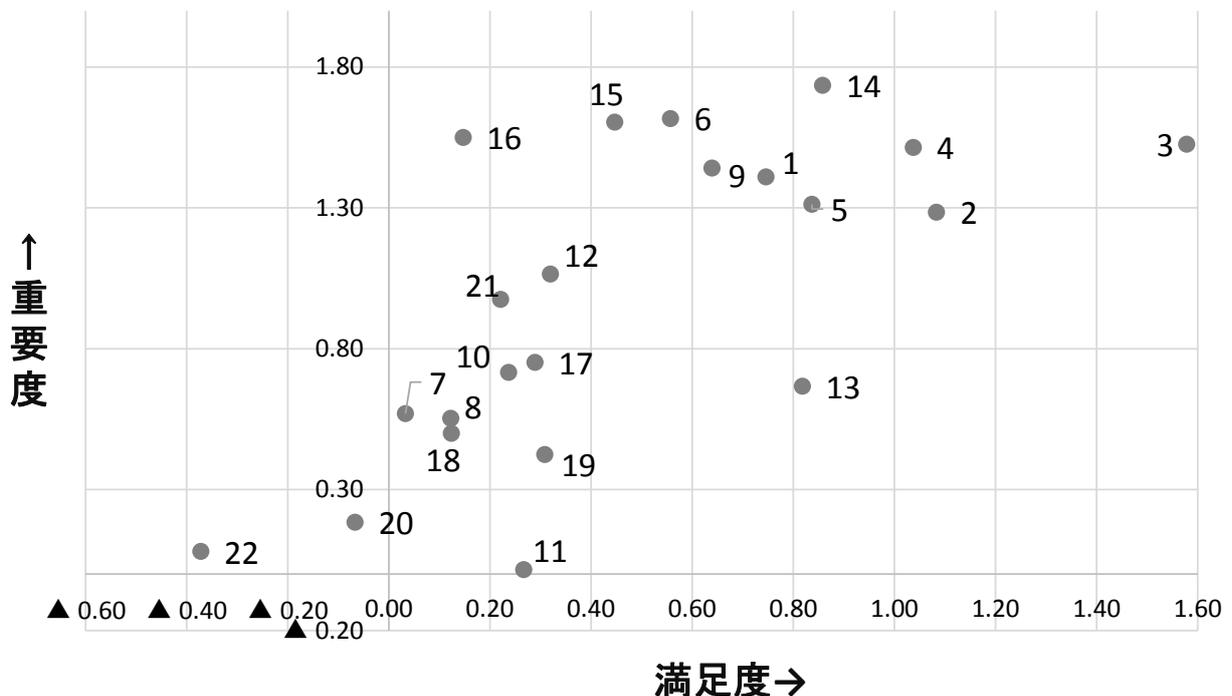
〔板橋・大山エリア〕

◆板橋・大山エリアは、他のエリアに比べ「②バス利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ」や「⑨病院や診療所の利用のしやすさ」の満足度が高く、「②農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」や「②自然が豊かであること」の満足度が低い。また、「⑥買い物のしやすさ」の重要度が高い。



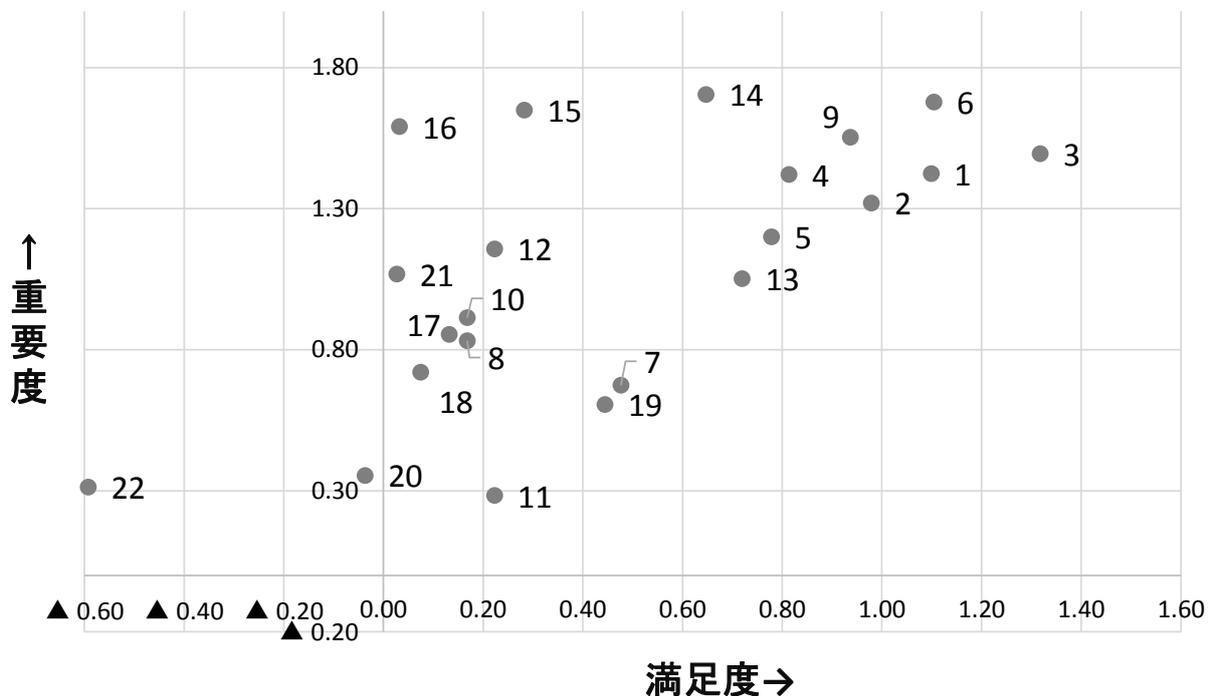
〔大谷口・向原エリア〕

◆大谷口・向原エリアは、「③最寄り駅の利便性」の満足度が全エリアの中で最も高く、他のエリアに比べ「⑭治安の良さ」の満足度も高い。また「⑩歴史や文化を感じられる」は満足度も重要度も低い。



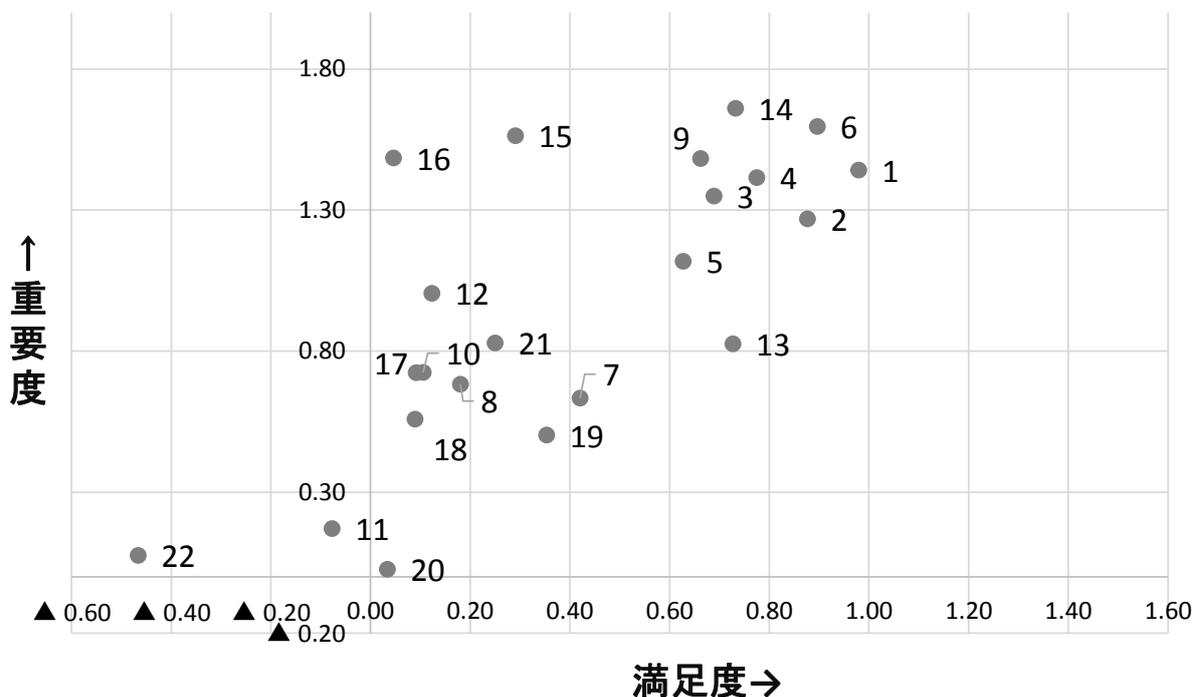
〔上板橋・常盤台エリア〕

◆上板橋・常盤台エリアは、「⑥買い物のしやすさ」の満足度が全エリアの中で最も高い。また、「⑩災害に対するまちの安全性」や「⑫自然が豊かであること」は重要性が高いが満足度は低くなっている。



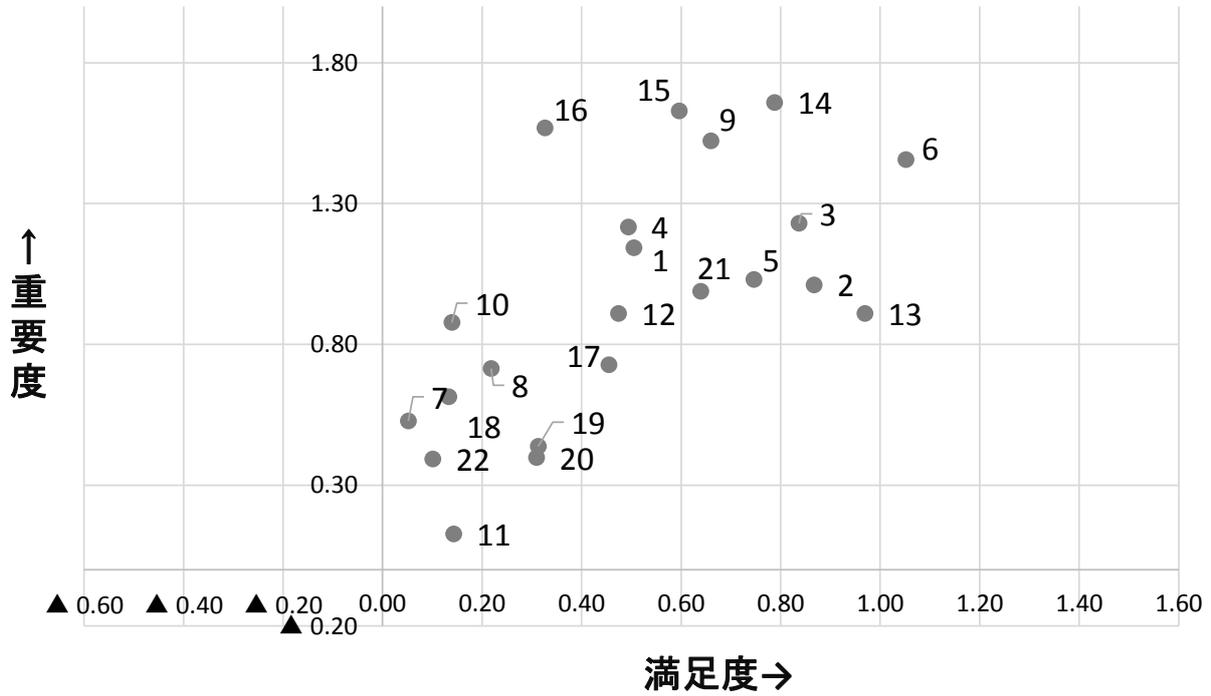
〔小豆沢・志村エリア〕

◆小豆沢・志村エリアは、他のエリアに比べ「⑩まちのイメージ・知名度」の満足度が低い。また、「⑩災害に対するまちの安全性」は重要性が高いが満足度は低くなっている。



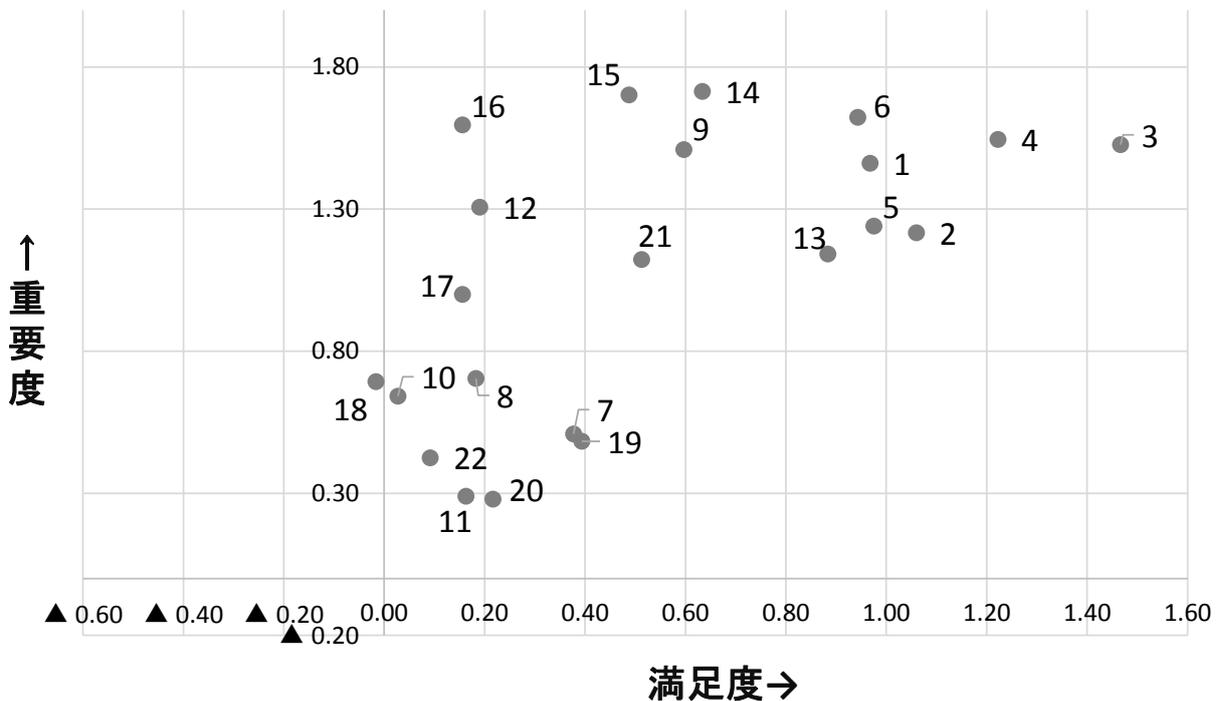
〔徳丸・西台エリア〕

◆徳丸・西台エリアは、唯一満足度でマイナスとなる項目がないエリアだが、他のエリアに比べ「⑦公共施設の利用のしやすさ」の満足度が低い。



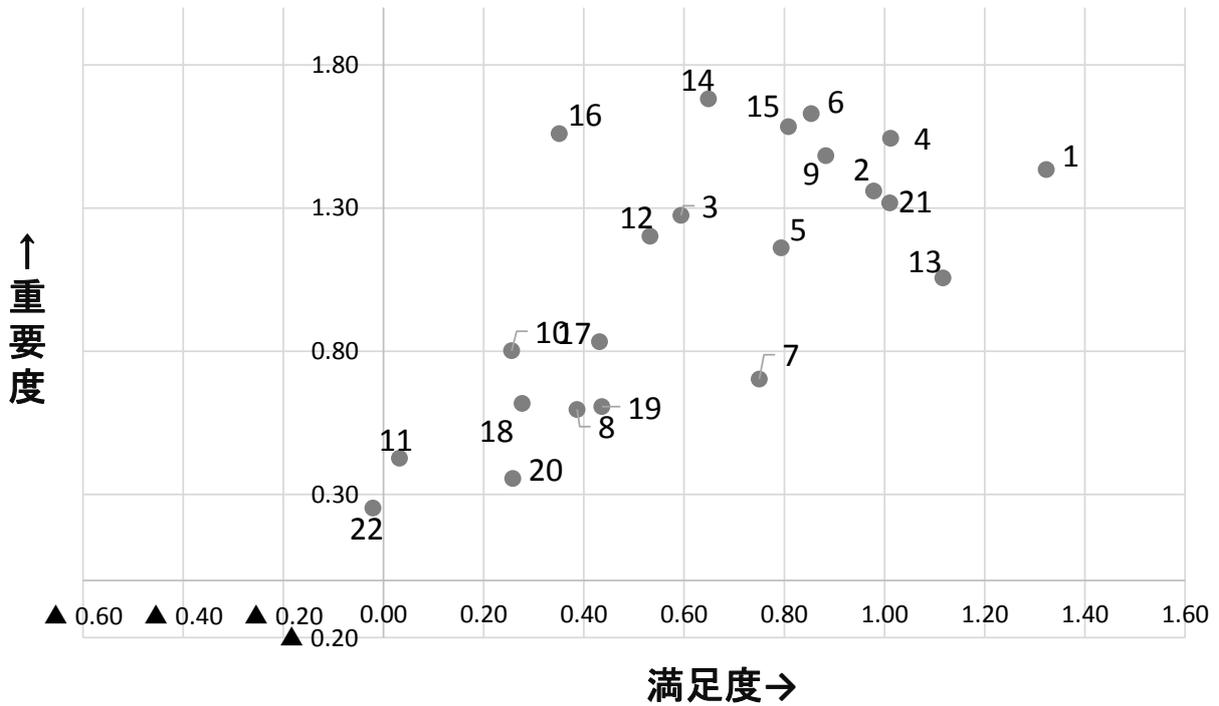
〔赤塚・成増エリア〕

◆赤塚・成増エリアは、唯一満足度で「⑩まちをより良くする地域活動が活発であること」がマイナスとなっており、「⑩介護サービス施設などの利用のしやすさ」の満足度も低い。



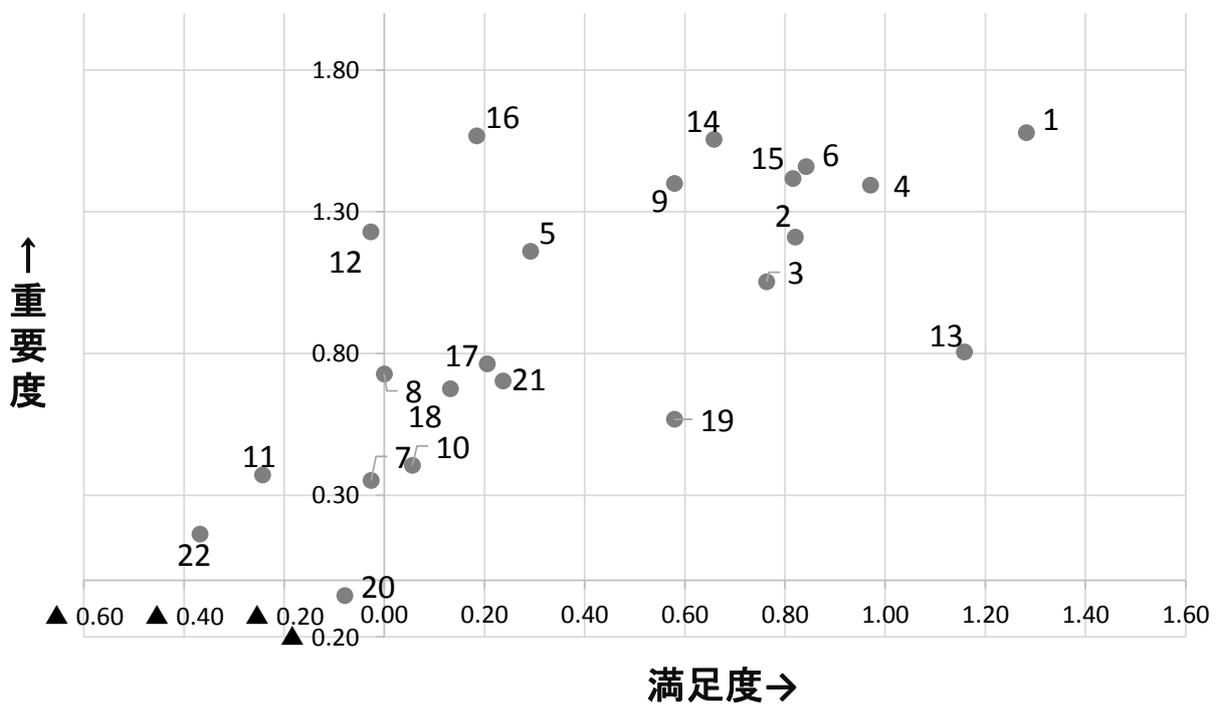
〔新河岸・高島平エリア〕

◆新河岸・高島平エリアは、「②農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」に次ぎ、「⑩まちのイメージ・知名度」の満足度が低い。また、他のエリアに比べ「④自然が豊かであること」の重要度が高い。



〔坂下・舟渡エリア〕

◆坂下・舟渡エリアは、満足度で5項目がマイナス（「②農業や野産物にふれられる場所があること」／「⑩まちのイメージ・知名度」／「⑭歴史や文化を感じられる」／「⑦公共施設の利用のしやすさ」／「⑫良好な居住環境や街並み・景観が保たれていること」）になっている。

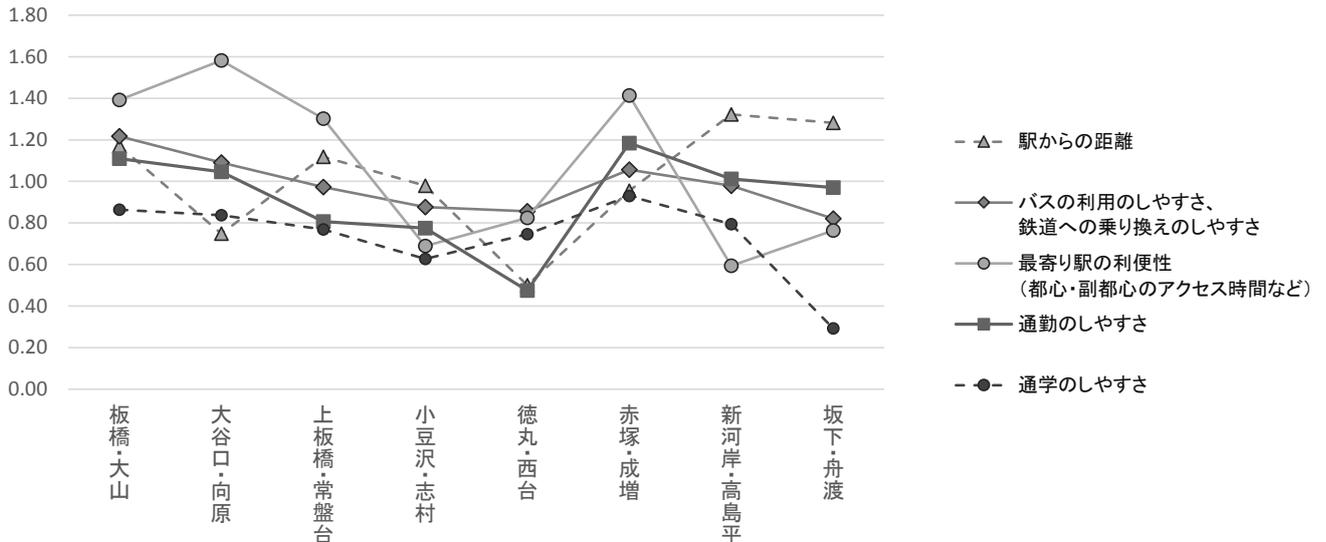


■クロス集計（エリア×満足度・重要度）

※満足度・重要度の項目（選択肢）を6つにグループ分けし、エリアによる変化が分かるようにグラフ化した。

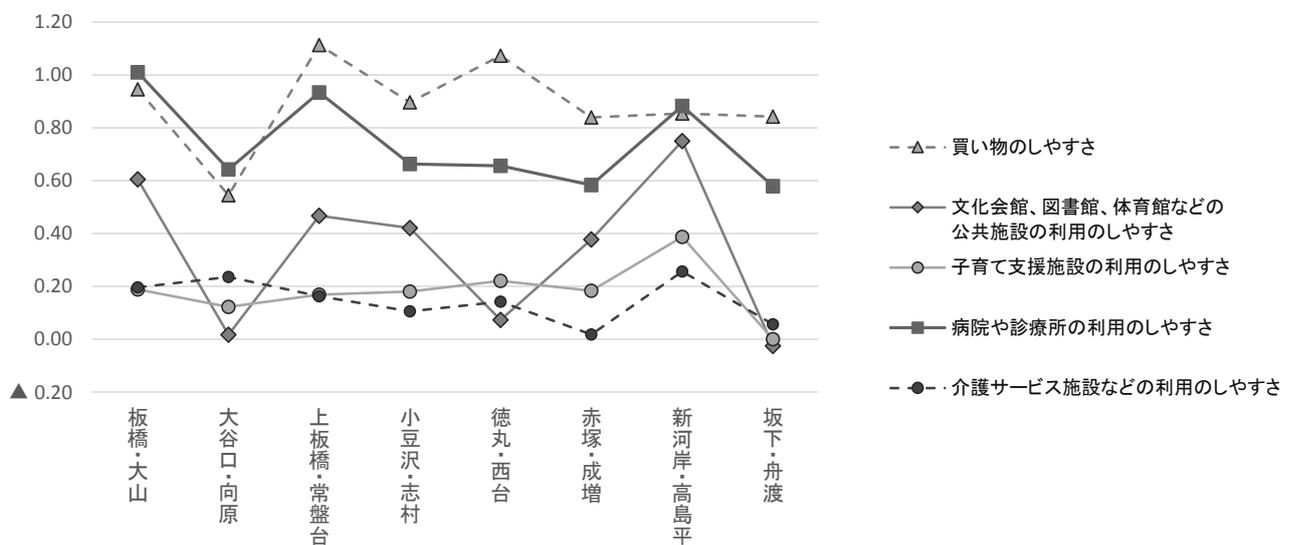
【満足度】〔駅・交通関連〕

- ◆ 駅・交通関連の満足度の5項目をエリア別に見ると、「最寄り駅の利便性」は大谷口・向原エリアが最も高く、小豆沢・志村エリアが最も低い。
- ◆ 「通勤のしやすさ」「通学のしやすさ」とも、赤塚・成増エリアが最も高く、「通勤のしやすさ」は徳丸・西台エリアが、「通学のしやすさ」は坂下・舟渡エリアが最も低い。
- ◆ 最も高いスコアと最も低いスコアとの開きを見ると、大谷口・向原エリアの「最寄り駅の利便性」と「駅からの距離」、坂下・舟渡エリアの「駅からの距離」と「通学のしやすさ」が大きくなっている。



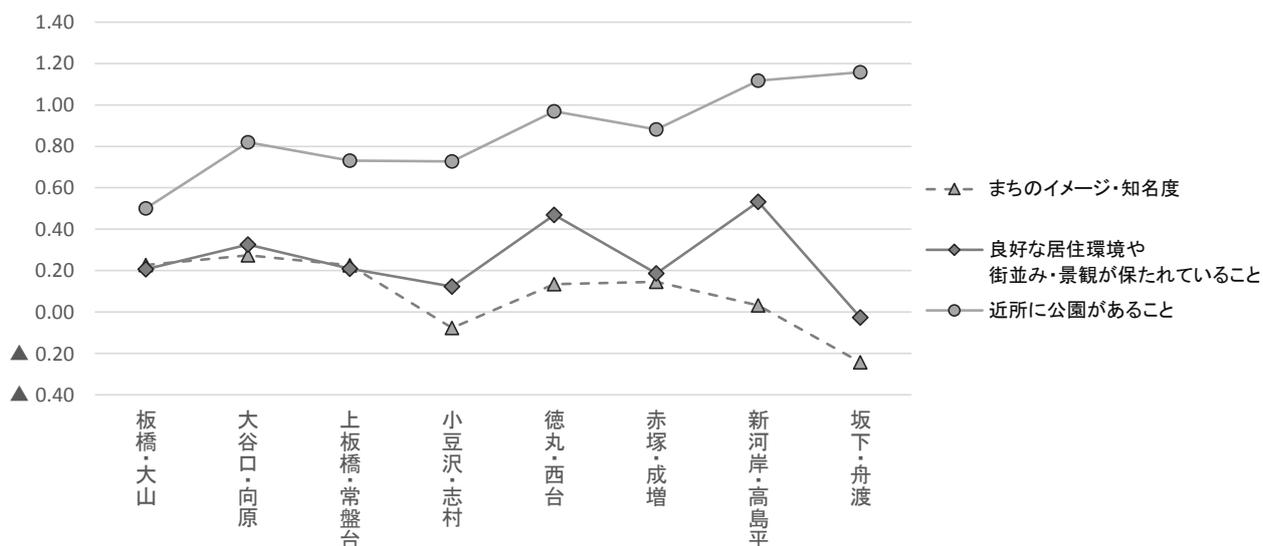
【満足度】〔生活・行政サービス関連〕

- ◆ 生活・行政サービス関連の満足度の5項目をエリア別に見ると、「文化会館、図書館、体育館などの公共施設の利用のしやすさ」「子育て支援施設の利用のしやすさ」「介護サービス施設などの利用のしやすさ」の3項目ともに新河岸・高島平エリアが最も高い。
- ◆ 「文化会館、図書館、体育館などの公共施設の利用のしやすさ」は、最も高いスコアの新河岸・高島平エリアと最も低いスコアの坂下・舟渡エリアを始め、大谷口・向原エリアや徳丸・西台エリアとの開き大きい。



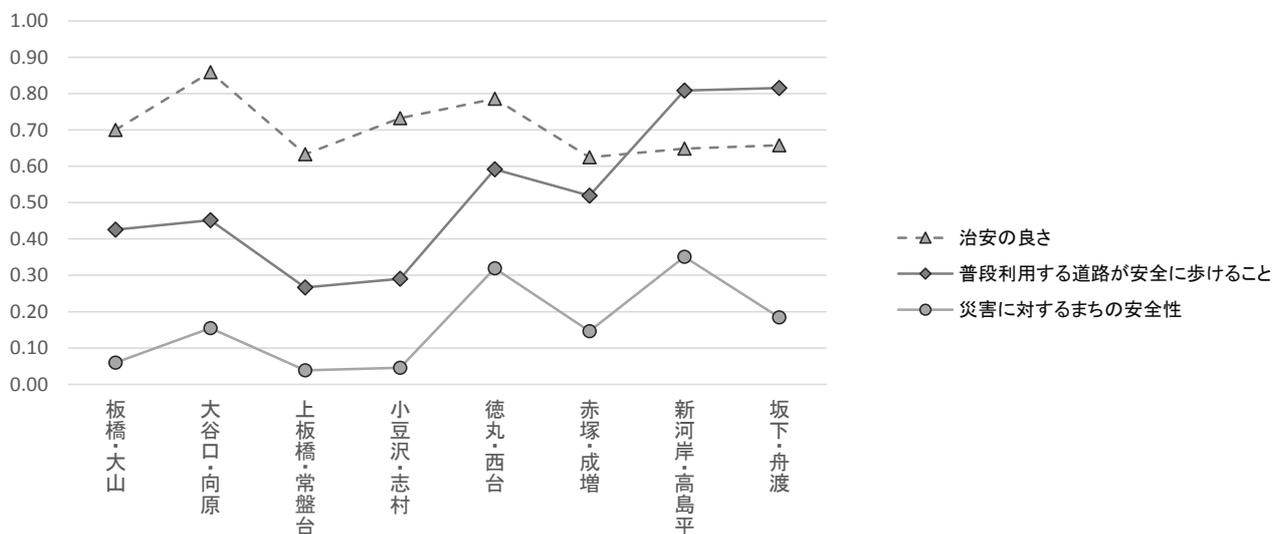
【満足度】〔住環境関連〕

- ◆住環境関連の満足度の3項目をエリア別に見ると、「まちのイメージ・知名度」は大谷口・向原エリアが最も高く、坂下・舟渡エリアが最も低い。
- ◆「良好な居住環境や街並み・景観が保たれていること」は新河岸・高島平エリアが最も高く、坂下・舟渡エリアが最も低い。
- ◆「近所に公園があること」は坂下・舟渡エリアが最も高く、板橋・大山エリアが最も低い。



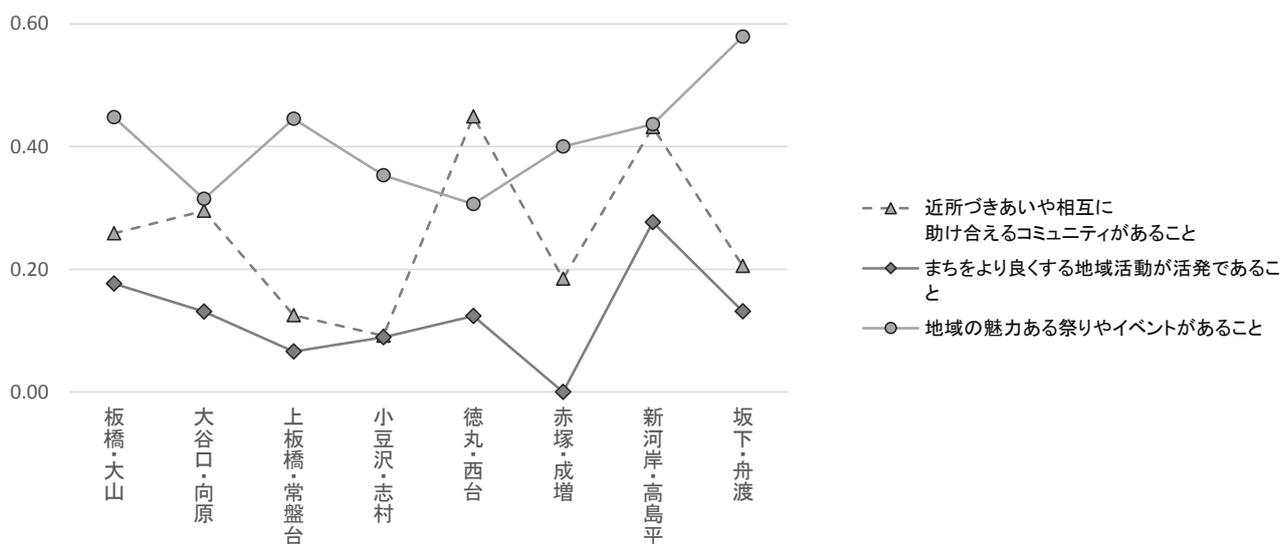
【満足度】〔安心・安全関連〕

- ◆安心・安全関連の満足度の3項目をエリア別に見ると、「治安の良さ」では大谷口・向原エリアが最も高く、赤塚・成増エリアが最も低い。他の2項目に比べ、エリア間の開きは小さい。
- ◆「普段利用する道路が安全に歩けること」は坂下・舟渡エリアが最も高く、上板橋・常盤台エリアが最も低く、エリア間の開きが最も大きい。
- ◆「災害に対するまちの安全性」は新河岸・高島平エリアが最も高く、上板橋・常盤台エリアが最も低い。



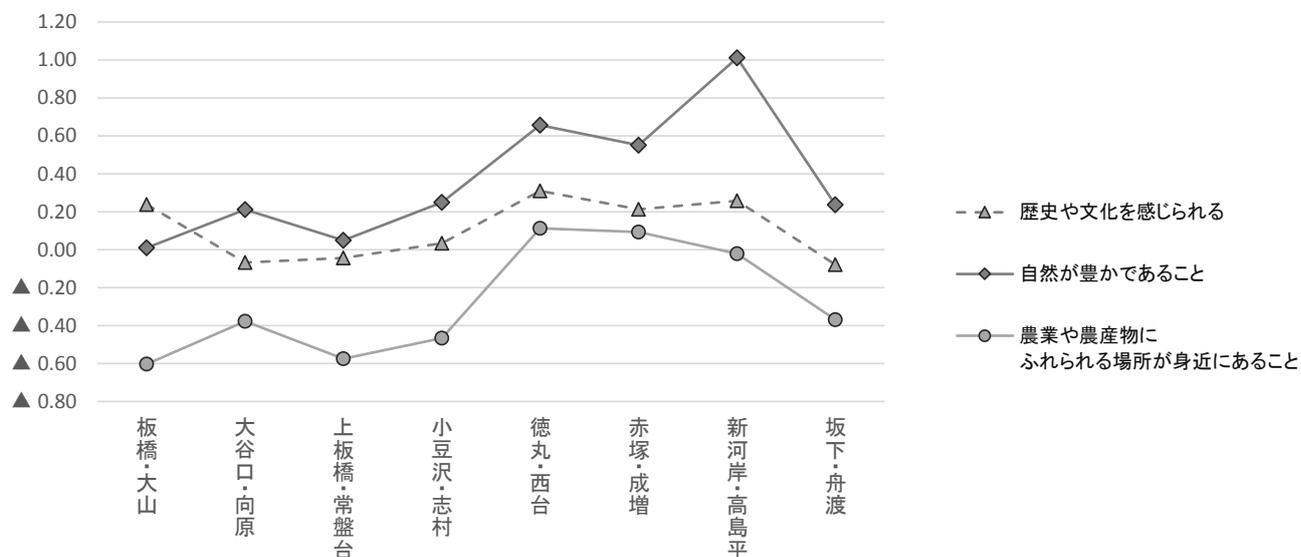
【満足度】〔コミュニティ関連〕

- ◆コミュニティ関連の満足度の3項目をエリア別に見ると、いずれもエリア間で開きがある。
- ◆「近所づきあいや相互に助け合えるコミュニティがあること」は徳丸・西台エリアが最も高く、小豆沢・志村エリアが最も低い。
- ◆「まちをより良くする地域活動が活発であること」は新河岸・高島平エリアが最も高く、赤塚・成増エリアが最も低い。
- ◆「地域の魅力ある祭りやイベントがあること」は坂下・舟渡エリアが最も高く、大谷口・向原エリアが最も低い。



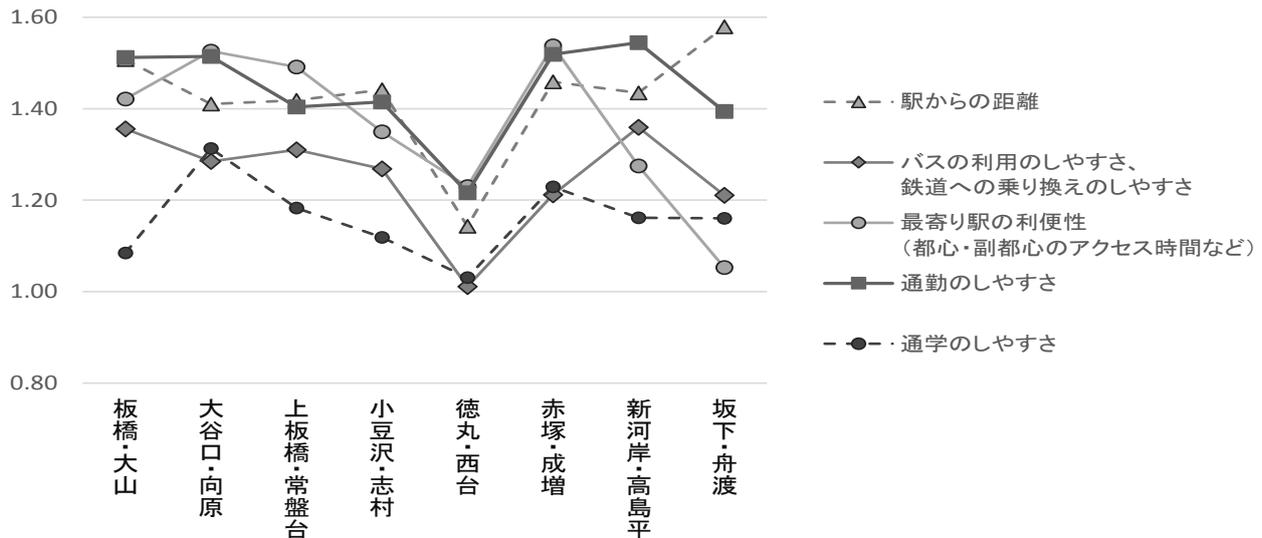
【満足度】〔歴史文化・自然環境関連〕

- ◆歴史文化・自然環境関連の満足度の3項目をエリア別に見ると、「自然が豊かであること」と「農業や農産物ふれられる場所が身近にあること」でエリア間の開きが大きくなっている。
- ◆「自然が豊かであること」は新河岸・高島平エリアが最も高く、板橋・大山エリアが最も低い。
- ◆「農業や農産物にふれられる場所が身近にあること」は徳丸・西台エリアが最も高く、板橋・大山エリアが最も低い。



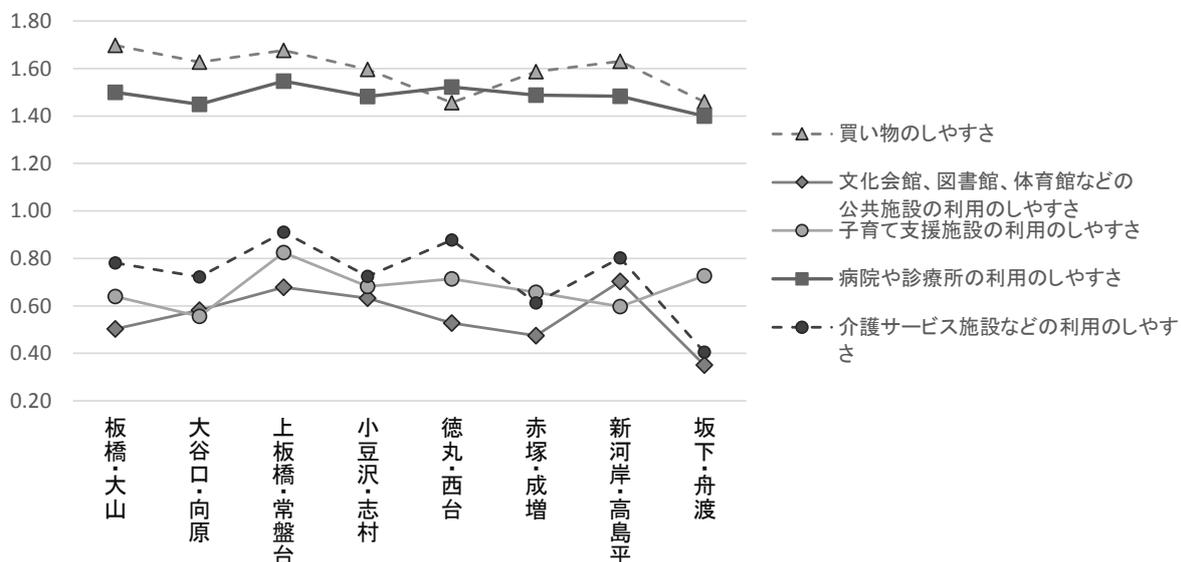
【重要度】〔駅・交通関連〕

- ◆ 駅・交通関連の重要度の5項目をエリア別に見ると、「駅からの距離」は坂下・舟渡エリアが最も高く、徳丸・西台エリアが最も低い。
- ◆ 「バスの利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ」は板橋・大山エリアと新河岸・高島平エリアが最も高く、徳丸・西台エリアが最も低い。
- ◆ 「最寄り駅の利便性」は赤塚・成増エリアが最も高く、坂下・舟渡エリアが最も低い。
- ◆ 「通勤のしやすさ」は新河岸・高島平エリアが最も高く、徳丸・西台エリアが最も低い。
- ◆ 全体的に徳丸・西台エリアは低くなっている。



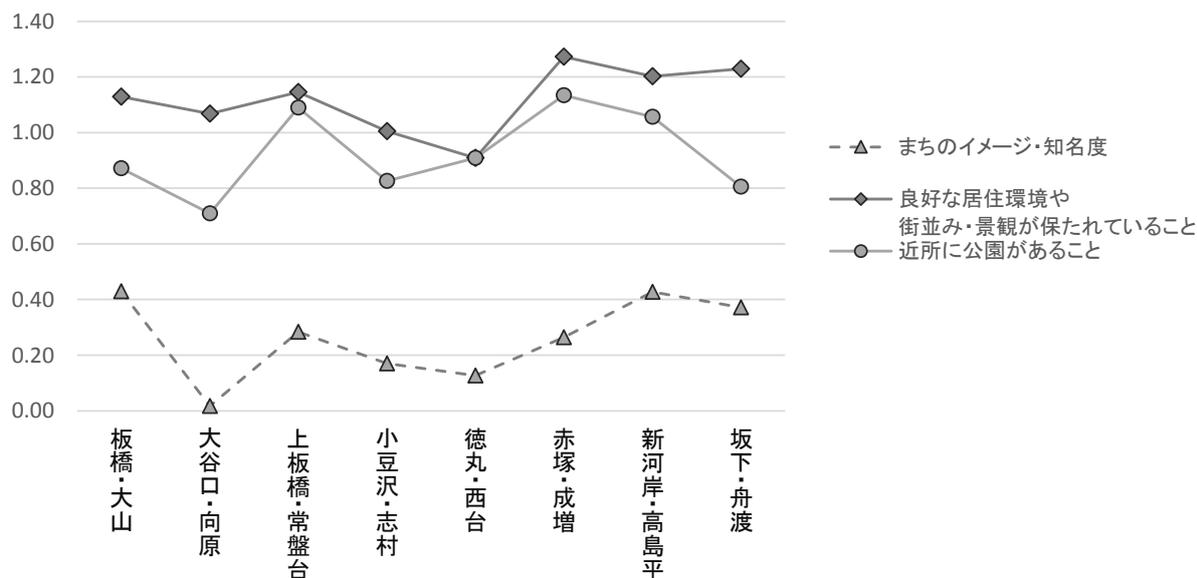
【重要度】〔生活・行政サービス関連〕

- ◆ 生活・行政サービス関連の重要度の5項目をエリア別に見ると、どのエリアも同じような傾向となっており、特に「買い物のしやすさ」と「病院や診療所の利用のしやすさ」はエリア間での開きは小さい。
- ◆ 「文化会館、図書館、体育館などの公共施設の利用のしやすさ」は新河岸・高島平エリアが最も高く、坂下・舟渡エリアが最も低い。
- ◆ 「子育て支援施設の利用のしやすさ」は上板橋・常盤台エリアが最も高く、大谷口・向原エリアが最も低い。
- ◆ 「介護サービス施設などの利用のしやすさ」は上板橋・常盤台エリアが最も高く、坂下・舟渡エリアが最も低い。



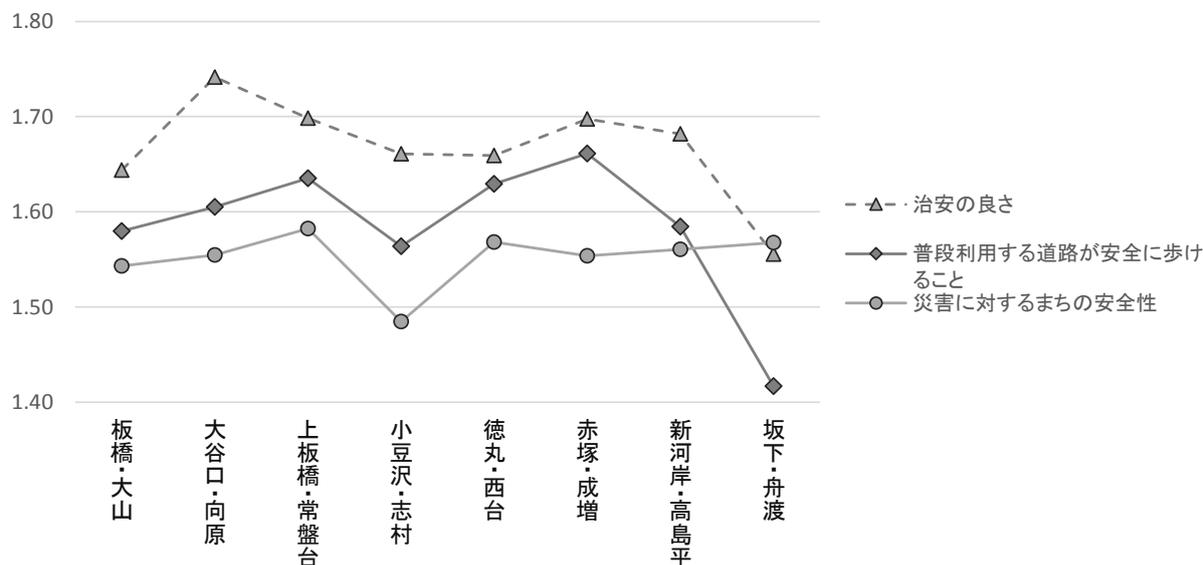
【重要度】〔住環境関連〕

- ◆住環境関連の重要度の3項目をエリア別に見ると、「まちのイメージ・知名度」は板橋・大山エリアが最も高く、大谷口・向原エリアが最も低い。
- ◆「良好な居住環境や街並み・景観が保たれていること」は赤塚・成増エリアが最も高く、徳丸・西台エリアが最も低い。
- ◆「近所に公園があること」は、赤塚・成増エリアが最も高く、大谷口・向原エリアが最も低い。



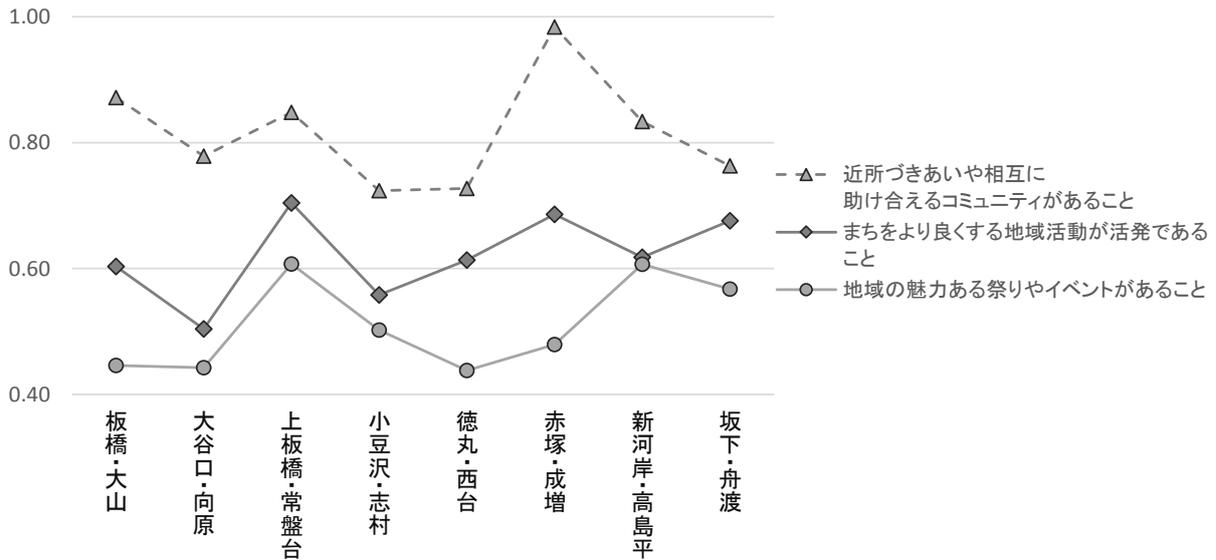
【重要度】〔安全・安心関連〕

- ◆安心・安全関連の重要度の3項目をエリア別に見ると、「治安の良さ」では大谷口・向原エリアが最も高く、坂下・舟渡エリアが最も低い。
- ◆「普段利用する道路が安全に歩けること」は最も高い赤塚・成増エリアと、最も低い坂下・舟渡エリアとの開きが大きい。
- ◆「災害に対するまちの安全性」は上板橋・常盤台エリアが最も高く、小豆沢・志村エリアが最も低い。



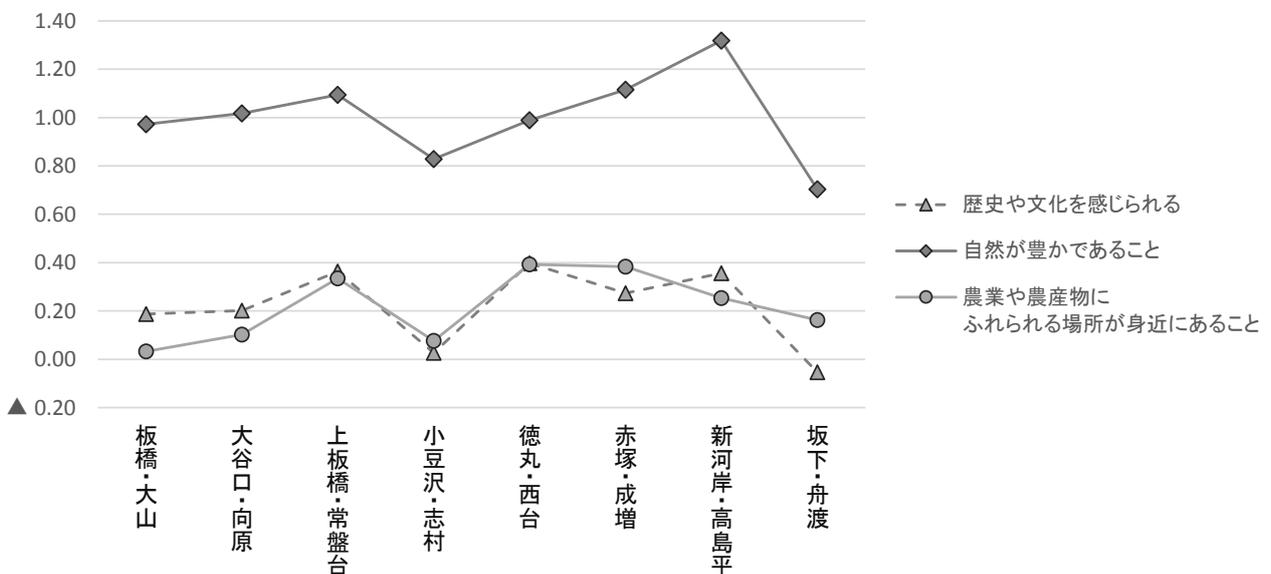
【重要度】〔コミュニティ関連〕

- ◆コミュニティ関連の重要度の3項目をエリア別に見ると、「近所づきあいや相互に助け合えるコミュニティがあること」で最も高い赤塚・成増エリアは、他エリアに比べてかなり高いスコアになっている。最も低いエリアは小豆沢・志村エリアである。
- ◆「まちをより良くする地域活動が活発であること」は、上板橋・常盤台エリアが最も高く、大谷口・向原エリアが最も低い。
- ◆「地域の魅力ある祭りやイベントがあること」は、上板橋・常盤台エリア並びに新河岸・高島平エリアが最も高く、大谷口・向原エリア並びに徳丸・西台エリアが最も低い。



【重要度】〔歴史文化・自然環境関連〕

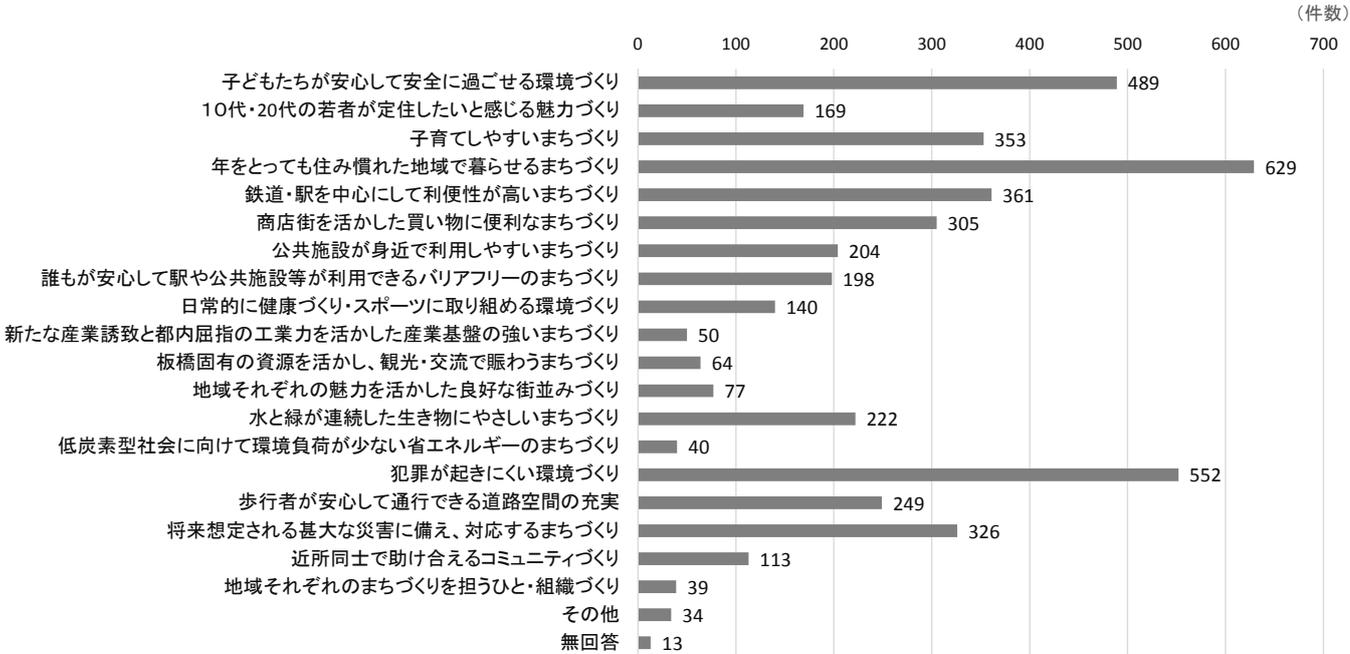
- ◆歴史文化・自然環境関連の重要度の3項目をエリア別に見ると、「自然が豊かであること」でエリア間の開きが大きくなっている。
- ◆「自然が豊かであること」は新河岸・高島平エリアが最も高く、坂下・舟渡エリアが最も低い。
- ◆「歴史や文化を感じられる」は徳丸・西台エリアが最も高く、坂下・舟渡エリアが最も低い。



(3) たくさんの方が「住みたい」と感じられる魅力づくりについて

問5 たくさんの方に「板橋区に住みたい・住んでみたい・住んでよかった」と感じてもらうために、どのようなまちづくりに力点を置いて魅力を伸ばすべきだと思いますか。(あてはまるもの5つまでに○)

◆「年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」が最も多く、「犯罪が起きにくい環境づくり」、「子どもたちが安心して安全に過ごせる環境づくり」と続いており、“安心・安全に長く住める”まちづくりを望む声が多かった。



総数	子どもたちが安心して安全に過ごせる環境づくり	10代・20代の若者が定住したいと感じる魅力づくり	子育てしやすいまちづくり	年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり(医療・福祉面での安心)	鉄道・駅を中心にして利便性が高いまちづくり(毎日の通勤通学や移動など)	商店街を活かした買い物に便利なまちづくり	公共施設が身近で利用しやすいまちづくり	誰もが安心して駅や公共施設等が利用できるまちづくり	日常的に健康づくり・スポーツに取り組める環境づくり	新たな産業誘致と都内屈指の工業力を活かしたまちづくり	水と緑の資源を活かし、観光・交流で賑わうまちづくり(歴史・文化や伝統、水と緑の資源など)
968	489	169	353	629	361	305	204	198	140	50	64
100.0	10.6	3.7	7.7	13.6	7.8	6.6	4.4	4.3	3.0	1.1	1.4
	並地域づくり(保安全・創出)	水川・多様な生き物など	省エネルギーのまちづくり	犯罪が起きにくい環境づくり	歩行者が安心して通行できる道路空間の充実(交通事故等が起きにくいみちづくり)	早期復旧・復興など(防災、大規模災害時の)	近所同士で助け合えるコミュニティづくり	地域それぞれのまちづくりを担うひと・組織づくり	その他	無回答	
	77	222	40	552	249	326	113	39	34	13	
	1.7	4.8	0.9	12.0	5.4	7.1	2.4	0.8	0.7	0.3	

- ◆「その他」は、多岐に渡った意見があり、以下に整理した。
- ◆ショッピングモールや大型商業施設などの商業に関する意見（6件）、まちづくりの方向などに関する意見（4件）、コミュニティバスや鉄道などの交通に関する意見（4件）、公園を含む公共施設に関する意見（4件）などが多かった。

〔まちづくり、土地利用等〕

- ・元気な人、子ども達、不自由な人（高齢者も）がいっしょに生活できるまち。
- ・子どもに力を入れるより高齢者に力を入れるべき。
- ・土地の細分化による環境・緑の確保のため、土地最小面積の引き上げ、用途地域の厳格化。
- ・障がい者が地域で安心して生活を送ることができるまちづくり。

〔商業〕

- ・大規模なショッピングモール（2件）
- ・駅前に大型商業施設。
- ・駅ビル
- ・買い物のしやすさ、外食のしやすさ、大型店舗。
- ・質の良い食料品、おいしい飲食店がない。

〔交通〕

- ・三田線の増強
- ・光が丘－成増、成増－高島平まで、鉄道もしくは地下鉄でつなげてほしい。
- ・常盤台から区役所、イオン等身近に乗れるコミュニティバスを走らせてほしい。
- ・常盤台駅のエレベーター設置。

〔公共施設等〕

- ・選挙投票所、出張所などが遠くて不便。
- ・大人も子どもも行きたくなる魅力的な公園づくり。
- ・サッカーのできる公園。
- ・区民プール。

〔教育〕

- ・学力向上、進学率向上。

〔地域、コミュニティ〕

- ・町内会でのコミュニケーション（現状はない）。
- ・夏祭り、秋祭り、おみこし、歩行者天国となるようなパレード、神社・お寺での催し、季節のイベント。

〔医療・福祉〕

- ・病院、有料ホームの充実。

〔景観・美化〕

- ・電柱の地中化、看板等規制強化。
- ・きれいな町、駅、建物（大山はきたない）。

〔防犯〕

- ・街灯が暗い。

〔財政〕

- ・財政の安定さ。

〔その他〕

- ・雇用
- ・単身者もうれしい補助制度。単身者同士が出会い住み続けられる区。
- ・犬にやさしい環境づくり

■クロス集計（年代×住みたいと感じてもらうためのまちづくりの力点）

◆住みたいと感じてもらうためのまちづくりの力点を年代別に見ると、20歳未満、20歳代、40歳代では「犯罪が起きにくい環境づくり」が、50歳代、60歳代、70歳以上の年齢が高い世代では「年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」が第1位となっており、30歳代のみが「子育てしやすいまちづくり」が第1位となっている。

◆第2位は、20歳未満が「鉄道・駅を中心として利便性が高いまちづくり」、20歳代は「子育てしやすいまちづくり」、30歳代は「子どもたちが安心して安全に過ごせる環境づくり」、40歳代は「年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」、50歳代、60歳代は「犯罪が起きにくい環境づくり」、70歳以上は「子ども達が安心して安全に過ごせる環境づくり」と分散している。

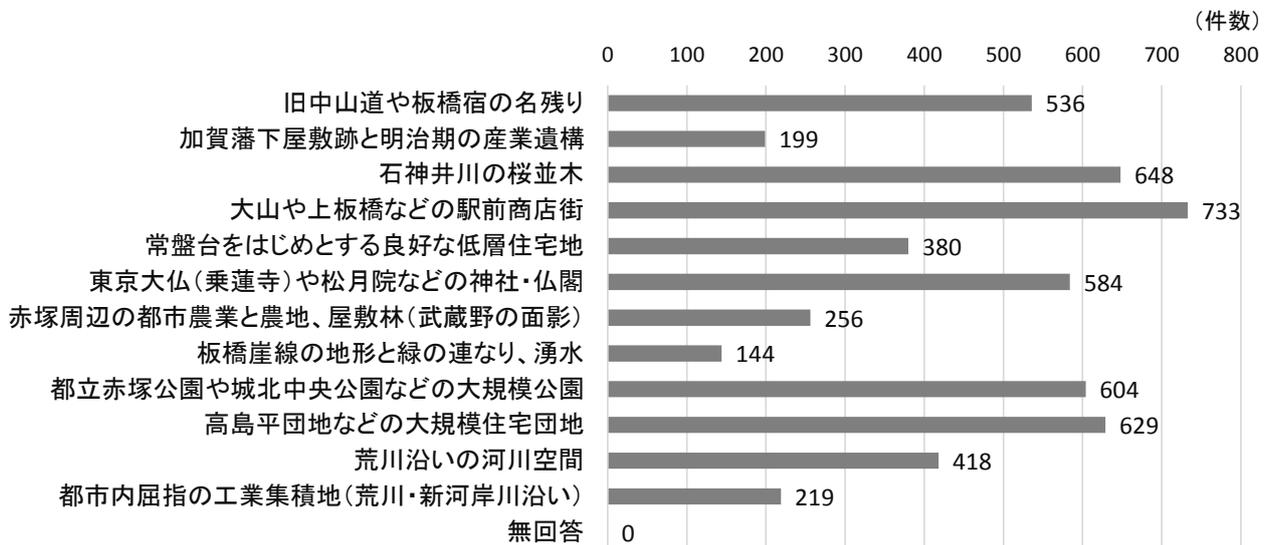
	総数	子どもたちが安心して安全に過ごせる環境づくり	10代・20代の若者が定住したいと感じる魅力づくり	子育てしやすいまちづくり	年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり（医療・福祉面で安心）	年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり（毎日通勤通学や移動など）	鉄道・駅を中心として利便性が高いまちづくり	商店街を活かした買い物に便利なお店づくり	公共施設が身近で利用しやすいまちづくり	誰もが安心して駅や公共施設等が利用できるバリアフリーのまちづくり	日常的に健康づくり・スポーツに取組める環境づくり	新たな産業誘致と都内屈指の工業力を活かした産業基盤の強いまちづくり
20歳未満	92	40	30	32	26	49	21	21	18	18	6	
	100.0	43.5	32.6	34.8	28.3	53.3	22.8	22.8	19.6	19.6	6.5	
20歳代	81	36	26	46	27	44	27	15	15	14	2	
	100.0	44.4	32.1	56.8	33.3	54.3	33.3	18.5	18.5	17.3	2.5	
30歳代	121	72	14	73	59	54	39	27	20	15	9	
	100.0	59.5	11.6	60.3	48.8	44.6	32.2	22.3	16.5	12.4	7.4	
40歳代	116	58	13	44	70	54	44	22	21	18	3	
	100.0	50.0	11.2	37.9	60.3	46.6	37.9	19.0	18.1	15.5	2.6	
50歳代	150	74	28	51	115	54	50	24	38	19	5	
	100.0	49.3	18.7	34.0	76.7	36.0	33.3	16.0	25.3	12.7	3.3	
60歳代	192	97	26	54	156	40	61	36	40	28	14	
	100.0	50.5	13.5	28.1	81.3	20.8	31.8	18.8	20.8	14.6	7.3	
70歳以上	215	112	32	53	175	66	63	58	46	28	10	
	100.0	52.1	14.9	24.7	81.4	30.7	29.3	27.0	21.4	13.0	4.7	
無回答	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	

↓（下表に続く）↓

	総数	板橋固有の資源を活かし、観光・文化や伝統、水と緑の資源など	地域並みそれぞれの魅力を活かした良好な街並みづくり（保全・創出）	水と緑が連続した生き物にやさしいまちづくり（公園や崖線、農地など）	湧水などの水、多様な生物の生息環境など	水と緑が連続した生き物にやさしいまちづくり（公園や崖線、農地など）	低炭素型社会に向けて環境負荷が少ない省エネルギーのまちづくり	犯罪が起きにくい環境づくり	歩行者が安心して通行できる道路空間の充実（交通安全事故等が起きにくいまちづくり）	将来想定される甚大な災害に備え、対応する早期復旧・復興など	近所同士で助け合えるコミュニティづくり	地域それぞれのまちづくりを担うひと・組織づくり	その他	無回答
20歳未満	92	10	9	26	10	52	24	28	10	4	0			
	100.0	10.9	9.8	28.3	10.9	56.5	26.1	30.4	10.9	4.3	0.0			
20歳代	81	6	6	17	5	56	16	28	2	3	0			
	100.0	7.4	7.4	21.0	6.2	69.1	19.8	34.6	2.5	3.7	0.0			
30歳代	121	6	11	18	3	68	34	33	11	4	0			
	100.0	5.0	9.1	14.9	2.5	56.2	28.1	27.3	9.1	3.3	0.0			
40歳代	116	4	9	24	6	76	40	35	7	2	0			
	100.0	3.4	7.8	20.7	5.2	65.5	34.5	30.2	6.0	1.7	0.0			
50歳代	150	8	7	37	6	92	35	46	20	3	3			
	100.0	5.3	4.7	24.7	4.0	61.3	23.3	30.7	13.3	2.0	2.0			
60歳代	192	8	16	48	8	104	54	80	28	11	4			
	100.0	4.2	8.3	25.0	4.2	54.2	28.1	41.7	14.6	5.7	2.1			
70歳以上	215	22	19	51	2	104	46	75	35	15	6			
	100.0	10.2	8.8	23.7	0.9	48.4	21.4	34.9	16.3	7.0	2.8			
無回答	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0			
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0			

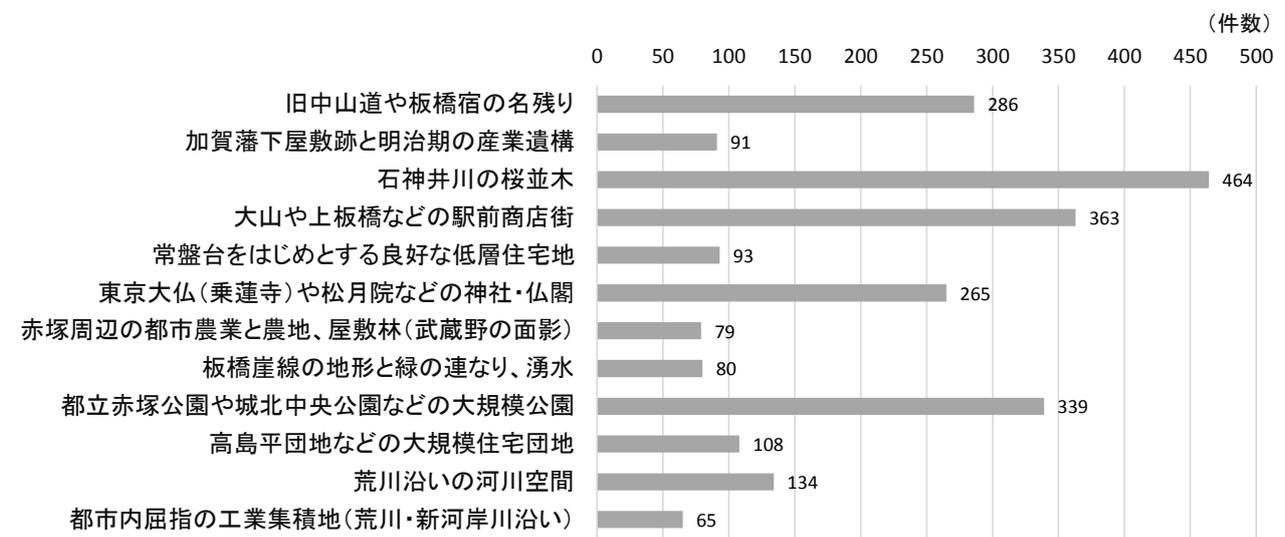
問6 以下にあげる板橋区の資源のうち、あなたが知っているものについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。
 また、今後の板橋区全体の魅力・シンボルとして、まちづくりを牽引すると考えられるものは何ですか。(3つまで番号を記入)

◆区民の認知度が高いものとして、「大山や上板橋などの駅前商店街」(733件)が最も多く、「石神井川の桜並木」(648件)、「高島平団地などの大規模住宅団地」(629件)と続いている。



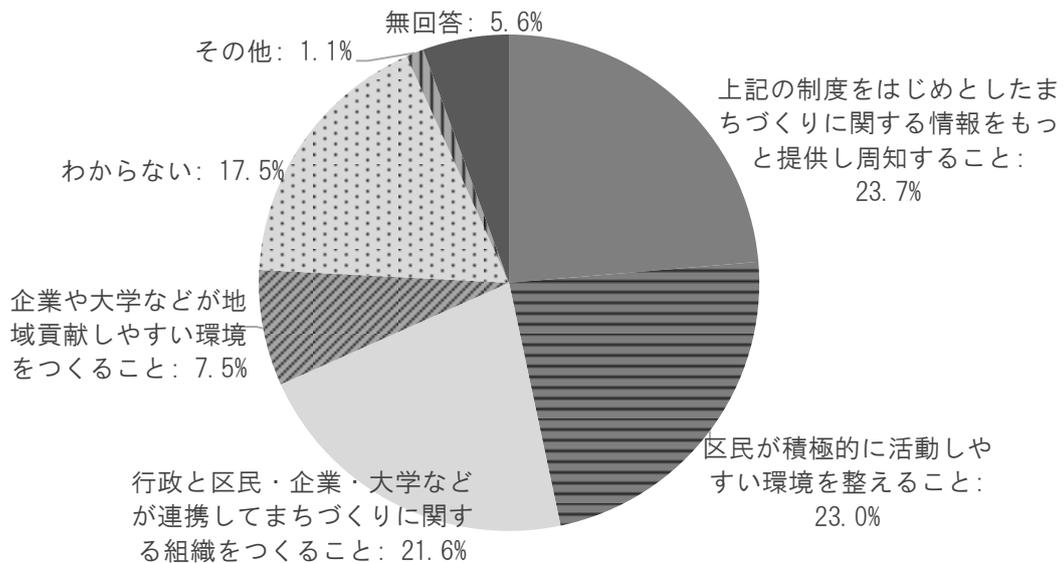
総数	の旧中山道や板橋宿	明治加賀藩の下産業遺跡	石神井川の桜並木	の大山前や商上店板橋街	住宅常盤地を良好な低層住宅と	の寺(東大)や松月院(大仏)など	(武蔵野)の農地、都市農業	赤塚周辺の屋敷林	緑の橋連なりの地形、湧水	大規模公園	都立赤塚公園	高島平住宅団地	間荒川沿いの河川空間	河川沿いの荒川・新業	都市内屈指の工業	無回答
968	536	199	648	733	380	584	256	144	604	629	418	219	0			
100.0	10.0	3.7	12.1	13.7	7.1	10.9	4.8	2.7	11.3	11.8	7.8	4.1	0.0			

◆今後の板橋区全体の魅力・シンボルとして、まちづくりを牽引すると考えられるものの上位3位は、「石神井川の桜並木」(464件)、「大山や上板橋などの駅前商店街」(363件)、「都立赤塚公園や城北中央公園などの大規模公園」(339件)であった。



問8 板橋区では、支援制度（コンサルタント派遣制度、板橋区職員出前講座）を設け、まちづくり活動を支援しています。このような制度の推進も含め、地域活動を進めるために最も重要だと思うものは何ですか。（1つに○）

- ◆「上記の制度をはじめとしたまちづくりに関する情報をもっと提供し周知すること」が23.7%と最も多く、僅差で「区民が積極的に活動しやすい環境を整えること」（23.0%）が続いている。
- ◆「その他」の主な意見は、「地域活動は老人ばかりなので、若い家族が参加しやすい地域活動」、「出前講座は知らなかった。もっと広報を」、「行政（板橋区）の実現力・実行力」などであった。



n=968

総数	もま上 つち記 とづの 提く制 供り度 しにを 周関は 知すじ するめ 情と こ報し とをた	い区 環民 境が を積 整極 える に活 こ動 し やす	関ど行 すが連 組携区 織し民 をつま くち企 るづ業 こく大 とり学 にな	し企 はや すや 大 環学 境な をつ くど る地 る域 こと 貢献	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
968	229	223	209	73	169	11	54
100.0	23.7	23.0	21.6	7.5	17.5	1.1	5.6

(5) 今後のまちづくり全般について（自由記入）

問9 今後のまちづくりについて、アイデアや提案があれば自由にお書きください。

〔板橋区全体のまちづくりについて〕（※282名が記載）

◆「名所や散歩コースなどをもっとアピールしたらいい」や、「魅力発信が弱い」、「歴史ある建物や大仏などすてきなところがある」などの魅力・イメージアップ・PRに関する意見（23件）、「若い人たち・子育て世代が魅力を感じる町とする」や「まちを作っていくのではなく保全に力を入れる」などの「まちづくりに関する意見（23件）、「歩道の拡幅」や、「集会所などの公共施設を廃止にしないでほしい」など道路や公共施設などに関する意見（20件）などが多く寄せられた。

○魅力・イメージアップ・PR等（23件）

■魅力があるにも関わらず、その魅力を伝えきれていない、情報発信が弱い（7件）

- ・板橋はとても広く、様々な魅力がありますが、区外に住んでいる時には全く、“魅力的な街”との印象を受けていませんでした。広報・PR活動をより積極的にすべきだと考えます。
- ・区内の行事に、板橋区をアピールし、格を上げること。板橋区の誇れる資源が多くあるので、品格のある紹介をすることで、住み続けたいと思えるようになると思う。
- ・区外からの転入者は「板橋区って穴場」という意見が多い。もっとうまくアピールすれば人口は増えると思う。
- ・名所や散歩コースなどをもっとアピールしたらいいと思う。駅や電車に、板橋区の名所等のポスターがあると認知度upにつながるのではないかな。
- ・魅力発信が弱い。ステキなところがたくさんあるので、もっとアピールすべき。
- ・結構歴史ある建物や大仏があるのにそれがまったく知られてない。23区でも知名度が低いので、もっとそこをアピールするべき。
- ・科学館、ホテル生環境館など素敵な施設、魅力的な施設があるのに、PRがあまりされず、知らない人が多すぎる。

■板橋区のイメージが弱い・板橋独自の特徴の明確化・魅力づくり（7件）

- ・板橋区の印象は地味。その地味さの裏にある「味わい」を魅力として掲げていくのなら、区民がそれを自覚する所から始めるべき。
- ・練馬なのか板橋なのか、いっそ豊島なのか分からない。「板橋」と言われてもピンと来ない。
- ・板橋と誇れる環境作り。一つでも都内で一番と言えるものがある事。
- ・これだけは、23区内で1番とアピールできるものを作ってほしい。
- ・板橋区独自の特長の明確化。板橋区と言えば「コレ」といえる物が有ればよい。
- ・問6で挙げた事例以外のインパクトあるシンボル作り。
- ・「板橋区の〇〇に行きたい！」と言われるような場所がない。池袋や渋谷・新宿からのアクセスが良いのに活かされてない。

■新たな魅力づくりの提案（4件）

- ・食べ物で有名になる町があるので、「板橋の食べ物はこちら！」というような売りがあるとよい。
- ・B級グルメを作りロケーションの場を作ることで若い世代へ興味を持たせる。
- ・ときわ台の駅前をおしゃれなお店(今は駅前にパン屋さんもない)を置いて、南ときわ台の商店街を夜だけではなく昼中もにぎやかにすれば、話題性はつかめると思う。
- ・23区の中でイメージがうすいので、ターミナル駅を充実させるべき。都内だが、緑が多くおしゃれに暮らせる街づくりとしていけば、自然と人が増えると思う。

■イメージアップの推進（3件）

- ・イメージアップ。
- ・広報・PR活動をより積極的にすべき。
- ・石神井川の桜並木は“石神井”という名前もあり、練馬のイメージを受けるので違う言葉でアピールすべき。

■その他

- ・歴史ある建物や大仏などステキなところがある。
- ・緑が多く人が温かい。都市開発を進めるのではなく自然を大切にしたい PR。

○まちづくり関連（23 件）

■現在の板橋区の住みやすさ、魅力（緑、生活利便性）を活かし、守るまちづくり（7 件）

- ・のんびり桜をみながら手をつないで歩ける板橋区を守ってほしい。
- ・緑豊かなまちづくりを目指して欲しい。
- ・池袋、新宿等の都心に近く、商業として栄えるのは厳しい。圧倒的なベッドタウンとしての、すみやすさを追求すると良い。
- ・今住んでいる人が満足出来る町にしてほしい。
- ・まちを作っていくのではなく保全に力を入れる。
- ・現在の生活状況においてはスーパーや病院が多く板橋区はとても住みやすい町だと思う。
- ・板橋区は、町工場や商店街が多く、「下町」と似ている感があります。「下町」の町づくりを手本にして、北区赤羽に近づけるよう、活気が欲しい。

■若い世代や子育て世代が魅力を感じるまちづくり（4 件）

- ・若い人達・子育て世代が魅力を感じる町とすること。
- ・若い人が住みたいと思えるような街をつくってほしい。
- ・地域によって若者が少なく高齢者ばかりにならないようにバランスよいまちづくりをしてほしい。
- ・人口の多い高齢者ばかりでなく、若者や現役世代の声をもっと集めてほしい。

■スポーツを活かしたまちづくり（2 件）

- ・スポーツに特化したまちづくり。
- ・強いスポーツチームを作る。

■誰にでも優しいまちづくり（2 件）

- ・車いすの人が入れない所が随分減ったが、もっと自由に動ける街になってくれると助かる。
- ・障害のある人もない人も、お互いに尊重しながら共生するまちづくり。

■その他

- ・集会所などの公共施設を廃止するなどまちづくりに反するのではないかな。
- ・外国人の受け入れを減らしてほしい。（特に中国人。）
- ・赤塚・成増地区は、板橋区の“陸の孤島”という実感あり。全く恩恵が感じられない。区の行政サービスやまちづくり構想からも外れている。
- ・まちづくりについては、住んでいる人々の協力や意識が大切だと思うが、考えたことがなかった。小学校や中学校で授業に取り入れることで、草の根活動だが、少しずつ住民の意識は変わると思う。
- ・まちづくりアイデアコンテスト（賞金あり）。
- ・情報社会に合わせた自由なまちづくり。
- ・セットバックした建物や家の塀を道路まで出すのは災害時を考えても法律（または条例）で止めてほしい。

○道路、公園、公共施設整備、環境等（20 件）

■文化施設の整備・充実（6 件）

- ・既存の建物、例えば科学館など広く、図書館としての機能などをもたせたら良いと思う。
- ・中央図書館を平和公園に移転するのではなく、他の場所に移動してほしい。
- ・公共施設が減少している。
- ・集会所などの公共施設を廃止しないでほしい。
- ・美術館がとても貧弱で残念。
- ・大きく、デザインに優れ、蔵書の多い図書館がほしい。図書館に行っても借りたい本があることが少ないので予約しないといけないし、確実に読みたい本しか予約できない。本の背表紙を見て気になる

本を読めるようにしてほしい。自習室も充実してほしい。

■高齢者が利用しやすい公園づくり（3件）

- ・高齢者が気軽に外出できるベンチやトイレ、屋根のついた休憩所（くつろげる公園）。
- ・大山近辺に散歩できる公園がほしい。

■子どもが利用しやすい公園づくり（2件）

- ・子どもの遊ぶ場所が少ない。老人は公園で堂々とボール(ゲートボール)を使っているのに子どもは球技禁止されている。
- ・公園に動物が入っていけないことやボール遊び禁止等の制約が多い。
- ・近所の公園は、改装するたびに老人向けの設備が充実している。一方、隣の練馬区にある公園は、改装するたびに、子供向けの設備が充実している。

■歩行環境・自転車走行空間の整備（3件）

- ・歩道の拡幅。
- ・歩道の幅を広くしてもらいたい。
- ・道路に「自転車専用の道」を作れたら良い。

■行き止まり道路の改善（2件）

- ・災害時のことを考えると道幅の狭さ、行き止まりの路地の多さなどに不安がある。
- ・板橋区大和町、富士見町、双葉町など行き止まりの道路が多い。

■道路環境対策（2件）

- ・車道を吸水アスファルトにして洪水にならないようにする。
- ・幹線道路が多数あるため、大気汚染対策に力を入れる。

■運動施設の整備・充実（2件）

- ・スポーツ（特に風があるとできないバドミントンなど）できる施設がほしい。
- ・健康促進等に必要なスポーツ施設を充実してほしい。

○生活環境・景観・美化等（13件）

■環境美化（5件）

- ・禁煙区域を作ってほしい。
- ・たばこのポイ捨てを無くす。目立つポスターなど作って貼る。
- ・たばこの煙にわずらわされない居住空間。国と連携して法律を作って欲しい。実際に取り締まってもらわないと意味がない。
- ・歩きタバコやゴミのポイ捨てに対して罰則や監視を強化して、クリーンな板橋を作る。仲宿などの大きい商店街に歩行者天国の時間や日にちを設ける。
- ・自宅前の家が、いわゆる「ゴミ屋敷」です。何とか条例を整えて、キレイにできないものか。

■街並みの整備（5件）

- ・高いビルが増えすぎ。
- ・高層マンションが次々まわりにできて、マンションの窓ばかり見える様になって大変残念。
- ・電柱の地中化
- ・小池知事が発言する前から、景観～災害までを含めて電柱をなくすことを進めていただきたい。田園調布や常盤台までいかになくても住みたい町は景観の良い町ですから。
- ・素敵な街並みの住宅街へ。

■生活環境（3件）

- ・板橋独自の条例として、スケボー禁止場所での使用罰則。野良猫にえさをあげている行為への罰則。
- ・夜中に公園で爆竹やロケット花火などによる騒音防止の為に、大きな看板の設置やパトロールなどを

して欲しい。

- ・10代や20代に好まれるようなゲームセンター、ショッピングモールなどにある遊び場はなにもいらないと思う。

○公共交通（13件）

■バス交通の利便性向上（4件）

- ・コミュニティバスの運行を増やして、板橋区内での移動をしやすくしてはどうか。
- ・バスの運行時間を遅い時間まで延ばしてほしい。（11時くらい）
- ・バスの乗り換えができると便利。
- ・板橋区は広いため、主要な施設（区役所など）にアクセスしやすいような環境（道路空間、バスの循環）があるといい。南北に走る公共ルートがないのが不便だと感じる。

■鉄道の利便性向上（6件）

- ・三田線と東上線の相互利用が不便。鉄道で繋ぐのは難しいと思う。
- ・都営三田線が「西高島平」が終点になっているので延伸して、他の鉄道との相互運行の路線にしてほしい。
- ・都営三田線の朝の通勤ラッシュ時の車両増加。
- ・東武東上線のイメージが悪い。
- ・東武東上線のサービス向上（冷房等）。
- ・働く世代にとっては、通勤環境はとても重要なので、区からの出資はできないのか。

■多様な交通手段の構築（3件）

- ・カーシェアリングの充実。
- ・レンタサイクルの導入。
- ・自転車駐輪の充実。

○産業、雇用等（13件）

■商業の活性化（5件）

- ・商業の活性化推進。
- ・仲宿などの大きい商店街に歩行者天国の時間や日にちを設ける。
- ・映画館が少なすぎる。
- ・商店街がさびれてきている。シャッター閉店が多い。近所つき合いも少なくなって来ている。
- ・今まで、続いてきた商店街等が少子化等により確実に消え始めている現在、それをどう止めるかが近々の問題です。

■観光振興（3件）

- ・荒川を利用した観光事業。
- ・歴史的に価値のある板橋宿と言われているので、それを呼び水にしての観光資源。
- ・他の区と比べると観光スポット的な場所がない。

■雇用の場の確保・産業振興（2件）

- ・地元の産業を応援したい。産業をもっとPRできるとよい。
- ・もっと働き口のある町にしてほしい。

■日常生活に必要な商業機能の確保（2件）

- ・舟渡は陸の孤島なので、商業系がもう少し増えても良いのではないのでしょうか。全体を考えてもバランス良くなるのではと思います。
- ・新高島平にスーパーを作してほしい。食材の買い物をする場が近くになく不便。

■その他

- ・板橋区のアンテナショップを設置する。(グルメ、買い物、歴史等)

○駅整備、駅周辺整備、鉄道の高架化等 (11 件)

■駅周辺の整備 (5 件)

- ・駅ナカ施設の拡大、設置等。
- ・駅周辺を発展させて欲しい。ターミナル駅の充実。
- ・駅が都心に近いのは便利だが何もない。カフェなどがほしい。
- ・東上線沿線の駅前整備を期待している。
- ・都営三田線沿線の駅周辺、特に三田線沿線の駅周辺がさびれた風情なので、まずは駅前から環境を整えてほしい。

■駅前広場等の交通結節機能の充実・改善 (3 件)

- ・大山はバスがないので、駅前にロータリーを作り、バスやタクシーがもっと便利に使えるように。
- ・東武練馬駅は車も入れないほど狭い。
- ・板橋駅に早くエレベーター付けて欲しい。

■東武東上線の立体化 (3 件)

- ・東武東上線の踏切が多く住み難い。高架化の推進により住みやすい環境を実現してほしい。
- ・東武東上線の連続立体化。
- ・大山の踏み切りは開かないことで有名。

○医療、福祉、子育て、教育等 (8 件)

- ・夜でも行ける病院を増やしてほしい。
- ・老人ホームの充実に力を入れて欲しい。入所が不安である。
- ・より一層健康づくりに区民が取り組めるような未来を展開してほしい。万歩計の提供など。
- ・女性支援センターの充実。
- ・保育所の設置。
- ・生活保護の適用は厳格にしてその分のお金を若い世代の子育てにあてるべき。
- ・社会人も行けるような学校が、日本にもあつたらとてもいいと思う。
- ・大学や私立高校を誘致してほしい。

○防災、防犯等 (6 件)

- ・将来想定される甚大な災害に備え、区で細かい事まで考え対策する。
- ・防災、消防に問題あり。
- ・23 区内で地震の揺れが一番小さい。
- ・治安が悪い。
- ・街灯が少ないところがあり夜道がくらい。
- ・防犯カメラの設置の推進。無人交番の時間帯をなくす。

○情報提供、情報公開等 (3 件)

- ・イベントなども多くて、大変、たのしいまちだと思います。ただ、いつ、イベントがあるのか、わかりづらく、もっと分かりやすく載せてほしい。
- ・100円バスや、ここにはこれがありますよ！というような便利な物、情報などが、目に付くところでパッと一目で分かると行く気にもなると思い。
- ・もっと〇〇のような都市計画を行っているなどの情報を区民が知る機会をつくるべき。

○その他 (10 件)

- ・空き家について、どのようにしたらよいか。
- ・ご近所も空き家が目立つ様になった。子供5~6人の家族に空き家を区が借りて、低価格で何年か提供する。
- ・マラソン大会、花火大会。

- ・もっと誰でも参加しやすいイベントを企画し、参加しやすい仕組みを作り。
- ・地域のお祭りなどに企業が参加するなど、地域と企業がつながれるようになるとよい。
- ・税金を使って都営住宅を建替えたり増やしたりしないでほしい。作るとしても最低限の設備だけにしてほしい。
- ・ペットとつながれるコミュニティづくり。
- ・異文化の相互理解
- ・バンドの練習できるスタジオが少ない。池袋などに練習に行く人が多いので、小さいスタジオでも少し増やすと良いと思う。

〔身近な地域のまちづくりについて〕（※252名が記載）

- ◆「安心して歩ける明るい道路空間。特に学校付近」や、「道路に雨水がたまりやすい」など道路に関する意見（21件）、「東武東上線沿線の開かずの踏み切りが多数あり、立体交差などの実現を迅速に」など鉄道の高架化を中心に「上板橋駅南口にはタクシーも入れない」など駅整備や駅周辺整備に関する意見（16件）、「遊具を撤去せず、メンテナンスをして維持してほしい」や「図書館がない」などの公園や公共施設整備等に関する意見（15件）、「助け合えるような時間の余裕。和の精神」や、「交流の場を増やす」、「神社・仏閣を利用したコミュニケーションの場」などコミュニティに関する意見（15件）などが多く寄せられた。

○道路等（21件）

■安全に歩ける歩行空間の確保（7件）

- ・安心して歩ける明るい道路空間。特に学校付近。
- ・歩行者用道路のスペースがせまく、ガードレール等がない所もあるのでスペースを広げるか、ガードレールを設置してほしい。
- ・通学路にガードレールを付けてほしい。
- ・狭い道路が多いので、域外車軸（自家用等）の通り抜け・のり入れの制限。
- ・歩道と自転車道をわかりやすく。
- ・車椅子生活者、老人等に道路（歩道）等の安全でやさしい環境。
- ・自転車の利用が多く、歩道がせまいので車道ではなく歩道を走る必要のある親子や子供の利用が高く、高齢者などにとって不安。

■道路の拡幅整備（6件）

- ・トラックが多いので歩いてとても怖いことがあるので、道幅を広くするとか対策してほしいです。
- ・若木通りは、歩道が狭く、傘を持ってすれ違えない。しかも工事が多く、非常に通りにくい道。
- ・道が狭いと危ないとは限らず、道路が広くなれば車の速度は増し、必ず交通事故が発生する。
- ・SB通り道路拡張。
- ・一本道はくねくねした道が多く迷う。区画整理をどんどん行ってほしい。
- ・向原地区は狭い道が多く、区画整理ができていないので、万が一のときの災害等に消防車等が入ってこられない。

■道路の適正管理（3件）

- ・道路に雨水がたまりやすい。
- ・涼しい歩道石や並木の設置。
- ・私道部の再塗装化。

■駐車場の整備・違法駐車（駐輪）対策（3件）

- ・横断歩道の手前に違法駐車をする車が多い。
- ・大山駅周辺に無料の自転車・その他置き場の設置。自転車の違法駐車を取り締まり。
- ・違法駐車取締り。

■通過交通・抜け道対策・交通安全対策（2件）

- ・富士見街道の近くに住んでいるが、環七と川越街道の抜け道で利用している車・トラックが多く、その割には歩行者が通行できる道路と車が走行する道路が狭く不便。
- ・松月院通りと新大宮バイパスの四葉交差点の歩行者専用信号がほしい。

○駅整備、駅周辺整備、鉄道の高架化等（15件）

■駅周辺の整備（5件）

- ・上板橋一丁目駅前再開発が中止になっているのが残念。
- ・浮間舟渡駅周辺には商業施設や公共施設（図書館、病院）が少ない。

- ・上板橋北口の郵便局の通りがもう少し発展してほしい。
- ・東武練馬駅前の再開発にもっと政治が積極的に指導すべき。
- ・三田線高架下の再利用を促して、沿線の活性化を希望する。

■駅前広場等の交通結節機能の充実・改善（5件）

- ・上板橋駅南口にはタクシーも入れない。
- ・小竹向原駅にエレベーター設置。
- ・ときわ台駅（北口）にも早くエレベーター、エスカレーターを設置したほうが良いと思う。
- ・ときわ台駅を改装し便利な駅へ。
- ・大山駅の電車とホームの幅が広い。

■東武東上線の立体化（5件）

- ・ときわ台駅周辺の踏切が危険。
- ・東武練馬駅前の踏切、道路の整備について。高架化が行われていない。
- ・下赤塚駅等の高架化が必要。
- ・東武東上線沿線の開かずの踏切が多数あり、立体交差などの実現を迅速に。
- ・踏み切りのある駅が多く、待ちが長い。

○公園、公共施設整備、環境等（15件）

■公園の適正管理・魅力アップ（3件）

- ・今ある公園を活かし、集いやすい場所作り。
- ・赤塚公園、城北公園は広いのもっと魅力のある公園に。
- ・公園や草木の手入れがあまりされていない。

■子どもが利用しやすい公園づくり（2件）

- ・ボールが使用できる公園。
- ・遊具を撤去せず、メンテナンスをして維持してほしい。

■ペットも利用できる公園づくり（2件）

- ・大きな公園でドッグラン。
- ・子どもがいる家庭より犬のいる家庭のほうが多いことを考えると、子犬を放して遊べる所を作ってあげたい。

■高齢者が利用しやすい公園づくり

- ・老人が運動やコミュニケーションのできる場。

■公共施設の整備・充実（5件）

- ・図書館がない。
- ・文化会館を第二の新国立劇場のように、若手の研修も兼ねた、素人ではない本物の見られる施設運営。
- ・無料の自習室開放。
- ・区民センター、保健センターが近くにない。
- ・保育園が少なくマンションが多い。

■運動施設の整備・充実（2件）

- ・大きい公園にトレーニング施設を設置し無料で開放し、インストラクターをつける。
- ・野球場は多いのにサッカー場は少ない。

○コミュニティ等（15件）

■交流の場づくり（8件）

- ・高齢者と若い世代の交流。
- ・身近な人と顔合わせの場を作り、参加しやすい企画行事。交流の場を増やす。

- ・コンビニやスーパーが増える中、子供たちが集える温かい場。
- ・建物だけでなく、公園などの人々がコミュニケーションを取れるとうれしい。
- ・神社・仏閣を利用したコミュニケーションの場。
- ・夏祭りや、地域掃除など、近所の方の顔が見える行事。
- ・あいさつ、声かけ運動で地域を明るく。
- ・世代ごとの集まる場。

■町会の活性化（3件）

- ・町会の人間関係を豊かに。
- ・町会に入会する人が減っている。
- ・町会運営などに若い人の参加を望む。

■集合住宅の住民と戸建住宅の住民の交流促進（2件）

- ・マンション・アパート等に住む人はコミュニケーションがほとんどないので、地域の人達みんながあいさつできるような関係。
- ・マンションだと住んでいる地域ともあまり交流がない。学校、消防署、銀行の支店などが地域に掛合って催し物や交流を促してほしい。

■その他

- ・近隣トラブルをコミュニケーションによって防げるのではないか。区民が主体的に考える。
- ・助け合えるような時間の余裕。和の精神。

○公共交通（12件）

■コミュニティバスの強化（3件）

- ・りんりんGOのコースと料金の見直し。
- ・バスが不便。コミュニティバスで大山やときわ台、池袋を散歩したい。
- ・豊島区と連携。コミュニティバス、巡回バス、くるりん号。

■バス路線の充実化（2件）

- ・池袋行きのバスの路線を増やしてほしい。
- ・下赤塚駅までのバスをもう少し増やしてほしい。

■都営三田線の利便性向上（3件）

- ・三田線を終点の西高島平から延長。
- ・三田線のラッシュ時の車両を増やしてほしい。
- ・三田線の新板橋とJR新板橋、両駅の地下鉄化。

■環状方向の公共交通サービスの強化・構築（2件）

- ・エイトライナー、メトロセブンができてほしい。
- ・向原、小茂根、大谷口地区から区内北部、高島平、志村方面への交通の便がない。

■その他

- ・JR浮間舟渡駅は快速がとまってもいいのでは？

○産業（12件）

■日常生活に必要な商業・サービス機能の確保（8件）

- ・生活に密着したスーパーの建設。
- ・大規模産業や商業は不要。
- ・本蓮沼駅の近くにスーパーも飲食店も少ない。
- ・本屋があまりない。
- ・コンビニは多いが、大きなスーパーでの買い物がしづらい。

- ・高島平は団地住民の高齢化で、周りに住む人も若い人もいない。駅の両側には商店が少なく、居酒屋とパチンコばかり。
- ・子供が遊べる施設、お店、ファミリー向けの飲食店が少ない。
- ・個人商店がマンションに変わっているところがある。マンションの一部を店舗に。

■商店街の活性化（3件）

- ・赤塚の商店街がさびれてきている。
- ・商店街の充実。
- ・大山商店街にトイレ、休憩場所等のあるスペースを作る。

■その他

- ・住宅地の近くに特徴的な料理店。

○生活環境・景観・美化等（12件）

■環境美化（5件）

- ・大山駅北口のUFJ銀行の通りがくさい。
- ・下水のたまり水にボエフラが発生していて、蚊がものすごく多い。
- ・タバコのポイ捨て禁止。
- ・歩きタバコ禁止。
- ・落書き。

■街並みの整備（4件）

- ・電線を地下に設置して、町の景観をもっと楽しめるように。
- ・電柱で見通しが悪い。電柱で景観が悪い。
- ・景観を乱している住居がある。
- ・治水防水のためだけでなく、生物環境・地域の景観作りの視点からの河川改修事業の計画。

■生活環境（3件）

- ・ゴミを全体的に減らす。
- ・下水道設備の遂行。
- ・使用済み油の回収。

○PR、イベント等（10件）

- ・地盤が一番強い。
- ・大山を板橋のブランドに。
- ・川沿いの桜並木を全国にアピール。
- ・駅のご当地メロディ導入。
- ・B級グルメ、ギネス記録挑戦、歴史体験、タニタ食堂（健康、長寿、世界一へ）。
- ・公立学校の校庭または公園を利用したイベントの開催。
- ・商店と近くの農家が連携して朝市を開く。
- ・板橋お年寄り図鑑。
- ・公園の掃除をすると景品がもらえるイベント。
- ・弥生町周辺は昔牧場だった。何か目印があれば人々の関心をひけるかも。

○まちづくり（8件）

- ・準工業地にあった工場などのおおきな敷地がマンションに変わっていき、建て詰まり感や急な人口増が問題、景観的な課題、人口増による災害時の避難場所、学校の受入児童数が限界になりつつあるので、マンションばかりでなく永く住むための戸建住宅化の促進策を求めたい。
- ・高層住宅の高さ制限。
- ・高島平駅から新高島平駅までの木がたくさんあるところに道の駅を作ってほしい。
- ・積極的な地下鉄沿線開発。

- ・若い人が住みたくくなるような、若い人がお店を出しやすくするサポート。
- ・子育て世代が住みたくなる住宅・環境への転換。
- ・古い長寿病院跡に公園だけでなく何か施設があるといい。
- ・石神井川の桜並木が欠けているところに桜を植えて、車の通行を減少させる。

○防災、防犯等（9件）

- ・避難所が遠すぎる。
- ・低地での豪雨に対する排水。
- ・街灯が暗いので、子供が不安にならない明るい電灯にして、一本一本の距離を縮めてほしい。
- ・防犯カメラの設置。パトロール強化。
- ・自転車等の盗難。
- ・路地にミラー設置。
- ・西ヶ丘サッカー場近辺の夜はとても怖い。
- ・交番を増やしてほしい。
- ・外国人が多く治安が不安。

○緑・自然環境等（6件）

- ・新河岸川の河岸整備（水とふれあえる場所）。
- ・歩道と車道の草木の手入れ。
- ・緑が多く落ち着いた街づくり。
- ・街路樹の増加。生垣等、一般家庭による植樹への補助金支出。ビオトープ作りへの協力。
- ・城北公園の桜の木を減らさないでほしい。
- ・区民農園を確保して農作物の販売。

○福祉、子育て、教育等（4件）

- ・介護施設。
- ・学童保育や乳幼児を受け入れる。児童虐待が多い。
- ・子どもに基本的な学力を身に付けさせ、進学率の向上に努める。
- ・昔からの人とのつながりを大切にする考えを子どもの時に教育。

○情報提供、情報公開等（4件）

- ・イベントの詳細情報を知れるように（商店街のスピーカー等）
- ・成増のイベントが盛んなのでPR。
- ・広報などを見て感心している。

○その他（6件）

- ・定期的なワークショップの開催やいたばし街づくりのNPOの設立サポート。
- ・高島平団地の活用。高齢者が安心して住み続けられるしくみ。
- ・マンションの老朽化。
- ・地域の人や行政のことは信用がない。自分のことは自分で守る。
- ・小茂根福祉園に通園しているが、喘息がありバスに乗れずタクシーで移動している。
- ・毎日板橋駅ロータリー周辺を清掃しているおばさんを評価したい。

・調査票

板橋区都市計画マスタープラン改定のためのアンケート調査票

● あなたご自身とご家族のことについて ●

問1 あなたご自身のことについて、あてはまる番号に○をつけてください。

① あなたの性別をお答えください。(1つだけ○)

1. 男性 2. 女性

② あなたの年齢をお答えください。(1つだけ○)

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

③ あなたのお住まいの町丁目をお書きください。

板橋区 町 丁目

④ 板橋区に住んでどれくらいになりますか。(1つだけ○)

1. 1年未満 2. 1年以上～5年未満 3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満 5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満 7. 25年以上

⑤ あなたのご家族(世帯)の構成をお答えください。(1つだけ○)

1. 単身世帯(一人暮らし) 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居(子と同居)
4. 二世帯同居(親と同居) 5. 三世帯同居 6. その他

⑥ あなたを含め、現在同居されているご家族について、あてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 小学校就学前の子どもがいる 2. 小学生・中学生・高校生の子どもがいる
3. 65歳以上の人がいる 4. 介護が必要な人がある
5. 1～4に該当する人はいない

⑦ 現在お住まいの住居形態は次のうちどれですか。(1つだけ○)

1. 持ち家一戸建て 2. 持ち家集合住宅(分譲マンションなど)
3. 賃貸一戸建て 4. 民間の賃貸集合住宅(アパート、マンションなど)
5. 公的賃貸住宅(旧公団、公社、都営、区営など)
6. 社宅・官舎・寮 7. その他()

⑧ あなたの主たる職業をお答えください。(1つだけ○)

1. 学生 2. 会社員・公務員・教職員 3. 自営業・自由業
4. 専業主婦・主夫 5. アルバイト・パート 6. 無職
7. その他()

- ⑨ あなたの通勤・通学先（1つだけ○）ならびにあなた以外の現在同居されているご家族の通勤者・通学者の通勤・通学先（あてはまるものすべてに○）をお答えください。

あなたの通勤・通学先（1つだけ）	1. 区内 2. 区外 3. 通勤・通学していない
ご家族の通勤者の通勤先（あてはまるものすべて）	1. 区内 2. 区外
ご家族の通学者の通学先（あてはまるものすべて）	1. 区内 2. 区外

- ⑩ あなたが、普段、自宅から最もよく利用する鉄道駅はどこですか。（1つだけ○）

1. (JR)板橋駅	2. (JR)十条駅	3. (JR)浮間舟渡駅
4. (JR)赤羽駅	5. (都営三田線)新板橋駅	6. 板橋区役所前駅
7. 板橋本町駅	8. 本蓮沼駅	9. 志村坂上駅
10. 志村三丁目駅	11. 蓮根駅	12. 西台駅
13. 高島平駅	14. 新高島平駅	15. 西高島平駅
16. 下板橋駅	17. 大山駅	18. 中板橋駅
19. ときわ台駅	20. 上板橋駅	21. 東武練馬駅
22. 下赤塚駅	23. 成増駅	24. 千川駅
25. 小竹向原駅	26. 地下鉄赤塚駅	27. 地下鉄成増駅
28. その他（ ）	29. 鉄道は利用しない	

「29.鉄道は利用しない」を選択した方は
問1の⑬にお進みください！

- ⑪ 自宅から上記の駅まで利用する主な交通手段は何ですか。（1つだけ○）

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・スクーター
4. バス	5. 自動車	6. その他（ ）

- ⑫ 自宅から上記の駅までのおおよその所要時間をご記入ください。

_____分（片道）

- ⑬ あなたと現在同居されているご家族の自家用車の所有の有無と使用頻度について、それぞれお答えください。

※使用頻度の記入例：「月に2日」程度の場合⇒年・(月)・週あたり 2 日程度

あなたご自身	1. 自家用車あり 使用頻度（年・月・週あたり ____ 日程度） 2. 自家用車なし
あなた以外のご家族	1. 自家用車あり 使用頻度（年・月・週あたり ____ 日程度） 2. 自家用車なし

● 板橋区に住むことに関して、あなたとご家族にとっての
魅力や満足度についてうかがいます ●

問2 現在お住まいの地域に住んでいる理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 生まれてからずっと住んでいる	
2. 親や兄弟と同居または近くに住むため	
3. 家賃や住宅を購入する価格が条件にあったため	
4. 利便性の高い暮らしができると感じたため	
〔 駅からの距離／通勤・通学のしやすさ／買い物のしやすさ／ 公共施設の利用のしやすさ／保育園や病院、介護施設などの利用のしやすさ など 〕	
5. まちの雰囲気や環境に魅力を感じたため	
〔 まちのイメージ・知名度／居住環境の良さ／治安の良さ／道路の安全な歩行環境／ 災害に対する安全性／地域活動やコミュニティ活動が充実／歴史文化がある／ 緑や農地 など 〕	
6. その他（	）

問3 あなたやご家族は、板橋区に住み続けたいとお考えですか。今後の予定について、あてはまるもの1つだけに○をつけ、転出や転居のご意向がある場合はその理由をお書きください。

1. 今後も、現在住んでいる地区に住み続けたい	
2. 1～2年以内に区外に転出する予定	
（理由：	）
3. 3年後から数年以内に区外に転出する予定	
（理由：	）
4. 当面住み続けるが、将来は区外に転出したい	
（理由：	）
5. 区内の他地区に転居する予定・転居したい	
（理由：	）
6. わからない	

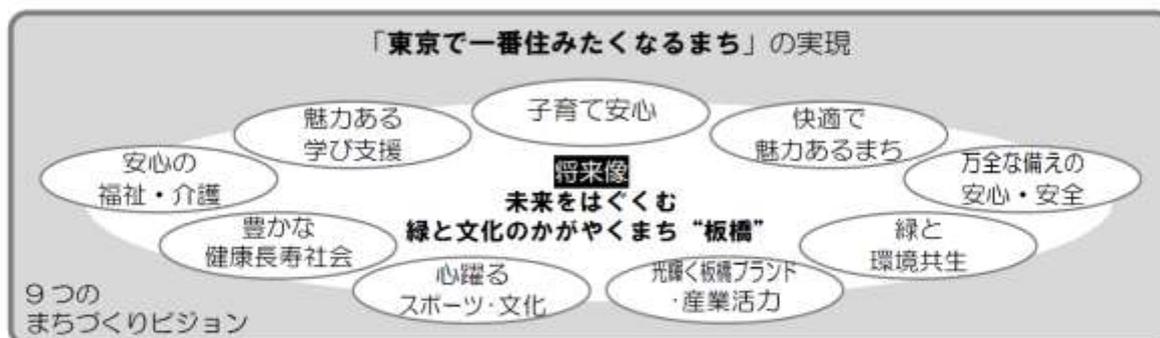


問4 現在お住まいの地域について、あなたの「現在の満足度」と住み続ける上での「重要度」について、それぞれあてはまるもの1つだけに○をつけてください。

	項 目	現在の満足度					重 要 度				
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
居住地の利便性	① 駅からの距離	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	② バスの利用のしやすさ、鉄道への乗り換えのしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③ 最寄り駅の利便性（池袋や新宿など都心・副都心の各拠点にアクセスできる時間など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④ 通勤のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤ 通学のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥ 買い物のしやすさ（魅力ある近くの商店街、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑦ 文化会館、図書館、体育館などの公共施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑧ 子育て支援施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑨ 病院や診療所の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑩ 介護サービス施設などの利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
まちの雰囲気や環境	⑪ まちのイメージ・知名度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑫ 良好な居住環境や街並み・景観が保たれていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑬ 近所に公園があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑭ 治安の良さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑮ 普段利用する道路が安全に歩けること（歩道など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑯ 災害に対するまちの安全性（建物倒壊や火災の延焼のしにくさ、避難のしやすさなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑰ 近所づきあいや相互に助け合えるコミュニティがあること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑱ まちをより良くする地域活動が活発であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑲ 地域の魅力ある祭りやイベントがあること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑳ 歴史や文化を感じられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉑ 自然が豊かであること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉒ 農業や農産物にふれられる場所が身近にあること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

● たくさんの方が「住みたい」と感じられる魅力づくりについてうかがいます ●

板橋区では、「東京で一番住みたくなるまち」となることをめざしています。
平成27年10月には、新しい板橋区基本構想を策定し、以下のように、「将来像」と「政策分野別の9つのまちづくりビジョン（あるべき姿）」を掲げました。
このことを踏まえて、以下の設問に沿って、みなさんのお考えをお聞かせください。



問5 たくさんの方に「板橋区に住みたい・住んでみたい・住んでよかった」と感じてもらうために、どのようなまちづくりに力点を置いて魅力を伸ばすべきだと思いますか。あてはまるもの5つまでに○をつけてください。（1～19のほかにある場合は「20. その他」の欄に具体的にご記入ください。○の合計が5つまでとなるようご記入ください。）

1. 子どもたちが安心して安全に過ごせる環境づくり
2. 10代・20代の若者が定住したいと感じる魅力づくり
3. 子育てしやすいまちづくり
4. 年をとっても住み慣れた地域で暮らせるまちづくり（医療・福祉面での安心）
5. 鉄道・駅を中心にして利便性が高いまちづくり（毎日の通勤通学や移動など）
6. 商店街を活かした買い物に便利なまちづくり
7. 公共施設が身近で利用しやすいまちづくり
8. 誰もが安心して駅や公共施設等が利用できるバリアフリーのまちづくり
9. 日常的に健康づくり・スポーツに取り組める環境づくり
10. 新たな産業誘致と都内屈指の工業力を活かした産業基盤の強いまちづくり
11. 板橋固有の資源を活かし、観光・交流で賑わうまちづくり（歴史・文化や伝統、水と緑の資源など）
12. 地域それぞれの魅力を活かした良好な街並みづくり（保全・創出）
13. 水と緑が連続した生き物にやさしいまちづくり（公園や崖線、農地などの緑、荒川・新河岸川・石神井川や湧水などの水、多様な生物の生息環境など）
14. 低炭素型社会に向けて環境負荷が少ない省エネルギーのまちづくり
15. 犯罪が起きにくい環境づくり
16. 歩行者が安心して通行できる道路空間の充実（交通事故等が起きにくいまちづくり）
17. 将来想定される基大な災害に備え、対応するまちづくり（防災、大規模災害時の早期復旧・復興など）
18. 近所同士で助け合えるコミュニティづくり
19. 地域それぞれのまちづくりを担うひと・組織づくり
20. その他（具体的に記入：)

問6 以下にあげる板橋区の資源のうち、あなたが知っているものについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。
 また、今後の板橋区全体の魅力・シンボルとして、まちづくりを牽引すると考えられるものは何ですか。3つまで、下の欄に番号を記入してください。

1. 旧中山道や板橋宿の名残り
2. 加賀藩下屋敷跡と明治期の産業遺構
3. 石神井川の桜並木
4. 大山や上板橋などの駅前商店街
5. 常盤台をはじめとする良好な低層住宅地
6. 東京大仏（乗蓮寺）や松月院などの神社・仏閣
7. 赤塚周辺の都市農業と農地、屋敷林（武蔵野の面影）
8. 板橋崖線の地形と緑の連なり、湧水
9. 都立赤塚公園や城北中央公園などの大規模公園
10. 高島平団地などの大規模住宅団地
11. 荒川沿いの河川空間
12. 都市内屈指の工業集積地（荒川・新河岸川沿い）

今後の板橋区全体の魅力・シンボルとして、まちづくりを牽引すると考えられるものの番号を3つまでご記入ください。

--	--	--

● まちづくりへの参加について ●

問7 あなたは、地元のまちづくり活動に参加されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. まちづくり協議会など、地域の将来像やまちづくり構想・計画、土地利用のルールなどを検討する活動に参加している（または、参加したことがある）
2. まちづくり勉強会など、地域のこれからのまちづくりに必要な地域や情報を取得する場に参加している（または、参加したことがある）
3. 板橋区が進める都市計画・まちづくりの構想や計画、事業の実施、新しい土地利用などの制限導入に関する説明会や懇談会に参加したことがある
4. 板橋区のホームページや広報などで、都市計画やまちづくりの情報を得ている（または得たことがある）
5. 上記以外の身近な地域活動（町会・自治会など）に参加している（または、参加したことがある）
6. まちづくり活動に参加したことはないが興味はある
7. まちづくり活動に参加したことはないし、興味もない
8. その他（具体的に)

